



(公社)鹿児島県診療放射線技師会

# 会報

平成26年9月

第120号



公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28-11  
TEL 099-248-0028  
FAX 099-248-0028



## 目 次

巻頭言	「理事10年を振り返り」 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 理事 大久保 光男	1
会告	平成26年度 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 秋季学術大会(予告)	2
お知らせ	診療放射線技師法等の一部改正の施行について	4
	永年勤続表彰候補者のお知らせ	7
	第9回九州放射医療技術学術大会のお知らせ	11
	第30回日本診療放射線技師学術大会(大分県別府市で開催)	12
ご案内	「平成26年度鹿児島県診療放射線技師女性の集い」のご案内	13
	第3回鹿児島X線撮影研究会(ご案内)	14
	第23回北薩地域研修会のご案内	15
	放射線機器管理士部会	18
	漏洩線量測定事業のご案内	19
報告	平成25年度 鹿児島地域研修会 終了報告	20
	「第3回鹿児島超音波研究会報告」	23
	平成26年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会開催報告	24
	股関節 Truth axial を求めて 新定義 第3の角度	28
	ワイヤレス FPD と CR カセットの画質評価	33
	ATP 拭き取り検査を用いた医療機器の汚染測定と除染評価	36
	当院における医療機器の保守管理について	38
	MOSFET 線量計の使用経験	41
	骨シンチグラフィ画像の表示および出力の統一化	44
	3D-FRFSE 法を用いた椎骨脳底動脈描出における至適撮影条件の検討	47
	当院 MRI 部門の事故低減の取り組み	51
	平成26年度 霧島・始良地域研修会終了報告	53
	第2回鹿児島X線撮影研究会活動報告	57
	平成26年度 鹿児島消化器画像研究会報告	60
	平成26年度 第11回フレッシューズセミナー(開催報告)	61
	リーダー研修会報告	63
	第1回 FRT 九州研修会開催報告	67
	樽 岩雄先生 叙勲祝賀会	69
	「学術奨励賞」おめでとうございます	72

理事会議事録	平成 25 年度	第 4 回理事会議事録	73
		第 5 回理事会議事録	77
	平成 26 年度	第 1 回理事会議事録	79
総会議事録		第 93 回鹿児島県診療放射線技師会定時総会議事録	81
総会資料			90
会員投稿		愛車ポルシェ 1977 年 911S	113
		個人的な話題～9 年目の続報～	116
		「神話の里、霧島の神々について」	118
		「3 人それぞれの戦い」	119
		「娘とのふれあい」	120
		女性技師として	120
		県技師会にかかわり 10 年目を迎えて	121
		「私の超音波との出会い」	122
会計だより			123
会員情報の変更、会費免除申請、転入・転出（所属技師会の変更）について			124
理事・監事名簿			131
編集後記			132
広告掲載一覧			133
広告			

## 理事10年を振り返り

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
理事 大久保 光 男

## 巻頭言

初秋の候 会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて 平成15年4月より理事を拝命し、今日に至るまでの10年、3名の会長の下微力ではありますが、技師会の運営に携わってまいりました。そこで、この間の事業を振り返ってみたいと思います。

鮫島 宗俊会長のもと、最も大きな事業として生涯学習システムが、平成15年度よりスタートし、アドバンスド放射線技師格取得のため救急医療学・医療安全学・看護学・医療学の講習会が実施されました。また認定資格取得の放射線機器管理士・放射線管理士の講習会も実施され、受講者に対し全国統一認定試験が行われ、このため講習会の日程の調整、会場設定、講師選任等など、その当時の学術担当の方々にはご尽力を頂き感謝申し上げます。特に学術部の中心となって活動していた（鹿児島大学病院在職中、平成23年10月に逝去）小林 保浩君に敬意を表します。

平成19年4月より西本 孝市会長になり大きな事業として11月に（社）鹿児島県放射線技師会創立60周年を迎え、県知事・市長（いずれも代理）・県医師会会長はじめ各医療職団体の会長出席のもと記念式典があり、鮫島前会長が「60年あゆみ」と題して講演され、これまで創立以来諸先輩方が苦難と苦労を重ねながら、地域医療を支えてこられた60年という長い歴史の重みを感じました。

また、平成21年6月に第25回放射線技師総合学術大会、第12回東アジア学術交流大会ががごしま県民交流センターで、大会テーマを「国民に見える職業へ」と題して開催されました。組織委員および実行委員をはじめとする会員の尽力により成功裡に終わりました。

平成21年7月より池田 睦会長に引き継がれて今日に至っていますが、なんと言っても大きな課題として社団法人から公益法人への移行がありました。公益法人に移行するには、県技師会の定款の改正が大きな壁でした。定款の変更は、総会で総正会員の4分3以上の同意が必要で、委任状は認めないと非常に厳しい定款になっていました。

そこで、皆様も記憶に新しいことと思いますが、4分の3の出席を頂くためWEB会議により臨時総会を開催することになった次第です。WEB会議を行うに際し、支部ごとにWEB会議の行なえる施設、出席者の人数の把握、各会場へ理事の配置など入念に準備を整え総会を行った結果、会員皆様の協力により総会が成立し定款が改正され、平成25年4月から公益法人としてスタートできました。いずれの会長のもと、それぞれ大きな事業が行われてきたわけではありますが、会員皆様方の協力がなければ事業は決して成し遂げることはできませんでした。今後とも技師会の運営にご協力くださいますようお願い致します。



会員各位

平成26年9月吉日  
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田 睦  
大隅地域理事 島 児 末 治

## 平成26年度公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 秋季学術大会プログラム（予告案内）

日時 平成26年11月8日(土) 14:00 ～ 17:30

会場 垂水市立医療センター垂水中央病院

I.開会の挨拶 (14:00 ～14:10) 鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦

II.一般演題 (14:10 ～ 15:10 ) 5～6題予定

III.シンポジウム( 15:20～17:20 )

### ～ 手術支援画像について ～

① 基調講演 「手術支援に必要な画像とは(仮)」 30分  
愛誠会昭南病院 院長 朝戸 幹雄先生

② 診断・治療支援画像作成のポイント(仮) 30分  
株式会社AZE

③ 施設報告 (各20分) 約40分

① 今給黎総合病院

② 鹿児島大学附属病院

※ デスカッション (20分程度)

IV.地域理事挨拶

### 【連絡先】

垂水市立医療センター 垂水中央病院 Tel 0994-32-5211 市園・坂本

会員各位

平成26年9月吉日  
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田 睦  
大隅地域理事 島 児 末 治

平成26年度 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師秋季学術大会のご案内  
及び一般演題募集のお知らせ

拝啓、初秋の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、平成26年度鹿児島県診療放射線技師秋季学術大会を別紙の通り開催致します。万障お繰り合わせの上、多数の参加をお願い申し上げます。

また、一般演題の発表も募集させていただきます。皆様の日ごろの研究の成果をぜひお聞かせいただけましたら幸いです。

敬具

記

日時：平成26年11月8日(土) 14:00 ～ 17:30

会場：垂水市立医療センター垂水中央病院

内容：別紙参照

締め切り 平成26年10月8日

演題登録連絡先 垂水中央病院 Tel 0994-32-5211 担当 市園・坂本

※ 放射線技師会会員及び学生以外の非技師会会員の方には、会場整理費として500円を徴収させていただきます。ご理解とご協力のほど、お願い致します。

※ 生涯学習実績ポイント申請予定です。

以上

医政発0625第6号  
平成26年6月25日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長  
(公印省略)

## 診療放射線技師法等の一部改正の施行について

本日公布された「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」(平成26年法律第83号)及び「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令」(平成26年厚生労働省令第71号)により、診療放射線技師法(昭和26年法律第226号)及び診療放射線技師法施行規則(昭和26年厚生省令第33号)が改正され、その一部が同日付けで施行されたところである。

今般の改正の内容は下記のとおりであるので、御了知の上、貴管内の市町村(特別区を含む。)、関係機関、関係団体等に周知方願いたい。

### 記

#### 1 改正の内容

診療放射線技師が、病院又は診療所以外の場所で、多数の者の健康診断を一時的に行う場合において、胸部エックス線検査(コンピュータ断層撮影装置を用いた検査を除く。)のために100万電子ボルト未満のエネルギーを有するエックス線を照射する場合には、医師又は歯科医師の立会いがなくても実施できるものとしたこと。

これに基づき、診療放射線技師に対し、医師又は歯科医師の立会いなしにエックス線の照射を行わせる場合には、医療安全上の配慮が極めて重要であることから、以下のような取組を実施し、安全の確保を十分に図るものとする。

- ① 事前に責任医師の明確な指示を得ること
- ② 緊急時や必要時に医師に確認できる連絡体制の整備
- ③ 必要な機器・設備、撮影時や緊急時のマニュアルの整備
- ④ 機器の日常点検等の管理体制、従事者の教育・研修体制の整備

#### 2 施行期日

平成26年6月25日

医政発0625第8号  
平成26年6月25日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医政局長  
(公印省略)

診療放射線技師法施行令の一部を改正する政令の施行について

「診療放射線技師法施行令の一部を改正する政令」(平成26年政令第226号)が本日付で公布・施行されたところである。

この政令の内容は下記のとおりであるので、御了知の上、貴管内の市町村(特別区を含む。)、関係機関、関係団体等に周知方願いたい。

記

1 政令の内容

診療放射線技師法(昭和26年法律第226号)第24条の2の規定により、診療放射線技師は、医師又は歯科医師の指示の下、診療の補助として、磁気共鳴画像診断装置その他の画像による診断を行うための装置であって政令で定めるものを用いた検査を行うことを業とすることができるとされているが、この装置として「核医学診断装置」を新たに加えるものとしたこと。

2 施行期日

平成26年6月25日

## 診療放射線技師法の改正について

鹿児島県診療放射線技師会会長 池田 睦

平成26年8月8日

皆様ももうご存知と思いますが第186回国会の「医療・介護制度改正一括法案」が6月18日に成立し、6月25日に交付されました。

内容としましては

診療放射線技師法第24条の2「画像診断装置を用いた検査の業務」の装置として、新たに「政令」に「核医学診断装置」が追加され、①磁気共鳴画像診断装置 ②超音波診断装置 ③眼底写真撮影装置 ④核医学診断装置の4つとなりました。

また、同じ診療放射線技師法第26条の「業務上の制限」の中の第2項に病院又は診療所以外の場所で多数の者の健康診断を一時に行う場合、エックス線検査（コンピュータ断層撮影装置を用いた検査を除く）に医師・歯科医師の立会いは不要と規程されました。

この2つの通達は6月25日に厚生労働省医政局発 0625 第6号と第8号で既に公布されております。（別紙資料参照）

また第24条第2項関係の「診療の補助として行える行為」として以下の行為が省令で定められました。

1) 造影剤の血管内投与に関する業務

(i) CT検査、MRI検査等において医師又は看護師により確保された静脈路に造影剤を接続すること及び造影剤自動注入器を用いた造影剤投与を行うこと。

(ii) 造影剤投与終了後の静脈路の抜針及び止血を行うこと。

2) 下部消化管検査に関する業務

(i) 下部消化管検査に際して、カテーテル挿入部（肛門）を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること。

(ii) 肛門より挿入したカテーテルより、造影剤及び空気の注入を行うこと。

3) 画像誘導放射線治療（image-guided radiotherapy : IGRT）に関する業務

(i) 画像誘導放射線治療に際して、カテーテル挿入部（肛門）を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること。

(ii) 肛門より挿入したカテーテルより、空気の吸引を行うこと。

これらの行為は平成27年4月1日施行予定ですので、まだ直ちに行える行為ではないことをご了承ください。

従いまして静脈注射の抜針・止血講習会、注腸検査講習会等は引き続き行っていく必要があります、厚生労働省より教育内容の提案がなされる予定とのことです。

平成26年8月20日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田 睦

永年勤続表彰候補者のお知らせ

平成26年度も日本診療放射線技師会より功労表彰および永年勤続表彰候補者の案内が来ております。候補者は①功労表彰 ②永年勤続表彰50年 ③永年勤続表彰30年の会員が対象となっております。この表彰の推薦は自己申告となっております。

功労表彰の要件はかなり厳しいですが、永年勤続表彰30年は会費納入15年以上の会員で、特に賞罰で問題なければ推薦できます。また永年勤続表彰50年は永年勤続表彰30年を受章された方が対象となります。

該当されると思われる会員の方は鹿児島県診療放射線技師会として推薦いたしますので申し出て下さい。

履歴書を記載して貰う必要がございますので早目に申し出て下さい。昨年は7名の方が30年永年勤続表彰を受賞されました。平成26年度も勤続30年以上の方をリストアップしてあります。詳細は地域理事又は理事及び会長の方にお尋ねください。会員の皆様方からの申請をお待ちしております。

なお、表彰は日本診療放射線技師学術大会の開会式で記念品と共に表彰状が贈与されますが、特に学会場まで出かけて行かなくても後日郵送されて来ようです。

推薦の締め切りが平成26年11月28日(金)までとなっております。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

連絡先

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1  
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 臨床技術部  
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会事務局  
会長 池田 睦  
TEL 099-275-5664 (放射線部受付) FAX 099-275-5915  
Mail: imutsumi@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

## 永年勤続表彰 30 年（平成 25 年度受賞者）

1. 石山重行 22363
2. 川畑歳文 28819
3. 吉海 保 31045
4. 平賀真雄 23935
5. 児玉康熙 24832
6. 梶 岩雄 14184
7. 島見末治 29708

永年勤続表彰 30 年の対象者の方は 1984 年（昭和 59 年）以降に診療放射線技師職に就かれた方です。

ご自身の技師職年数を確認され、もし 30 年表彰のご希望があれば手続を致しますのでご連絡をください。ただし、1 度に推薦できる人数は限られますので早く連絡をくださった方を優先とします。また、上記の永年勤続表彰 30 年受賞者の方で 50 年表彰の基準を満たされている方もご連絡をお待ちしております。

よろしくご検討下さい。

以下に永年勤続 30 年表彰対象者のリストを掲載致します。

ご確認ください。

	氏名(漢字)	会員番号	資格登録年月日
1	米澤 照彦	35102	1969/9/12
2	梶 岩雄	14184	1969/11/26
3	西本 孝市	17840	1974/5/13
4	吉永 利彦	18324	1974/5/13
5	大久保 光男	16763	1974/5/27
6	藤中 正治	17618	1975/5/26
7	久永 健司	17880	1975/6/14
8	出水田 尚文	24209	1976/7/1
9	廣瀬 洋一	22558	1977/5/10
10	藤橋 弘	28815	1977/5/10
11	室屋 純一	20787	1977/5/23
12	斉藤 勇悦	19550	1977/6/10
13	新村 栄次	20786	1978/5/25
14	渡辺 泉	24732	1978/6/9
15	鮫島 洋一	28816	1978/6/9
16	川井田 政己	20701	1979/5/28
17	穂満 信行	20785	1979/5/28
18	吉留 正刀	21271	1979/5/28
19	児玉 康熙	24832	1979/5/28
20	中村 裕	21955	1979/6/9
21	古田 正成	20866	1979/6/19
22	下吉 則孝	23188	1979/6/19
23	中原 隆重	26294	1979/10/17
24	本村 登	22252	1980/5/22
25	石山 重行	22363	1980/5/22
26	村野 和久	22364	1980/5/22
27	宮脇 明光	22221	1980/5/31
28	太田原 美郎	22359	1980/5/31
29	伊原 孝志	23186	1980/5/31
30	橋口 善治	21939	1980/10/1
31	竹之内 学	22360	1980/11/26
32	馬場 俊昭	22361	1981/5/14
33	里 隆照	22365	1981/5/14
34	濱田 耕	22796	1981/5/14
35	飛松 浩一郎	28813	1981/5/14
36	中山 龍一	29176	1981/5/14
37	末永 浩一	22607	1981/5/16
38	重信 隆彰	22797	1981/5/16
39	松元 修	25189	1981/5/26
40	田畑 一文	28604	1981/5/26
41	茶園 計義	31047	1981/5/30

42	瀬戸 和人	23189	1981/6/30
43	大迫 正美	27457	1981/6/30
44	安田 秀作	23386	1981/11/18
45	吉海 保	31045	1982/5/10
46	野上 春彦	23504	1982/5/24
47	隈元 満広	31043	1982/5/24
48	餅原 信広	26472	1982/5/31
49	平賀 真雄	23935	1982/6/11
50	鶴田 正人	30402	1982/6/22
51	児玉 公輝	26099	1982/11/1
52	島児 末治	29708	1982/11/25
53	福居 重和	25014	1982/12/28
54	飯伏 順一	25571	1983/5/10
55	吉谷 正浩	31875	1983/5/10
56	隈元 忍	26915	1983/5/12
57	園田 実郎	24831	1983/5/17
58	内田 一久	26241	1983/5/17
59	尾曲 和久	33546	1983/5/17
60	松本 俊也	24211	1983/5/25
61	前東 純一郎	25013	1983/5/25
62	瀬戸口 勲	25015	1983/5/25
63	駒水 義文	25757	1983/5/25
64	前床 寿隆	29836	1983/5/25
65	長野 秀行	31356	1983/5/25
66	大迫 良一	32931	1983/5/25
67	執印 裕之	25018	1983/5/31
68	前田 哲也	26293	1983/10/29
69	斉藤 二郎	25539	1983/11/30
70	川畑 歳文	28819	1983/11/30
71	田上 浩幸	29712	1983/11/30
72	中村 若夫	31659	1983/11/30
73	岡田 淳徳	9501	
74	河野 正人	9650	
75	村山 光生	9912	
76	鮫嶋 宗俊	13150	
77	竹元 信秀	18216	
78	緒方 和男	18259	
79	谷 俊雄	19764	
80	坂元 成行	26406	

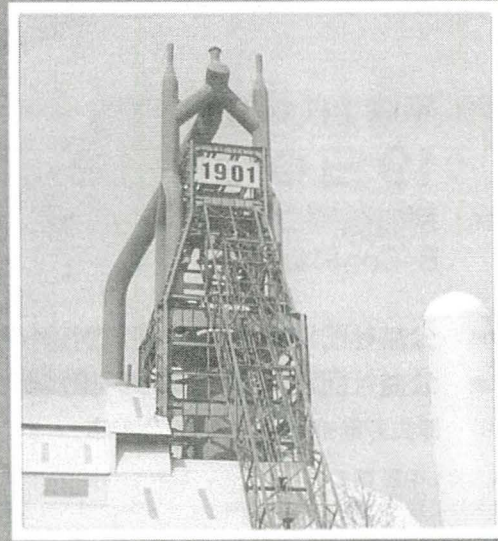
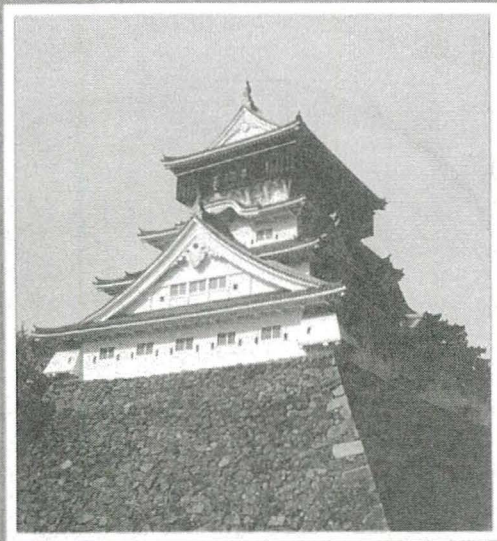
第9回

# 九州放射線医療技術学術大会

The Annual Meeting of the Kyushu Radiological Medical Technology

第60回九州放射線技師学術大会

第63回公益社団法人日本放射線技術学会九州部会学術大会



## 『放射線医療の原点から未来へ』

### これからの装置管理を考える

日時

平成26年11月1日(土)～2日(日)

会場

北九州国際会議場

〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

主催：九州地域放射線技師会 / 公益社団法人日本診療放射線技師会  
公益社団法人日本放射線技術学会九州部会



第30回 The 30th Japan Conference of Radiological Technologists(JCRT)

# 日本診療放射線技師学術大会

第21回 The 21st East Asia Conference of Radiological Technologists(EACRT)

# 東アジア学術交流大会

●大会テーマ

国民・医療者と協働し質の高い医療を提供しよう

## “調和がもたらす至極の業”

●日時：平成26年9月  
19日(金)・20日(土)・21日(日)

●場所：別府国際コンベンションセンター  
B-ConPlaza

●主催：公益社団法人 日本診療放射線技師会

●共催：公益社団法人 大分県放射線技師会

●後援：厚生労働省(予)・大分県・別府市

・会長：中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)  
・大会長：江藤 芳浩 (公益社団法人 大分県放射線技師会 会長)



大会ホームページ  
<http://www.c-linkage.co.jp/30jcrt/>



## 『平成26年度 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い』のご案内

第3回となります女性の集い研修会を、下記の日程で開催いたします。参加対象は、女性はもちろん男性の方も、性を問わず診療放射線技師・学生の皆さまとなっております。

今回は、9月に移転します米盛病院を会場にして、開催いたします。また、副院長そして救急部長である富岡譲二先生の講演も企画いたしました。そして、施設見学も申請中です。

皆さま御存知のとおり、救急の分野では名をはせ、また、そのプレゼンテーション力も素晴らしいと評判の富岡先生の講演、この機会にぜひ多くの方にお聞きいただければと思います。

### 記

- 開催日：平成27年 1月17日（土）  
 時間：15:00～18:00  
 会場：米盛病院 ※確定  
 鹿児島市与次郎1丁目7番1号  
 参加対象：診療放射線技師・養成機関学生  
 ※男性女性の皆さま対象です。  
 参加費：会員・学生：無料、非会員：500円  
 内容：  
 ・講演：富岡譲二先生  
 （米盛病院副院長兼救急部長）  
 ・検査・撮影時に役立つ手話  
 ・施設紹介ほか  
 ・米盛病院施設見学 ※申請中

※終了後、情報交換会を予定しております。



研修内容の詳細が決まりましたら、あらためて、お知らせいたします。

#### 【世話人】

松下 直美・ 新村 栄次・ 市木 由美・ 本村 江利子・ 丸尾 美由紀・ 今田 万里代・ 田崎 夕里・ 原口 織歌・ 黒木 寿恵・ 弓場 翔美

#### 【問い合わせ】

松下 直美 徳久整形外科 放射線部 0993-53-4311

【当会 URL】 <http://kagoshima-rt-women.blogspot.jp/>

各 位

平成26年9月吉日  
公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田 睦  
鹿児島X線撮影研究会  
馬場 隆行

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 第3回鹿児島X線撮影研究会(ご案内)

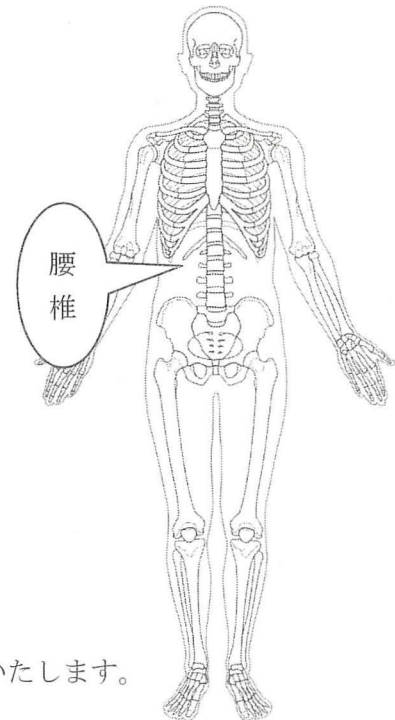
下記の日程で開催いたします。腰椎は、比較的頻繁に撮影がされている部位のひとつです。その腰椎撮影をあらためて見直し、より診断価値の高い画像情報を提供できるようにしていただければと思います。たくさんの方の参加をお待ちしています。どうぞお気軽にご参加ください。

### 記

- 開催日：平成27年 1月10日(土)  
時間：15:00~18:00  
会場：米盛病院 ※まだ予定で確定ではありません  
鹿児島市与次郎1丁目7番1号  
参加費：技師会会員・学生：無料、非会員：500円  
内容：テーマ「腰椎撮影その1」  
・教育講演(座学)  
・各施設の腰椎撮影の紹介  
・撮影のコツ講座(ハンズオン)

※終了後、情報交換会を予定しております。

研修内容の詳細が決まりましたら、あらためて、お知らせいたします。



### 【世話人】

馬場隆行・渡邊義治・大園健一・伊藤大助・有菌良一・山神昭彦・屋部太輔・山崎慎治・池田隆太・岩下昌平・松野下直美・柳川絢海・丸尾美由紀

### 【問い合わせ】

馬場 隆行  
今村病院分院 画像診断部  
099-253-9930 (5272) ダイヤルイン

【当会 URL】 <http://kagoshima-rt-xsg.blogspot.jp/>

平成26年8月吉日

関係各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会長 池田 睦

地域理事 岡野 三男

## 第23回 北薩地域研修会の開催について

拝啓

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして下記のとおり北薩地域研修会を開催いたします。

尚、研修会終了後に情報交換会(懇親会)も開催いたします。

会員の皆様には多数のご出席とご協力の程、宜しくお願いいたします。

### 記

- 1、 日時 : 平成26年11月22日(土) 15時より
- 2、 場所 : 出水総合医療センター 2階 講堂
- 3、 内容 : 別紙 プログラムにて

◎ 同封の送信票にて研修会・情報交換会の出欠をFAXまたはE-mailにて11月15日までに送信願います。

送信先 FAX : 0996-32-3541  
E-mail : okano@maruta.dr-clinic.jp

(医)杏林会 丸田病院 岡野三男まで

## 第23回北薩地域研修会プログラム

司会 : いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 灰床 利隆

【1】 開会の挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 北薩地域理事 岡野 三男

【2】 会長挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦

【3】 会員発表 座長 : 県立北薩病院 中山 龍一

① 当院の乳腺MRI検査について

済生会 川内病院 宇都 浩一朗

② 当院における冠動脈CT読影補助の試み

出水郡医師会広域医療センター 吉村 伸一郎

③ 腰椎分離症におけるCT検査の有用性

新門整形外科 東條 昌樹

④ 下部消化管疾患における超音波検査の有用性—CT単純画像と比較して

出水郡医師会広域医療センター 塚元 己年

⑤ ワークステーションにおけるウィルス感染の現状と対策

川内市医師会立市民病院 藺田 大樹

休憩 16:20 ~ 16:30

【4】 講演 座長 : 出水総合医療センター 溝下 育男

1. 『 医用モニターの基本と品質管理について 』

EIZO株式会社 石原 誠人

2. 『 東芝CT・MRI装置の最新情報ご紹介 』

東芝メディカルシステムズ株式会社 小林 修一郎

【5】 閉会の挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 北薩世話人 出水田 尚文

情報交換会

居酒屋 意那気 出水市本町14-5 (ホテルキング近く) 18:30~

会費 : 3000円 担当 : 寺田病院 春口 良久

# 送信票

送信日 平成 年 月 日

送信先	(医) 杏林会 丸田病院 放射線室 岡野三男 迄  E-mail : okano@maruta.dr - clinic.jp  FAX : 0996 - 32 - 3541
発信者	E-mail : _____
施設名	FAX : _____
送信内容	北薩地域研修会 ・ 懇親会の出欠について

氏 名	鹿児島県診療放射線技師会 会員 ・ 非会員	北薩地域研修会 出・欠	懇親会 出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠
	会員・非会員	出・欠	出・欠

誠に申し訳ございませんが6名以上の施設はコピーにてお願いいたします。

## 放射線機器管理士部会

部会長 西元辰也

### 1. 放射線機器管理士の資格更新について

大半の管理士の皆さまに資格更新の書類が送られてきていると思います。今回も申請書と添付資料を頑張って作成する時期となりました。前回の更新の際は、かなりの資料を作成し送付した事を覚えています。管理士に関しましては、日常の業務（日常点検・定期点検）をしっかりと行い、記録を残す事により更新が可能となっています。機器管理の記録を提出して申請しなければ失効になります。申請すれば、技師会の基礎点もありますので何とかあります。締切は9月30日です、更新書類が送られてきた方は期限までに諦めずに更新手続きをお願いします。

### 2. 放射線機器管理士研修会のご案内

放射線機器管理士研修会を開催いたします。

- 日時：平成26年10月18日（土曜日）15時～  
場所：未定  
内容：一般撮影装置に関する管理の方法  
保守担当の立場から（メーカー）  
施設報告（3施設程度）  
放射線機器管理に関する発表（市立病院）  
教育講演
- 参加費：技師会会員 無料  
非会員 500円

等を予定しております。皆様の御参加をお待ちしております。

放射線機器管理士以外の方も機器管理に関する情報が得られますので是非参加してください。

当部会では、施設報告で発表していただく施設を募集しています。この研修会では、大規模施設だけでなく中・小規模の施設に発表をお願いし鹿児島県内の実情を検証していきたいと考えております。ふるって応募してください。

連絡先：鹿児島市立病院 放射線技術科 099-224-2101(2610) 西元辰也まで

## 漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓蒙を兼ねた環境測定事業を行っています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣会員の2名で実施する予定です。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料1方向5千円（その他の施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円）となっています。

測定希望の施設がありましたら、見積等をご提示しますので、下記へお問い合わせ下さい。

（公社）鹿児島県診療放射線技師会事務局

鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門

（099-275-5664）放射線管理士部会 担当 藤崎

## 平成25年度 鹿児島地域研修会 終了報告

鹿児島地域世話人 梅祐幸

平成26年2月22日土曜日にJA鹿児島県厚生連健康管理センター研修室にて第12回鹿児島地域研修会を開催しました。当初は平成25年10月26日開催予定でしたが、台風の影響で延期になり急な日程変更にもかかわらず、参加者59名(会員47名、非会員4名、メーカー他8名)の参加がありました。鹿児島県放射線技師会が公益社団法人に移行して鹿児島地域として初めての研修会でした。

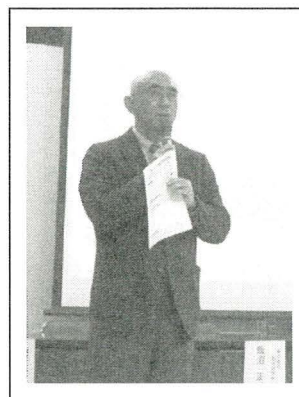
はじめに、会長挨拶として県放射線技師会池田睦会長より活動報告や今後の行事予定等の報告がありました。引き続き、鹿児島地域連絡会では坂下地域理事より平成26年度の活動報告、鹿児島地域世話人等の紹介がありました。

一般演題では、今村病院分院の松下技師から「IVR-CTが有用であった症例」について血管造影のみで確認できない症例において感度の良いCTを併用する事で治療に役立つとの報告でした。鹿児島生協病院の市原技師から「新人技師中期研修の取り組み」について新人教育において、具体的な目標や達成時期などを設定することで本人のみならず、教える側も再度勉強し、あやふやにしていた部分等の再確認が出来ているという報告でした。

鹿児島大学病院の坂下技師から「造影剤のあれこれ」について造影剤の種類や特性、さまざまな副作用等についての報告でした。JA鹿児島県厚生連健康管理センター恒吉技師から「肺がんCT検診車の現状」について移動型CT車の使用経験や症例、発見癌数などの報告がありました。それぞれ、座長の有菌技師のもと活発な質問や議論が行われました。

シンポジウムでは「カセット型フラットパネルの動向」として、メーカー各社、富士、ユニカ、島津よりそれぞれ製品紹介がありました。次に各メーカー使用経験として鹿児島市立病院大山技師、小田代病院平岡技師、鹿児島大学病院田中技師より報告がありました。いずれの施設も以前のCRに比べ少ないX線照射量でも高画質な画像が得られ、患者への被ばくを低減することができるという報告でした。座長の坂下技師の下、こちらも会場より活発な質問、意見があり盛り上がりのあるディスカッションでした。

最後に今後も地域会員が気軽に発表、交流出来る場として会を盛り上げていこうと思います。

開会挨拶  
隈元氏池田会長  
挨拶



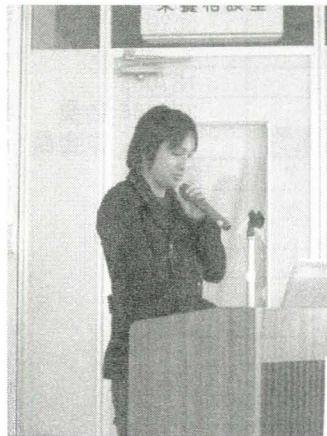
会員発表座長 有蘭氏



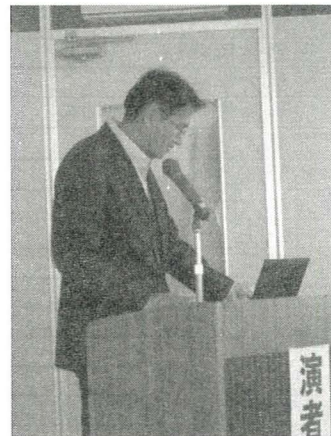
会場風景



今村病院分院  
松下氏



厚生連健康管理センター  
恒吉氏



鹿児島生協病院  
市原氏



シンポジスト

## 平成25年度 第12回鹿児島支部研修会参加者名簿

	施設名	氏名	会員番号
1	鹿児島大学病院	坂下 周一郎	40516
2	鹿児島生協病院	隈元 満広	31403
3	鹿児島医療センター	増井 飛沙人	52147
4	鹿児島厚生連病院	梅北 陽平	55897
5	今村病院 分院	牧野 竜大	55181
6	今村病院	川畑 歳文	28819
7	鹿児島赤十字病院	青木 佑恭	54738
8	三宅病院	日高 浩文	35720
9	鹿児島厚生連病院	石山 重行	22363
10	鹿児島市立病院	大山 貴幸	55552
11	徳久整形外科	松野下 直美	26393
12	吉田温泉病院	竹元 信秀	18216
13	ヲサメ内科クリニック	下園 大介	45990
14	鹿児島通信病院	新留 寿	50613
15	JA鹿児島県厚生連健康管理センタ	中村 雄一	44300
16	南風病院	井ノ上 祐二	32929
17	南風病院	木村 圭佑	55202
18	鹿児島生協病院	市原 健	非
19	鹿児島大学病院	池田 睦	18706
20	鹿児島医療技術専門学校	有蘭 良一	32935
21	鹿児島大学病院	西園 大倫	非
22	今給黎総合病院	新村 栄次	20786
23	鹿児島大学病院	田中 嵩人	新入会
24	今村病院 分院	松下 啓	54234
25	南風病院	白石 朋之	49623
26	今村病院 分院	浅井 愛邦	53881
27	今村病院 分院	馬場 隆行	28489
28	南風病院	藤崎 誠	41248
29	鹿児島市立病院	西元 辰也	27458
30	鹿児島医療センター	ハネタ サトミ	新入会
31	鹿児島厚生連病院	萩原 純久	60532
32	鹿児島厚生連病院	穂山 和章	49651
33	南風病院	山下 友也	58105
34	鹿児島厚生連病院	西 憲文	49901
35	鹿児島厚生連病院	中島 さおり	43023
36	南風病院	上川 智弘	55649
37	今村病院 分院	弓場 翔美	55574
38	南風病院	高田 橋 司	59311
39	鹿児島大学病院	西郷 康正	26838
40	鹿児島赤十字病院	米山 信司	36699
41	鹿児島大学病院	藤崎 拓郎	26098
42	鹿児島医療技術専門学校	駿河 景子	学生
43	鹿児島医療技術専門学校	浜崎 ゆりか	学生
44	鹿児島厚生連病院	梶 祐幸	48723
45	今村病院	黒木 寿恵	56070
46	JA鹿児島県厚生連健康管理センタ	原口 誠	34995
47	鹿児島市医師会病院	斎藤 二郎	25539
48	小田代病院	里中 洋一	非
49	小田代病院	平岡 俊彦	非
53	JA鹿児島県厚生連健康管理センタ	恒吉 雅也	54202
54			
55			
56			
57			
58			
59			
60			
61			
62			

会員 47名

非会員 4名(メーカー8名)…500円4人分のみ

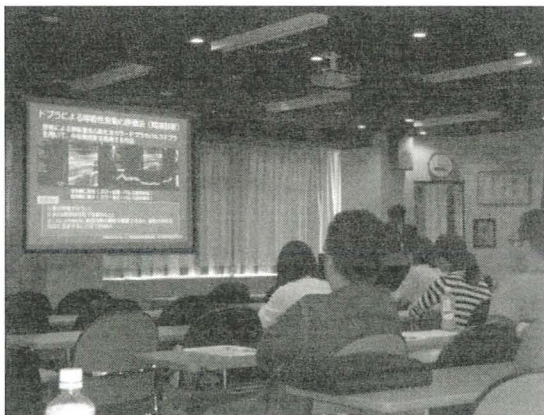
### 『第3回鹿児島超音波研究会報告』

鹿児島超音波研究会  
霧島市立医師会医療センター 塩屋晋吾

平成26年5月24日(土)に第3回鹿児島県放射線技師会超音波研究会を南風病院 ANNEX Iで開催致しました。今回は特別講演として、済生会八幡総合病院 馬場三男先生をお招きして「病理から学ぶ超音波所見 “胆嚢”」という演題で講演をして頂きました。胆嚢の病態生理や超音波画像と病理との対比を中心とした大変興味深い内容で参加者のみなさんも非常に勉強になったのではないかと思います。また乳腺領域のレクチャーを相良病院の原口さんに、下肢静脈～DVT～のレクチャーを指宿浩然会病院の國生さんにそれぞれ担当して頂きました。日頃ルーチンワークの際に気を付ける点や工夫する点、症例含めて分かりやすく説明して頂き明日からの検査に役立つレクチャーだったのではないかと思います。

当日の参加者は39名(JART 会員27名・非会員12名)とこれまでの2回と比べるとやや寂しい人数でしたが、ディスカッションはこれまでと同様に活発に行われ、やはり超音波検査に対する関心と熱意の高さを感じました。

今後の本会の予定としましては、第4回研究会を8月22日に開催予定です。これからも超音波検査の魅力が皆さんに伝わるような内容を企画したいと考えていますので、ぜひ今後もお気軽に参加して頂けたらと思います。



## 平成26年度(公社)鹿児島県診療放射線技師会 春季学術大会 開催報告

恒例により、平成26年度公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の春季学術大会が、平成26年5月31日(土)に下記プログラムで、鹿児島大学医学部保健学科6Fインテリジェンス講義室にて開催された。

会員発表は、8演題で、一般撮影からRI、MRI、機器保守管理と発表内容は多岐に渡り、会場からの熱心な質問も多く、時間を超過するセッションもあった。情報提供は、九州地域放射線技師女性の会 代表世話人である松野下直美さんから、発足した女性の会の今後の活動報告等の紹介があった。特別講演は、(社)日本画像医療システム工業会の鍵谷昭典先生より、平成26年度診療報酬改定について、なぜ改訂されたか等の分かりやすい解説と、我々診療放射線技師に関係する箇所を、今後の動向等を踏まえて講演頂いた。参加者は、51名の参加数であった。

是非、発表者には更に研究を進められ、九州放射線医療技術学術大会にもエントリーして頂きたいと思います。尚、鹿児島県診療放射線技師会では、2月に大隅地域で学術大会を開催予定ですので、多数の方の発表と参加をお願い致します。

## 「学術大会プログラム」

## 【会員発表】 15時～16時25分

## 【セッション1】 11時20分～12時

座長 鹿児島大学医学部歯学部附属病院 大園 健一

1. 股関節 Truth axial を求めて 新定義 第3の角度  
今村病院分院 画像診断センター 馬場 隆行
2. ワイヤレス FPD と CR カセットの画質評価  
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 西岡 大倫
3. ATP 拭き取り検査を用いた医療機器の汚染測定と除染評価  
霧島市立医師会医療センター 有馬 大樹
4. 当院における医療機器の保守管理について  
鹿児島市立病院 米田 寛彬

## 【セッション2】

座長 鹿児島市立病院 米重 亮馬

5. MOSFET 線量計の使用経験  
鹿児島大学医学部歯学部附属病院 市原 正道
6. 骨シンチグラフィ画像の表示および出力の統一化(SUV の概念を利用した Bone Display Value)  
今給黎総合病院 丸尾 美由紀
7. 3D-FFRSE( Fast Recovery FSE )法を用いた椎骨脳底動脈描出における至適撮像条件の検討  
川内市医師会立市民病院 秋葉 裕史

8. 当院 MRI 部門の事故低減の取り組み

公益社団法人鹿児島共済会 南風病院

藤崎 誠

【情報提供】 16時30分～16時50分

「診療放射線技師女性サミット活動報告」

九州地域放射線技師女性の会 代表世話人

松野下 直美

【特別講演】 17時～18時

司会 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦

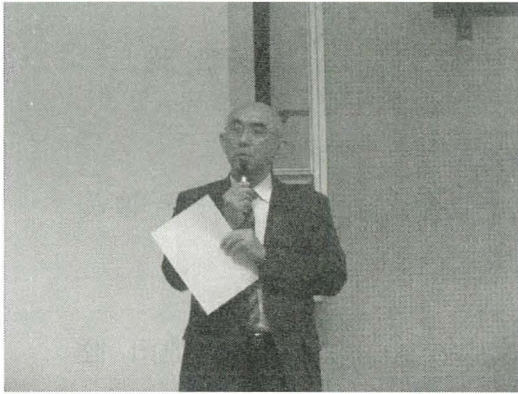
「平成26年度診療報酬改定の概要と今後の動向」

(社)日本画像医療システム工業会

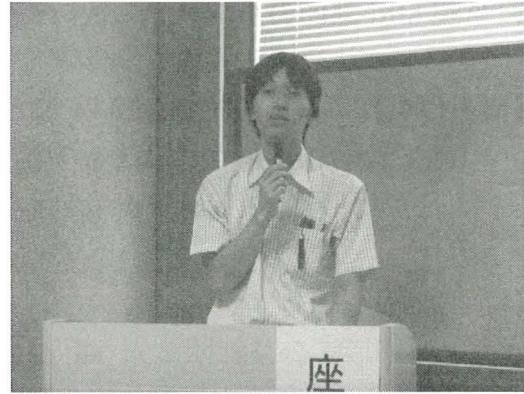
鍵谷 昭典 先生

「参加者」

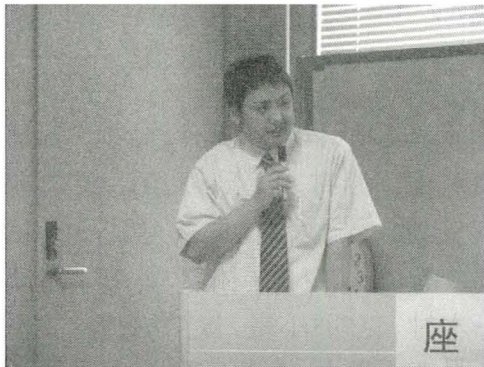
新村 栄次・藤崎 誠・平田 勝・瀬戸 和人・米重 亮馬・佐藤 洋一・藤坂 智史・  
石本 裕二・松野下 直美・大久保 光男・池田 睦・淵村 有紀・丸尾 美由紀・  
平賀 真雄・室屋 純一・市原 正道・米田 寛彬・川原 浩・大園 健一・島児 未治・  
原口 誠・野中 康博・石山 重行・岩永 崇・恵 智徳・井ノ上 祐二・園田 実郎・  
田中 嵩人・園田 実郎・岡野 三男・瀬戸口 勲・本村 克朗・小屋 保浩・有菌 良一・  
西元 辰也・新留 寿・山口 信夫・市川 和幸・牧野 竜大・浅井 愛邦・梶 祐幸・  
奥 好史・淵脇 崇史・上床 達哉・松本 俊也・馬場 隆行・秋葉 裕史・佐々木 雅史・  
有馬 大樹・藤崎 拓郎・岩元 亮太・小磯 美奈・太田原 美郎・下園 大介・  
池田 隆太・持留 浩輔・山下 友也・木村 圭佑・坂下 周一郎・穂満 信行・  
川畑 理恵・大塚 麻里・日高 稔・市園 淳二・林 六計・二間瀬 竜太・松永 昭一・  
郭 武浩・高田橋 司・大塚 洋和・西岡 大倫・大坪 丈太郎・池田祐也・タカマツ コウタ・  
タカハシ タクマ(敬称略 順不同)



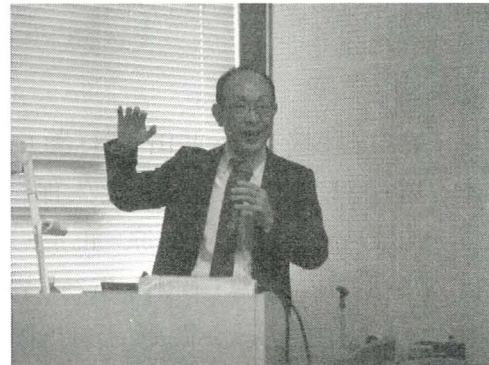
会長



座長 大園氏



座長 米重氏



鍵谷氏



松野下氏



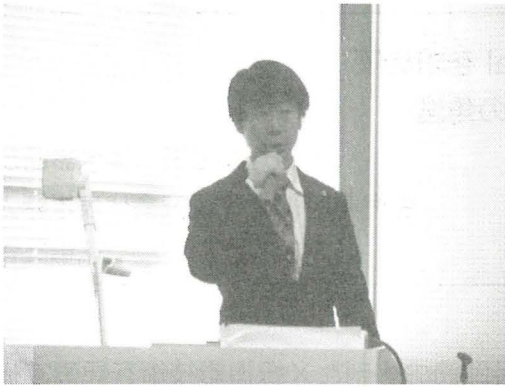
丸尾氏



市原氏



西岡氏



藤崎氏



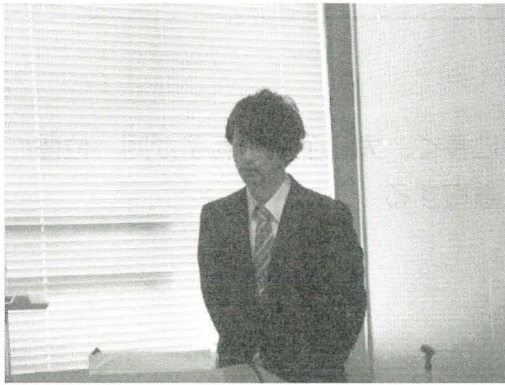
秋葉氏



馬場氏



米田氏



有馬氏

## 股関節 Truth axial を求めて 新定義 第3の角度

今村病院分院 画像診断部  
鹿児島 X線撮影研究会代表世話人  
馬場隆行

### はじめに

股関節の X線撮影法の種類には、正面像軸位像、ラウエンシュタイン法等あるが軸位像は足側方向からの位置決めで、被写体とカセットの位置が離れていて、位置決めが難しく、オリエンテーションがつきにくい。

### 目的

X線撮影の難易度が極端に高い軸位像であるが、前捻角の程度の確認や臼蓋との適合性確認や骨頭内変化の確認など意義深い。そこで、従来の股関節軸位の撮影を検証し、理論と画像のずれを補正し、

股関節の解剖と X線撮影技術を見直す機会とする。さらに撮影法を定量化し、規格化された精度の高い手法にすることにより、技師の経験や勘に頼りすぎない股関節 Truth axial【真の軸位】の撮影法を確立する。

### 方法

今回、新たに定義した前倒角という考え方を撮影に取り入れ、その撮影のための補助具の形状を決定し、正確な入射のためのテンプレートを作成する

### これまでの股関節軸位 X線撮影法

体位：背臥位で水平方向軸位撮影。非検側の股関節、膝関節を 90° 屈曲し、補助台に乗せる。

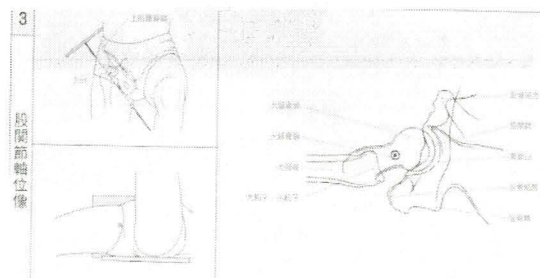
検側の下肢は伸展して内旋する。

中心線：水平な水平線で、検側の上腸骨棘と恥骨結合を結ぶ線に平行な角度で上腸骨棘と恥骨結合を結ぶ線の足方 7 cm の位置で、大腿部の前方 1/3 の点に入射。

X線像：寛骨臼と前後の関節縁、大腿骨頭が側面像になり、寛骨臼の後方に坐骨結節が描出する

大腿骨頭に続く大腿骨頸は水平

に長く、大転子と小転子が同一位置に重複する

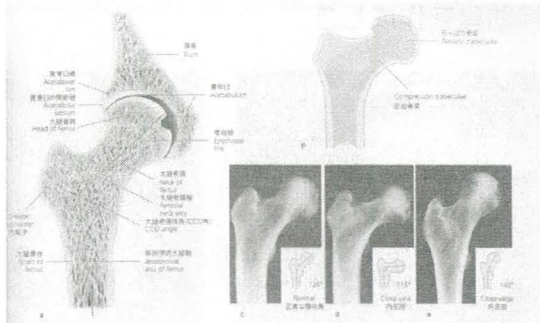


出典：図説 単純 X線撮影法

### 頸体角と前捻角について

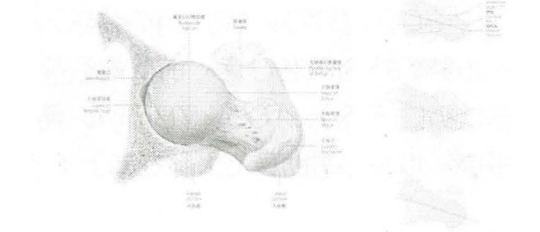
股関節のX線撮影を行う上で頸体角と前捻角は大変重要な意義を持っている。

#### 頸体角について



成人の頸体角は125度～135度の幅があり軸位像の時に個別に設定することが重要となる。頸部を長く描出するには、個別の頸体角を股関節正面X線像にて確認しておくことが大切である。

#### 前捻角について

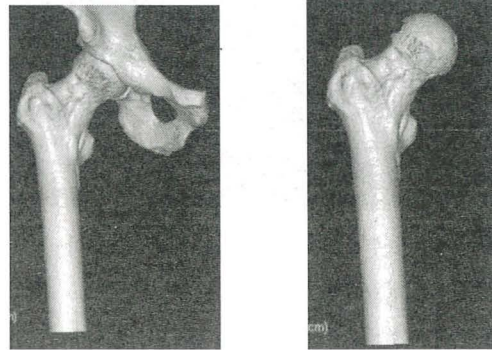


成人の前捻角は12°～15°の幅があり、正面像撮影のときに内旋度合いの決定に必要である。内旋度合いの決定には撮影時に大転子を正確に触診し、大転子を内旋しながら最大限に外側に出た時点で撮影するべきであろう。

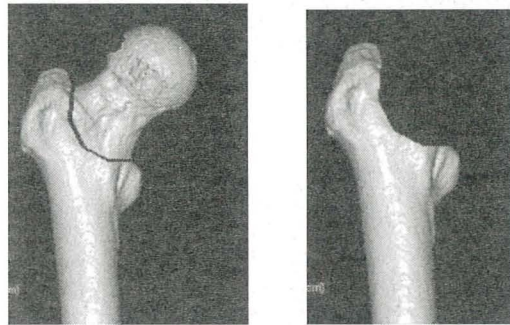
#### 第3の角度の前倒角の考え方

軸位像を撮影する上で常々矛盾に感じていた事は、撮影台に検側の下肢は伸展して内旋するだけで大腿骨頭へ続く大腿骨頭は水平に長く、大転子と小転子

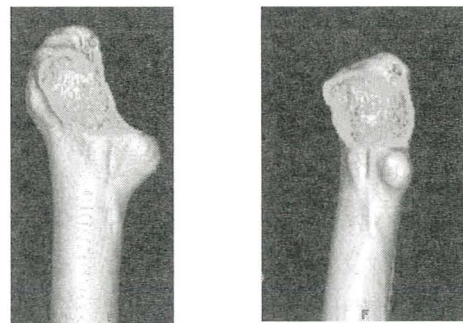
が同一位置に重複するであろうか？という点であった。そこで3DCTの大腿骨のデータを使用し、検証を行った。



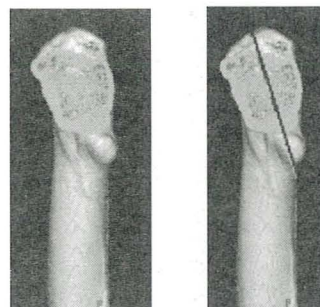
大腿骨のみにする



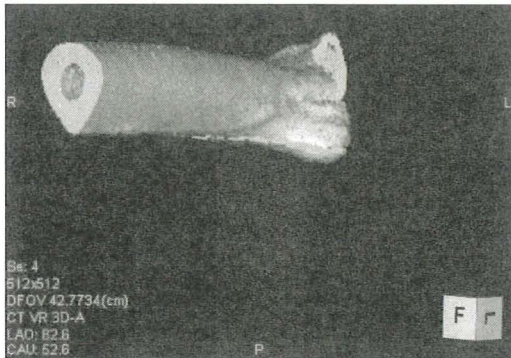
頸部と骨頭を切り取る



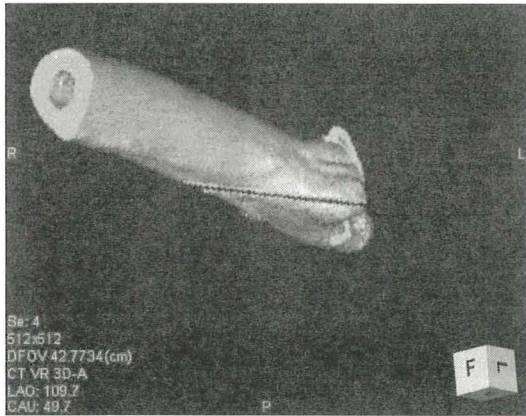
回転させ、カット面を正面にする



大転子と小転子の中心を結ぶ線でカット

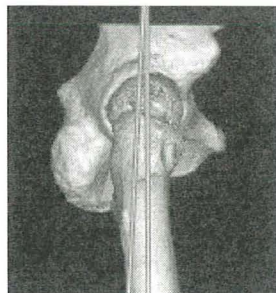
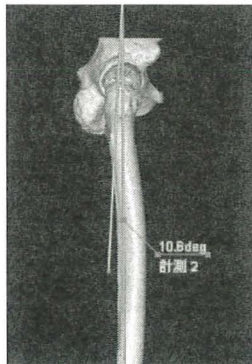


そのまま水平まで回転してもカットした面は観察できない  
通常はこの角度で撮影していた



10°ほど大腿骨を拳上するとカット面が観察できるようになる。大転子と小転子の中心が合致するこの角度が真の軸位と考え補正する。

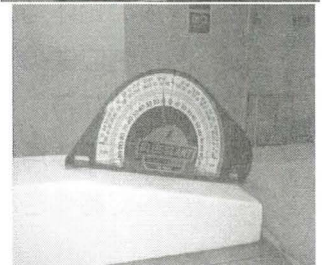
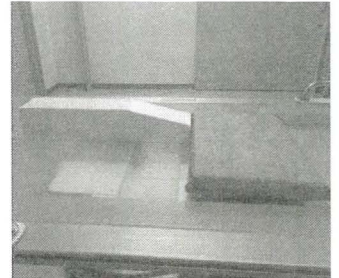
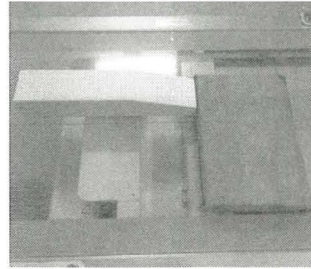
さらに大腿骨頸部は円柱状ではなく楕円柱状であり、この角度で補正すると楕円の長軸方向に合致し、大腿骨頸部を最大限に細く描出できることもわかった。



大腿骨に対して10°前方に倒れているこの角を前倒角と定義した。

#### 前倒角補正用 撮影補助具

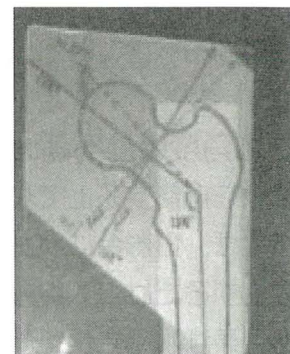
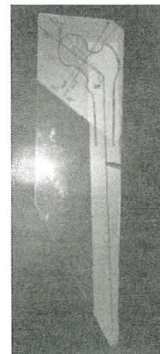
この前倒角を補正するために新たに撮影補助具を作成した。



股関節を4つ切横中心に合うように臀部の下に300×370×40mmの発砲スチロール製の補助具をひき、前倒角を補正するために550×100×78mmの発砲スチロール製の補助具で大腿を拳上する

#### 頸体角補正用テンプレート

頸体角の個人差を補正し頸部に対して垂直にX線を入射するために、テンプレートを使用する。

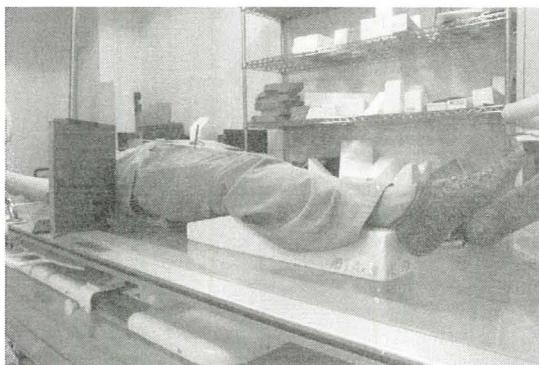


### 補助具とテンプレート使用法

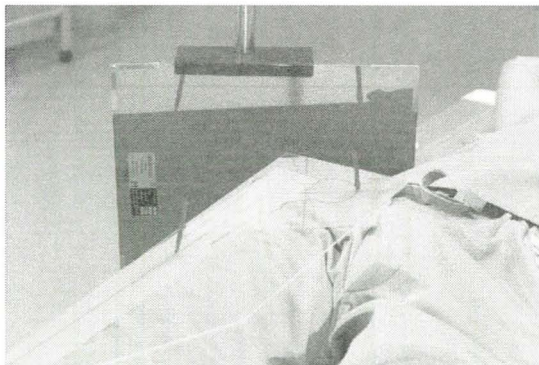


テンプレートは大転子を基準に大腿の上に正確に置く。

股関節正面像で確認した頸体角に対してテンプレートを参考に垂直に入射する  
この時、横方向に配置したカセットのリスにX線を蹴られないように、管球の高さは計測したリスの中心に正確にあわせるように手段を講じるべきである。

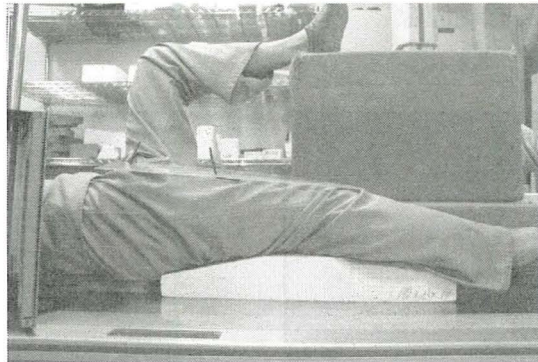


前倒角補正の為に78mm拳上

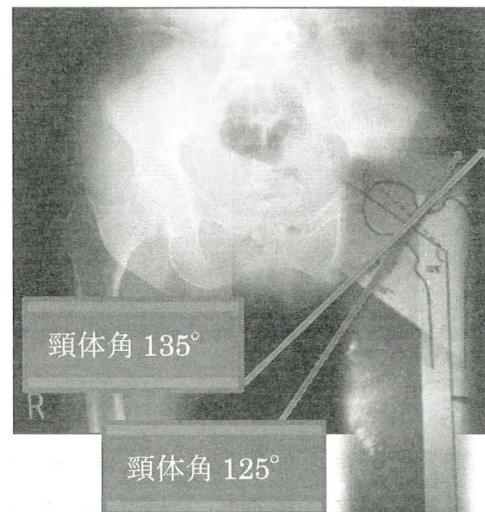
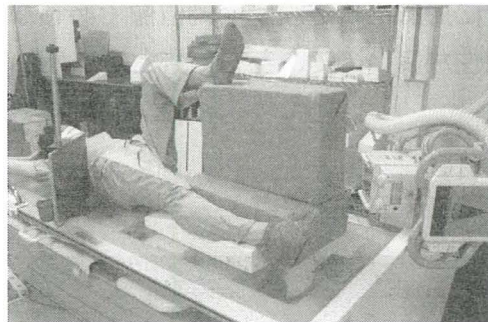


カセットに投影されたシリコンチューブマーカー【赤い棒状】を参考にして

カセットの位置を決めるため、骨頭や人工骨頭シャフトを視野内に納めやすい。



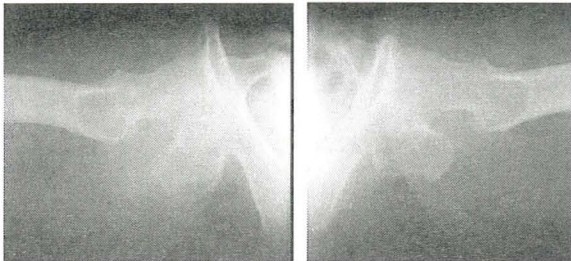
健側はスポンジの上に載せ90°屈曲



大転子をしっかり触診し  
テンプレートの高さを合わせ  
膝関節を参考に大腿骨遠位端  
の方向に向きを合わせることが重要となる。  
テンプレートの上に投影された照射

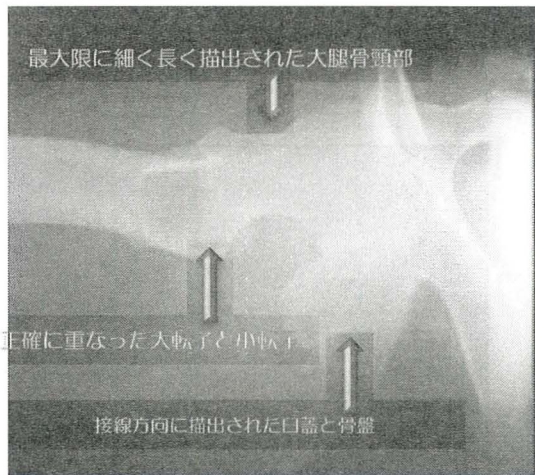
野ランプの方向をテンプレートとあわせる。

### ×線軸位像



別々に撮影された股関節軸位像であるが再現性が良いので、左右対称となっている。

### ×線軸位像の画像要点



前倒角を補正したことにより大転子と小転子が正確に重複し、大腿骨頸部は長さ幅共に細く長く描出され、臼蓋と骨盤が接線方向に描出され、前捻角の程度の確認や臼蓋との適合性確認や骨頭内変化の確認などが可能であること。

### まとめ

- 新たに定義した前倒角という考え方を撮影に取り入れた。
- 補助具を作成し、患側の安定と角度決定が容易になった。
- テンプレートを利用し、個人差がある、大腿骨頸部に垂直に×線を正確に入射できるようになった。
- テンプレートに2次機能を加えたことにより、人工股関節の骨頭とシャフトを撮影時の位置決めが容易になった
- 股関節 Truth axial の撮影方法を確立し、テンプレートや補助具を効果的に使用することにより、定量化され精度の高い手法となり、技師の経験や勘に頼りすぎない撮影方法を確立できた。

## ワイヤレス FPD と CR カセットの画質評価

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院

研究者：西岡 大倫

共同研究者：大園 健一，西郷 康正

### 【要旨】

本研究では、ワイヤレス平面検出器 (Flat Panel Detector : FPD) と CR (Computed Radiography) カセットに対して線量および被写体厚の変化が画質に及ぼす影響について検討するために、ファントムを用いた基礎的検討を行った。アクリル板と C-D (Contrast - Detail) ダイアグラムを用いて、線量を7段階、被写体厚を2段階に変化させた視覚評価用試料を取得した。取得した試料の観察を、放射線技師5名に依頼し評価値を収集し、得られたデータをもとに画質指数: IQF (Image Quality Figure) を算出した。また、同じ照射条件における RMS (Root Mean Square) 粒状度を算出し、これらの値を元に比較検討した。線量、被写体厚どの条件においてもワイヤレス FPD の方が良い値となった。RMS 粒状度についても同様であった。IQF 及び RMS 粒状度を用いた画質評価では、ワイヤレス FPD は CR カセットよりも、画質を担保しつつ線量を低減できる可能性が示唆された。

### 1. 緒言

近年、ワイヤレス FPD が X 線撮影領域に対して広く導入されつつあり、画質の向上や被ばく線量の低減が期待されている。メーカー各社から、物理評価データの公開はされているものの、視覚評価に関する報告は少ないというのが現状である。そこで本研究では、線量および被写体厚の変化が画質に及ぼす影響について検討するために、ファントムを用いた視覚評価による基礎的検討を行った。

### 2. 方法

#### 2.1. 視覚評価用試料の取得

図.1 に示すように、検出器の上に C-D ダイアグラムを挟み込んだアクリル板を設置して、視覚評価に用いる試料を取得した。撮影条件は、被写体厚 10 cm の場合、80 kV, 200 mA, 40 msec, 8 mAs を、被写体厚 15 cm の場合、80 kV, 200 mA, 100 msec, 20 mAs をそれぞれ基準線量とし、それに対して 0.125 倍, 0.25 倍, 0.5 倍, 0.7 倍, 1.0 倍, 2.0 倍, 4.0 倍相当線量とした。また、すべての撮影において、小焦点モードとし、画像処理条件は当院で臨床使用している腹部条件とした。

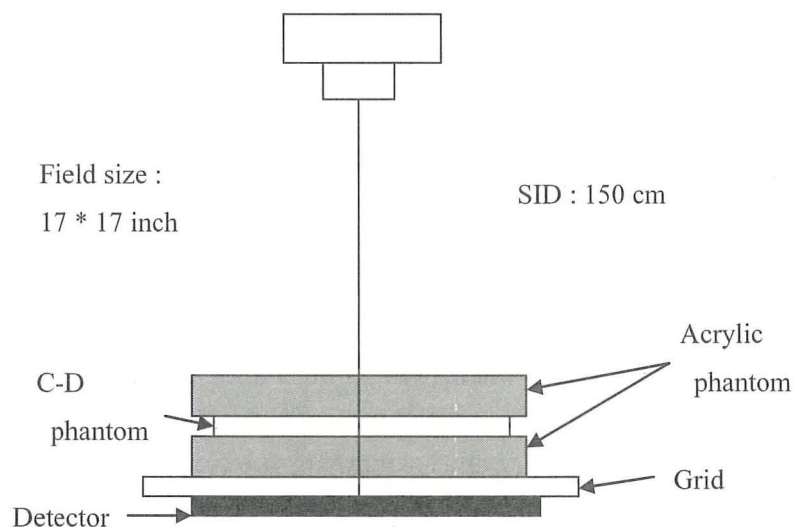


図.1 試料取得のジオメトリ

## 2.2. 試料の評価

試料の観察環境は、観察距離、観察時間を自由とし、部屋の明るさと写真濃度は一定とした。この環境下で、放射線技師 5 名に、C-D ダイアグラムの信号を 50% の確信度で検出できる点を答えるよう依頼した。この点を識閾コントラストと呼ぶ。

## 2.3. 試料の解析

試料の観察で得られたデータをもとに、各線量の C-D 曲線を作成し、IQF を算出した。IQF は信号の各径における識閾コントラストの積分値であり、次式で定義する。

$$IQF = \sum_{i=1}^n (D_i * C_{imin})$$

ここで、 $D_i$  穴の直径、 $C_i$  は穴の深さであり、IQF が小さいほど画質は優れているということになる。また、同じ撮影条件における RMS 粒状度も算出した。その後、各条件に対して評価値を比較・検討した。

## 3. 結果及び考察

図.2 に被写体厚 10 cm における IQF 及び RMS を、図.3 に被写体厚 15 cm における IQF 及び RMS をそれぞれ示す。

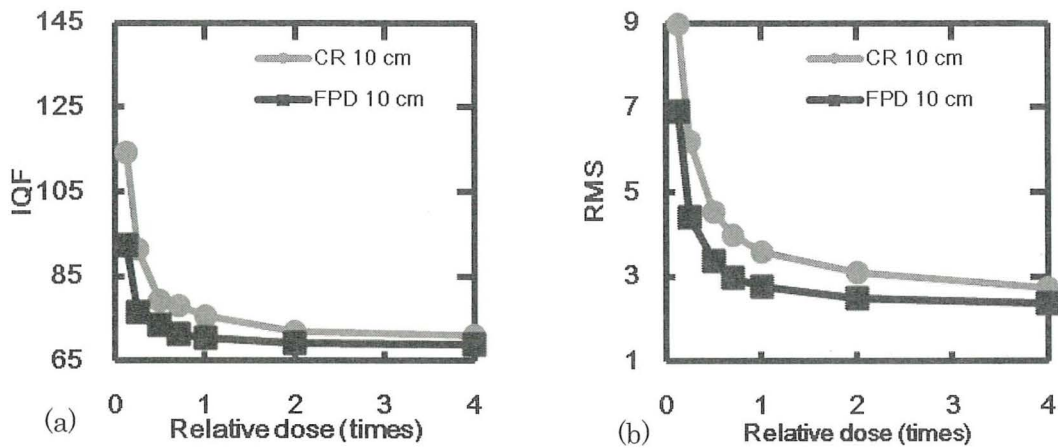


図.2 被写体厚 10 cm における(a) IQF と(b) RMS の比較

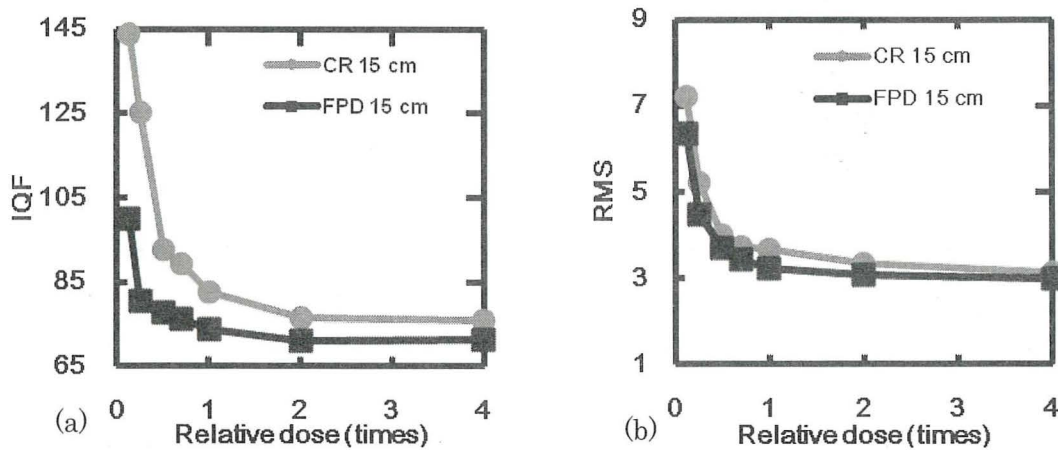


図.3 被写体厚 15 cm における(a) IQF と(b) RMS の比較

図.2に示すように、被写体厚 10 cm では IQF と RMS 共にすべての線領域で FPD の方が優れているという結果になった。ここで、図.2.(a)の各曲線のプラトー領域が崩れている点に着目すると、画質の指標である IQF が大幅に悪化し始めている点は、FPD では 0.25 倍線量である 2 mAs 付近であるのに対して、CR では 0.5 倍線量である 4 mAs 付近であった。それぞれの線量まで画質が担保できていると考えれば、FPD は CR よりも 50% 線量を低減できるということになる。また、図.3 に示すように、被写体厚 15 cm においても IQF では被写体厚 10 cm の場合と同様の傾向がみられた。しかし RMS の比較では FPD と CR 間での差は小さくなっていった。これは、散乱線成分の増加等により検出器への到達線量が増加したこと起因すると考えられる。いずれの結果においても FPD が CR よりも優れているという結果が得られたが、各検出器の X 線利用効率差がこのような結果を生んだと考えられる。

#### 4. 結論

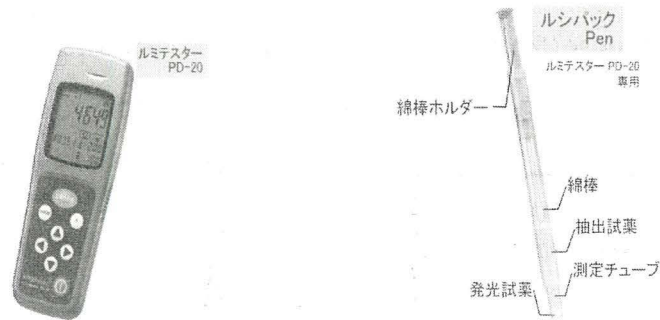
FPD は CR よりも視覚評価においてどの線量でも優れており、画質を担保しつつ低線量で撮影できる可能性が示唆された。

## ATP 拭き取り検査を用いた医療機器の汚染測定と除染評価

霧島市立医師会医療センター 有馬 大樹

[目的]医療機器を介しての感染を予防するために、医療機器の汚染状況をATP測定器を用いて把握し、また清掃によってどの程度汚染が改善されるか測定した。

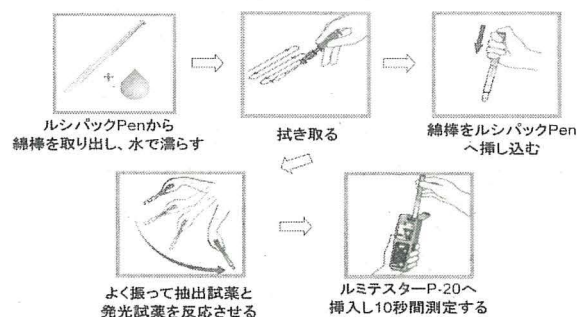
[使用機器]ルミテスター PD-20、ルシバック Pen、ショードックスーパー



[方法]ATP測定器を用いて、立位撮影台類のせ、CRカセット、ポータブル撮影装置、CT撮影装置寝台、超音波撮影装置プローブの5か所を、一日の検査終了時に清掃前と清掃後に測定を行った。

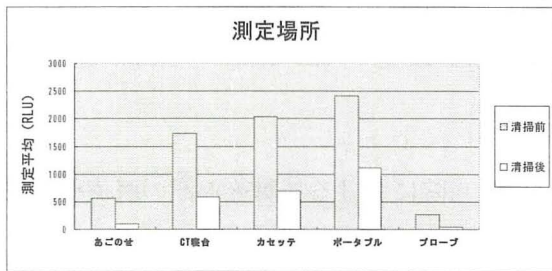
測定原理は一般生菌や食中毒菌などの微生物が、エネルギー代謝に使用するATP（アデノシン三リン酸）をルシフェラーゼ酵素と反応させることで発光させ、その発光量をルミテスターPD-20を用いて測定することでATP量を数値化する。

[測定手順]

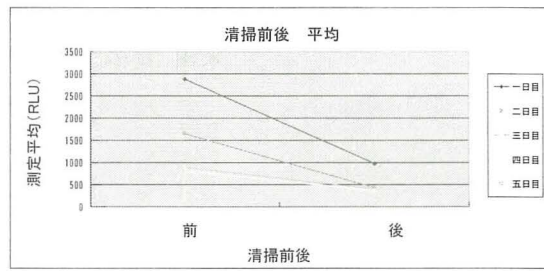


[結果]最も測定値が高かったのは、ポータブル撮影装置となった。全ての測定箇所清掃前に比べて清掃後の数値が半数以下への減少がみられた。定期的に清掃をする事で、数値が徐々に減少する傾向が見られた。

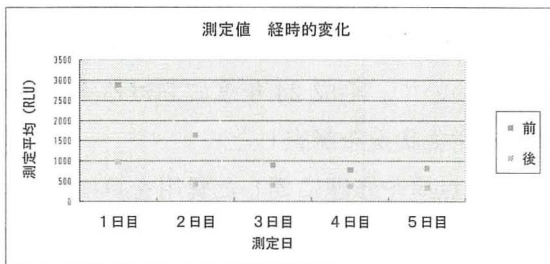
結果①



結果③



結果②



[まとめ]

- ①最も測定値が高かったのは、ポータブル撮影装置、次にCRカセットとなった。
- ②全ての測定箇所では清掃前に比べて清掃後の数値が半数以下への減少がみられた。
- ③定期的に清掃をする事で、数値が徐々に減少する傾向が見られた。

[考察]

- ①測定部位に凹凸があり、清掃しづらいため高い値を示し、また清掃後の測定値の減少も他に比べて少なかった。
- ②清掃によりほとんどの場所で、凹凸のあるものの管理基準である500RLUを下回り、清掃が有効であった。
- ③定期的に清掃をすることで、清掃前でも一定以上の汚染を防ぐことが可能であった。

[結論]汚染の状況を把握することでスタッフの清掃への意識が高まり、感染予防に繋がった。また清掃後の汚染状況を知ることで、清掃の効率化に繋がった。

# 当院における医療機器の保守管理について

鹿児島市立病院 放射線技術科

米田 寛彬 西元 辰也 池田 政美 大山 貴章 太田原 美郎

## 【背景】

「安全」かつ「安心」な医療を提供するには、医療機器の高い安全性と診断能を維持することが不可欠であり、機器の保守管理は必須のものとなる。

平成19年に施行された改正医療法においても、医療機関に対し医療機器安全管理者の設置、保守点検の計画と適切な実施を求めている。しかし、それは院内に存在する多くの医療機器となっており、それに要する費用や人材への負担は大きく、病院運営に影響を与えかねない状況となっている。

## 【目的】

当院では、放射線部門における医療機器の保守点検については、装置メーカーと特別な契約は結んでおらず、自ら行なう使用者点検（始業終業点検、定期安全点検）と装置メーカーが点検のみを行なうスポット点検を実施している。したがって機器に修理が発生した場合、部品、人件費等は全てその都度実費となっている。

今回、当院における放射線部門の医療機器について、保守管理の状況を分析した。

## 【方法】

1. 当院において特に保守費(点検費および修理費)が高額となりやすい放射線部門の医療機器について、平成24年度における不具合や故障の発生状況を調査した。

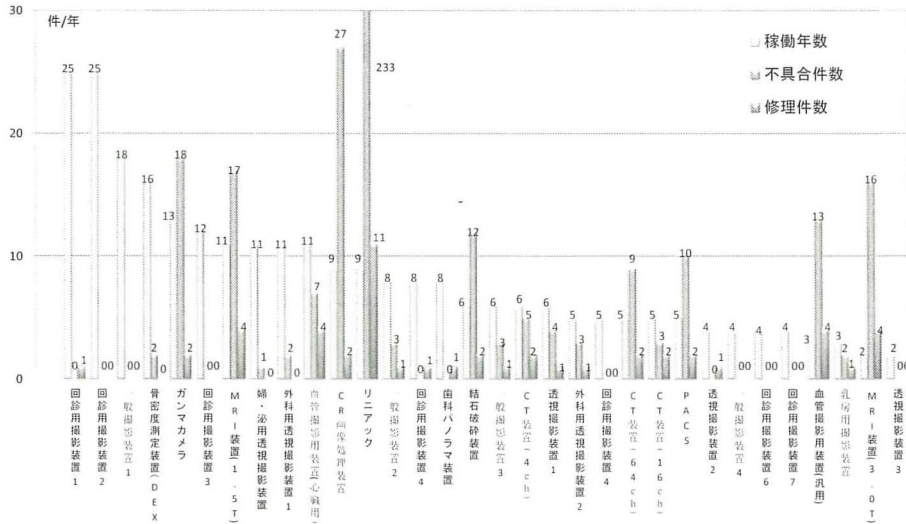
2. 点検や修理に要した費用を算出し、コストや保守点検の有用性を考慮した保守管理のありかたを検討した。

## 当院における放射線部門機器の管理体制

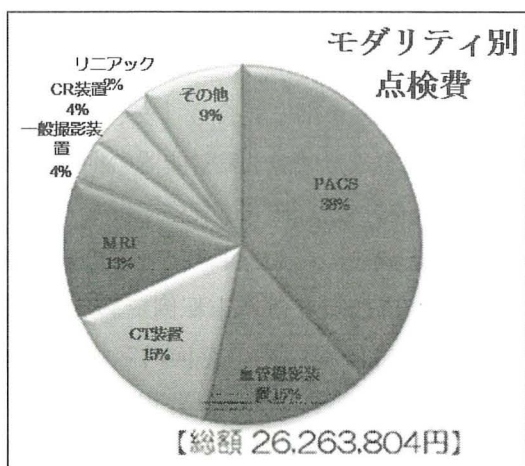
1. 使用管理
  - ① 消耗品の補充
  - ② 清掃
  - ③ 消毒・滅菌
  - ④ 日常点検（始業終業点検）
2. 保守管理
  - ① 定期安全点検（2回/年）・・・自主点検
  - ② スポット点検（1～4回/年）・・・メーカー点検
3. 保守点検年間計画の策定

(図1)

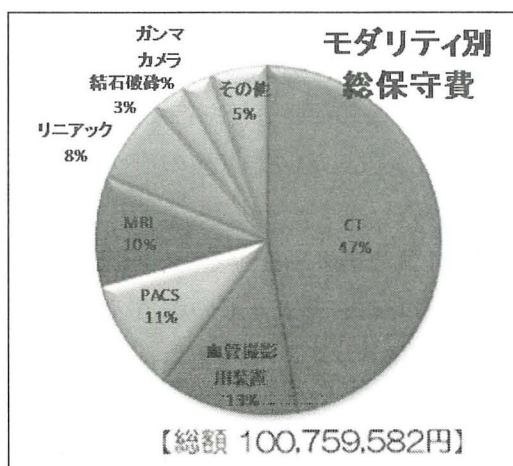
各装置の稼働年数、不具合、故障、修理状況



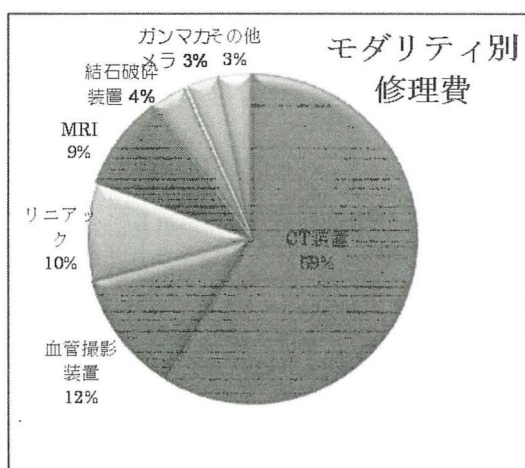
(図2)



(図3)



(図5)



(図4)

【結果】

1. 図2に各装置の稼働年数、不具合件数、故障件数、修理件数を示した。

不具合件数については、リニアックが233件と最も高く、続いてCR27件、ガンマカメラ18件、MRI(1.5T)17件、MRI(3T)16件、血管装置(汎用)13件となった。

修理件数についてはリニアック11件、MRI(1.5T)4件、MRI(3T)4件、血管装置(汎用)4件の順で多く、不具合件数の多い装置が修理件数も多くなっていた。しかし、装置の稼働年数と不具合、修理件数との間には関連はみられず、モダリティの種類による違いがみられた。

2. 当院において平成24年度に要した保守費は総額100,759,582円と高額になった。しかし、装置メーカーと完全保守を結んだ場合、165,710,400円の経費がかかると試算されるため、当院の保守管理の方法により、1年間で約7,200万円の経費削減が図られたことになった。

1台あたりの保守費については、一般撮影をはじめ外科用透視撮影や透視撮影、回診用といった購入費用が比較的安価な装置は、すべて50万円以下であり、高額とはなっていない。一方、CT、MRI、血管撮影、リニアックといった高額医療機器の場合、保守費が500~2300万円と非常に高額となっていた。

モダリティ別に見ても、保守費全体でCT、血管撮影、MRI、リニアックのモダリティで8割近くを占めるという結果になった。

3. 当院では近年導入したCTやMRIといった高額医療機器については、リモートメンテナンス契約を結んでおり、これにより故障によるダウンタイムの短縮が図られており、リモートメンテナンスの有用性を確認することができた。

**【考察】**

当院では、装置メーカーとは特別な保守契約は結んでいないが、今回、装置の不具合や故障の発生状況と保守費の分析を行なったことで、装置の特性に応じた保守点検の形態があることが分かった。

保守契約の費用対効果をみると、当院の管理方式であるスポット点検とその都度の修理を行った場合の方がコストのみを考えると経費は削減できる。

しかし、メーカーと何らかの保守契約を結んでいない場合、機器のバージョンアップが円滑に行われず、医療水準に見合った性能の維持が困難になる、あるいは修理が迅速に行われない、途中からの保守契約が結べないなどといった不利益が生じる。

このことを踏まえ、当院では高度医療機器である血管撮影装置やCT、MRI、放射線治療などの機器購入については、完全保守契約ではないが予算の許す範囲で4年間（保証期間1年を合わせて5年間）の保守費を含めた機器購入を行うようにした。

また一般撮影や回診用といった点検が容易で不具合が少なく、またバージョンアップの少ない装置については、使用者点検とメーカースポット点検でその性能を維持できるとした。

保守点検は、

①始業終業点検で行えるものから、専用の技術を必要とするものまで多岐にわたっており、スタッフへ負担が大きい。

②保守契約には、高額消耗品を含むフルメンテナンス契約から点検のみを行なうという点検プランまで複数のプランが用意されている。

③診療への影響はもちろん機器の使用頻度、不具合や故障の発生頻度、代替機の有無なども併せて考慮する必要がある。

以上のことを考慮し、装置の不具合や故障内容、

使用者点検の結果、さらに保守費に関する分析が重要となる。

**【まとめ】**

われわれは、医療水準に見合う「安心」「安全」な医療を提供するために、医療機器の機能を高めながら、その性能を維持しなくてはならない。

コストの低減にのみこだわり、肝心の保守管理がおろそかになっては本末転倒である。機器の性能を適正に保つための点検内容をよく理解し、それにかかる人的負担、費用を考慮したうえで、その施設、医療機器にふさわしい保守形態を構築することが大切である。

## 「MOSFET 線量計による患者被ばく線量測定の有用性」

鹿児島大学医学部歯学部附属病院 放射線部  
市原正道

### 背景

当院にある透視装置からの被ばく線量情報については、面積線量計や NDD 法の計算式を基にして算出表示される。しかし、検査全体の線量の把握しかできず、測定を行いたい部位の局所線量を導き出すのは困難である。

### 目的

透視装置やアンギオ装置による諸検査の患者被ばく線量は面積線量計や NDD 法の計算式を基に算出表示されている。今回、被ばく線量測定器の一つである MOSFET 線量計 (Fig. 1) を使用し、患者被ばく線量測定の有用性について検討したので報告する。



Fig. 1

### 方法

MOSFET 線量計の特性を把握するため、校正された電離箱線量計を用いて管電圧依存性、線量依存性、照射野内外における線量の変化について比較検討を行った。

結果

管電圧依存性について、NDD法の算出による線量の値と電離箱線量計の比は0.8とほぼ一定であったが、MOSFET線量計と電離箱線量計の比は1.04~1.11と少し値に幅があった。(Fig. 2)

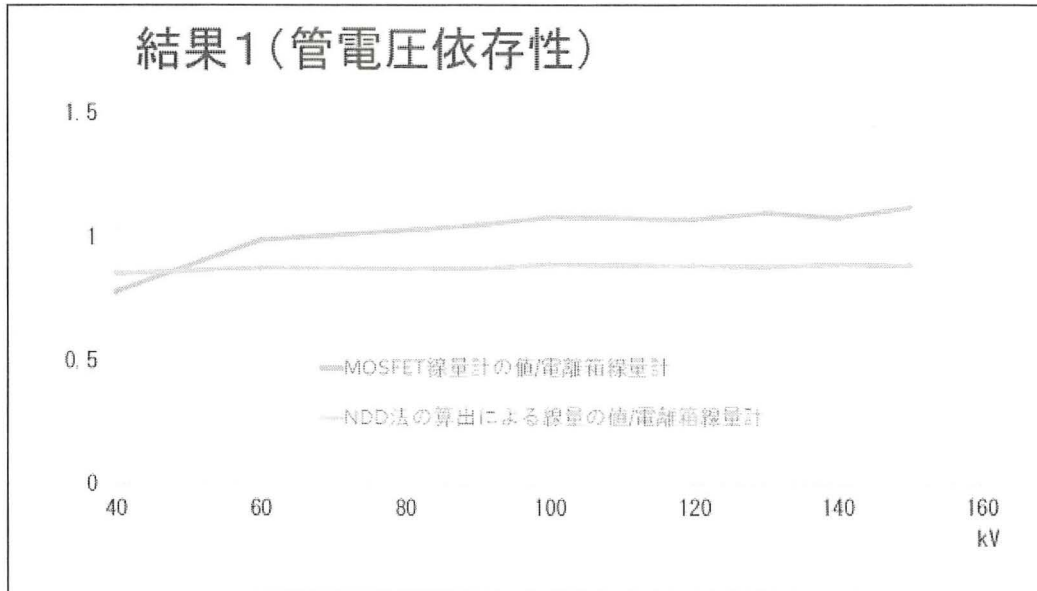


Fig. 2

線量依存性について、電離箱線量計の棒グラフとMOSFET線量計の棒グラフの線量の差は、ほとんどなかった。1000mGyまで照射したときのMOSFET線量計と電離箱線量計との値は、全ての測定内にて±0.2%と安定していた。(Fig. 3)

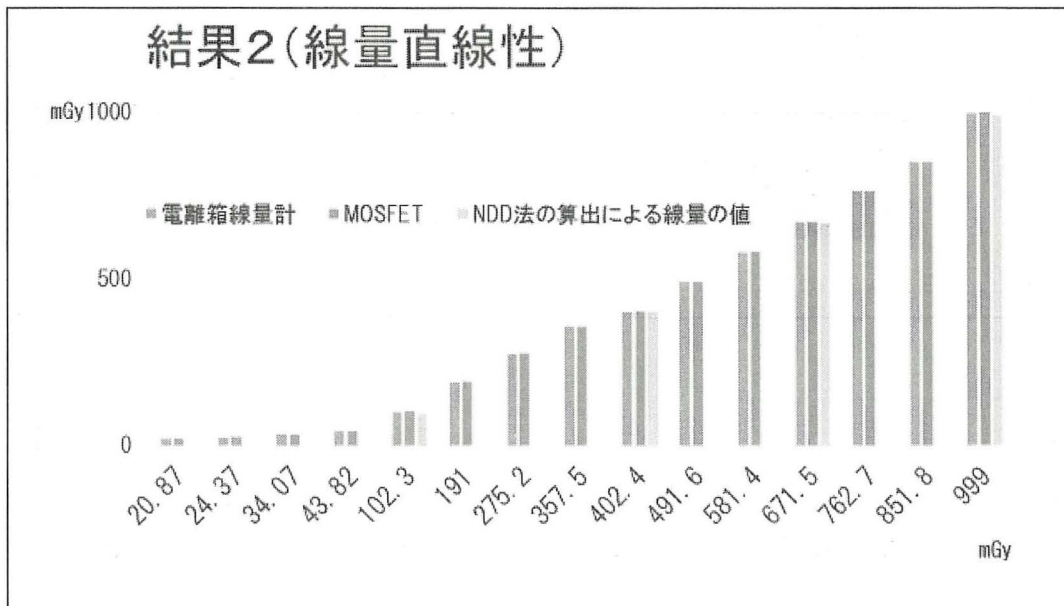


Fig. 3

照射野内における線量の変化について、同じ照射野内でも B の位置と D の位置では約 1.7 倍の線量の差があった。これより MOSFET 線量計を使用する際には、極力中心に配置することが必要である。(Fig. 4)

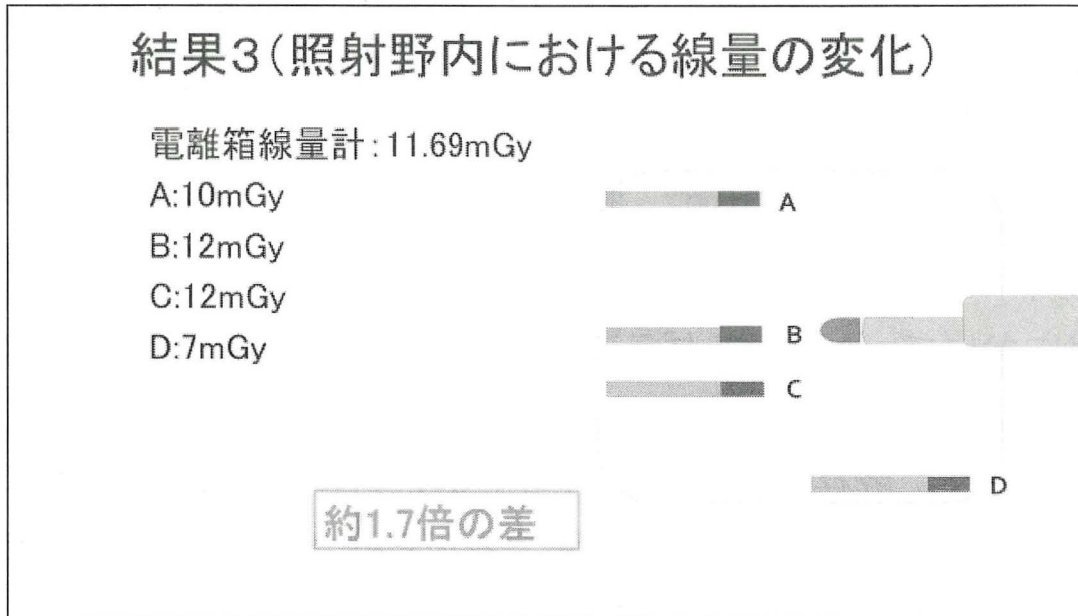


Fig. 4

まとめ

MOSFET 線量計は電離箱線量計と比較し誤差が小さく、局所的な被ばく線量を容易に把握することができる。また透視・撮影のアーチファクトによる影響も少なく、複数個所を同時に測定できるので有用である。一方問題点として装着に際しては関心領域を含まれるよう注意する点や測定素子の使用線量の制約がある点があげられる。

## 骨シンチグラフィ画像の表示及び出力の統一化 (SUV の概念を利用した Bone Display Value 法)

今給黎総合病院 中央放射線部

丸尾 美由紀 飯伏 順一 四本 齊 室屋 純一

### [背景]

当院において、骨シンチグラフィ upper 値 lower 値の設定は装置更新時、全身像(WB)は ROI 法、Static&SPECT 再構成画像 (AX)はオペレータに依存し主観的に行っていた。平成 23 年 8 月より PACS 等の外部出力時の表示値固定を目的に SUV の概念を利用した表示法、SUV 法を使って客観的に行うこととなった。

### [目的]

- ・ 第 68 回 JSRT で SUV の概念を利用した表示方法を報告した。
- ・ 今回 PACS でも簡単に SUV で正規化した値を測定できるように Bone Display Value (以下 BDV) 法を検討したので報告する。

### [使用機器]

- ・ RI 薬品： $^{99m}\text{Tc}$ -HMDP or MDP シリンジ (740MBq) ・ RI 装置:BrightView X
- ・ ワークステーション:EBW-NM ・ キュリメーター:Aloka CURIMETER IGC-3
- ・ 使用ファントム：体積 3016ml, 内径 16cm, 長さ 15cm
- ・ 計算ソフト:FileMaker®PR010

### [検討項目]

- ・ PACS 上で BDV (SUV で正規化した値)を測定できるように作成しオリジナル画像と BDV 画像の比較を行う。

- ・オリジナルとBDVのWB画像で下部胸椎及び大腿骨でmaxカウントを測定しCVで検討を行う。

**BDV法**

$1\text{SUV} = 100\text{BDV}$

BDV係数:k  
(1SUVを100カウントで正規化するためにオリジナル画像に乗じるための係数)

$k = 100 / 1\text{SUVのカウント}$

オリジナルWB × k → WB・BDV  
オリジナルAX × k → AX・BDV

注) 1SUV(counts) = (撮影時での患者投与量 ÷ 体重) ÷ CCF\*

\* CCF (cross calibration factor)

**BDV画像設定方法**

SC画像  
WB・BDV (lower値0, upper値1000)  
AX・BDV (lower値0, upper値700)

DICOM画像  
WB・BDV (WW:1000, WC:500)  
AX・BDV (WW:700, WC:350)

⇒ PACSへ送信

**SC画像の違い**

ROI法

ANT 150%  
150%  
357(counts)

SUV法

POST 150%  
150%  
273(counts)

BDV法

Upper値  
351(counts)  
1000(counts)  
(固定)

**FUSION画像**

FUSION画像AX

upper値700

FUSION画像COR

**PACS上のROI測定 (WB画像)**

オリジナルWB

Area : 6187.1 mm<sup>2</sup>  
Min : 15.0  
Max : 227.0  
Avg : 76.71086  
SD : 46.05106  
WW 1079  
WC 540

SUVmax = maxカウント ÷ 1SUVのカウント  
この方の1SUVのカウントは35.05  
227 ÷ 35.05 = 6.47SUVmax

WB・BDV

Area : 7687.0 mm<sup>2</sup>  
Min : 42.0  
Max : 647.0  
Avg : 216.71341  
SD : 119.49958  
WW 1000  
WC 500

100BDV=1SUV  
647BDVmax=6.47SUVmax

**PACS上のROI測定 (AX画像)**

オリジナルAX

Area : 2871.3 mm<sup>2</sup>  
Min : 0.0  
Max : 205.0  
Avg : 63.60806  
SD : 42.256565  
WW 1806  
WC 903

SUVmax = maxカウント ÷ 1SUVのカウント  
この方の1SUVのカウントは35.05  
205 ÷ 35.05 = 5.85SUVmax

AX・BDV

Area : 3349.9 mm<sup>2</sup>  
Min : 31.0  
Max : 685.0  
Avg : 156.91559  
SD : 121.69505  
WW 700  
WC 350

100BDV=1SUV  
585BDVmax=5.85SUVmax

**[CVでの検討方法]**

- ・対象者：84例(男性46例, 女性38例)腎不全(Cr1.00以上)及び明らかな骨転移のない方。(年齢:男性61.8±10.3歳 女性:75.3±13.0歳)

- ・ 検討方法:WB のオリジナルと BDV 画像で ROI①下部胸椎, ROI②大腿骨に ROI をとり max カウントより比較検討する。

[結果]

ROI① 下部胸椎

(n=84)

	平均値 <sub>(max カウント)</sub>	SD	CV
オリジナルWB画像	167	38.83	0.23
WB・BDV画像	593	104.79	0.18

ROI② 大腿骨

(n=84)

	平均値 <sub>(max カウント)</sub>	SD	CV
オリジナルWB画像	60.99	15.47	0.25
WB・BDV画像	216.82	43.99	0.20

[まとめ]

- ・ BDV の表示作成が RI 装置のワークステーションで簡単に行えるようになった。
- ・ オリジナルと BDV の WB 画像で CV で検討を行った結果、BDV 画像の方が下部胸椎及び大腿骨ともに CV が小さくなり、ばらつきが少なかった。
- ・ PACS の DICOM 画像で SUV で正規化した値 (BDV) が WB・BDV 及び AX・BDV 画像より測定可能となった。

この発表は第 70 回 JSRT で発表したものです。

## 3D-FRFSE( Fast Recovery FSE )法を用いた椎骨脳底動脈描出における

### 至適撮像条件の検討

川内市医師会立市民病院 医療技術部放射線課

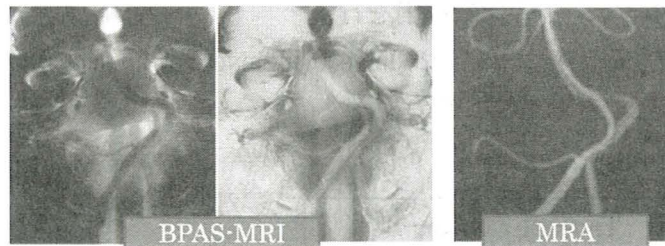
○秋葉裕史・前田健一郎・武宮太・中村晋輔

沖中裕幸・松永大和・藺田大樹・大久保光男

#### はじめに

椎骨脳底動脈の観察には 3D-TOF-MRA (血管内腔)と2D-BPAS( BasiParallel Anatomical Scanning )-MRI (血管外腔)を併用して、血管性病変の評価に用いている。

BPAS-MRI とは、頭蓋内椎骨脳底動脈の外観を血管内腔の血流に左右されず、簡便に描出できる撮影法(長畑らによる)である。



#### 当院の2D-BPAS-MRI(血管外腔評価)プロトコール

TE	240 ms
TR	5000 ms
ETL	32
BW	15.63
matrix	256*192
Slice thickness	20mm
FOV	16
NEX	1
撮影時間	0:36

FSE 法を用い、HeavilyT2WI で撮像し、斜台と平行な厚い冠状断像を1枚の画像に表示し、椎骨脳底動脈の外観評価に用いる。

斜台後縁から後方へ 20mm の厚さで撮影すると頭蓋内椎骨脳底動脈のほぼ全長を表示できる為に、スライス厚を 20mm としている。

## 目的

2D-BPAS-MRI は、スライス厚が 20mm と厚いことから、1・脳槽壁近くを走行する椎骨脳底動脈 2・蛇行の強い椎骨脳底動脈を1枚の画像に周囲の脳脊髄液を背景にして、外観を表示することが困難な症例を経験した。

3D-FRFSE を用いて検討を行い、椎骨脳底動脈の描出能の向上を試みた。

## 方法

研究の内容に同意したボランティアにて撮影を行った。

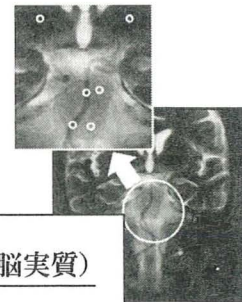
3D-FRFSE 法を用い、撮像範囲は BPAS-MRI と同様に斜台と平行な冠状断面とし、頭蓋内椎骨脳底動脈が含まれるよう設定した。

### ① 3D-FRFSE を用いて、TE の比較検討を行う。

TE 以外のパラメータを固定とし、TE を 200msec、300msec、400msec、500msec、600msec と変化させた時の CNR を測定し、至適撮像条件の検討を行う。

3D-FRFSE TE 検討プロトコール

TE	200・300・400・500・600 (msec)
TR	2000msec
ETL	56
BW	41.7kHz
matrix	384*224
Slice thickness	1mm
FOV	24
NEX	1
撮影時間	3:36



$$CNR = \frac{SI(CSF) - SI(動脈 \text{ or } 脳実質)}{SDair}$$

SI：関心領域内の平均信号値  
SDair：空中の関心領域の標準偏差  
ROI のサイズ 1mm<sup>2</sup> 固定

### ② 2D-BPAS-MRI を用いて CNR を測定し、①で求めた至適撮像条件との比較検討を行う。

同じ厚さで比較する為、3D-FRFSE も 20mm の厚みにて Rendering mode を Average 処理した画像で検討を行う。

## 結果

① 3D-FRFSEを用いて、TEの比較検討を行う。

3D 撮像による各測定点の信号強度

TE(msec)	CSF①	CSF②	動脈①	動脈②	脳実質①	脳実質②	SDair①	SDair②	3D 撮像時の CNR		
									TE(msec)	CSF / 動脈	CSF / 脳実質
200	526.29	511.17	90.8	93.41	150.36	139.91	10.98		200	53.79	58.01
300	464.67	434.13	115.62	87.41	87.28	74.60	11.34		300	47.23	60.15
400	353.21	361.48	88.30	81.62	55.60	59.87	11.04		400	<b>63.55</b>	<b>78.67</b>
500	348.25	359.57	105.88	75.16	58.76	50.04	11.98		500	55.57	69.20
600	362.83	371.83	88.30	73.41	60.52	51	11.39		600	54.36	67.14

② 2D-BPAS-MRI・3D-FRFSEのCNRを測定し、比較検討を行う。

2D 撮像による各測定点の信号強度

	CSF ①	CSF ②	動脈 ①	動脈 ②	脳実質 ①	脳実質 ②	SDair ①	SDair ②
2D	342.3	350.3	97.4	97.8	35.7	37.5	4.38	5.73

2D 撮像時の CNR

TE(msec)	CSF / 動脈	CSF / 脳実質
240	49.20	61.27

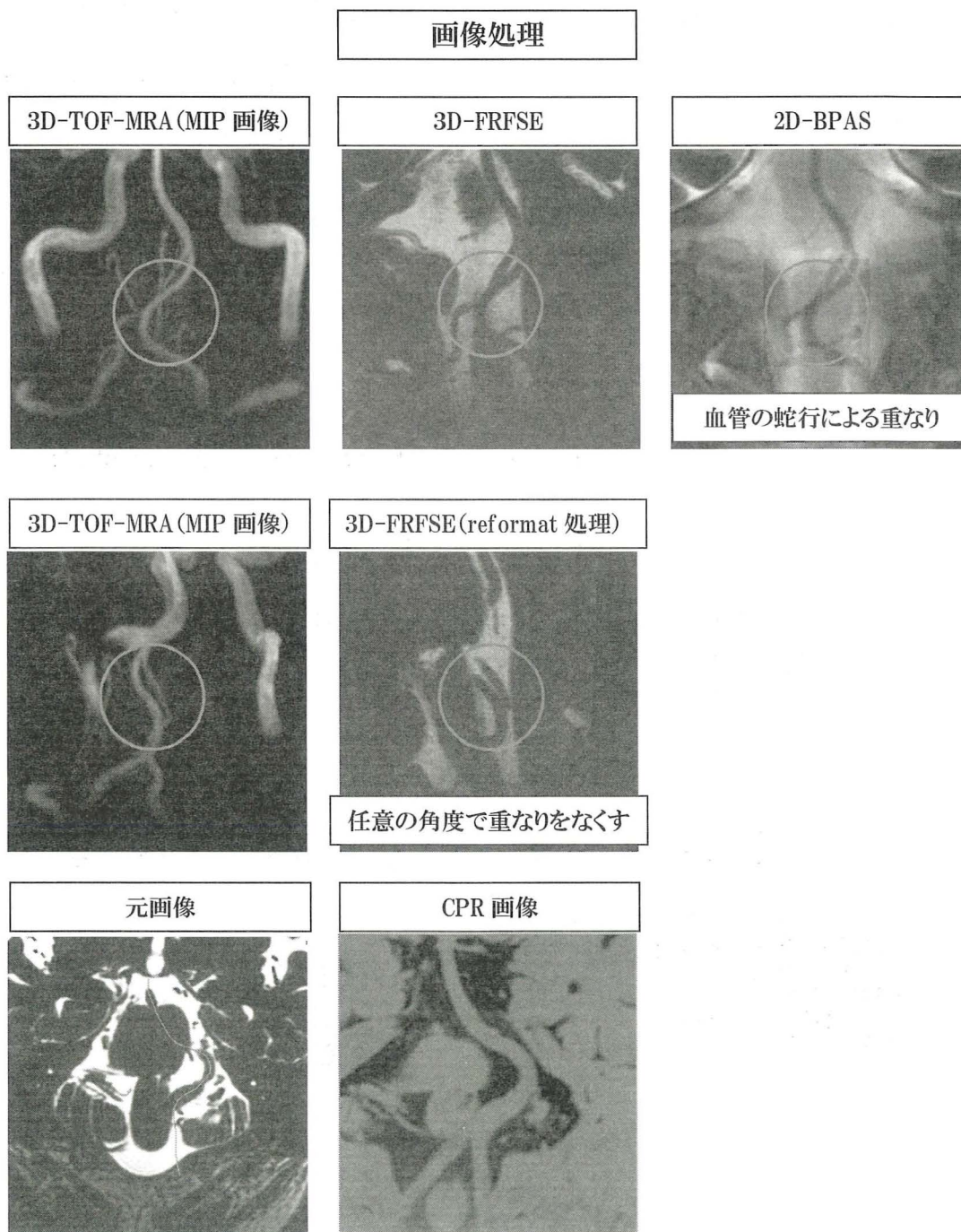
3D 撮像時の CNR(20mm 厚)

TE(msec)	CSF / 動脈	CSF / 脳実質
400	69.37	82.01

### 考察

3D-FRFSE法は、2D-BPAS法よりも椎骨脳底動脈の血管外径の描出能に優れ、3D-TOF-MRAと併用することにより、血管性病変評価において有用な情報が提供できる。

画像処理を行うことで、任意の角度や volume での観察が可能となり、臨床的に有用である。



当院 MRI 部門の事故低減の取り組み  
 (公社)鹿児島共済会 南風病院 医療技術部 放射線技術科 藤崎 誠

【目的】

2009年当時の当院 MRI 部門では年間 8~10 件程度のインシデントが報告されていた。その内容に関しても部位間違いや磁性体持ち込みによる吸着事故等重大なインシデントであった。

そこで 2009 年 7 月よりインシデントに至る前段階 (ヒヤリハット) の報告システムを運用し、そこで報告されたヒヤリハットと従来システムによるインシデント報告を検討することによりインシデントの低減に取り組んだので報告する。

【方法】

- ・従来の院内インシデント報告システムに加え、簡易的に登録できるヒヤリハット報告システムをファイルメーカーで作成し部内で運用する。
- ・報告されたヒヤリハットをネット配信し全員で情報共有する。
- ・報告されたインシデント、ヒヤリハットを基に改善策を検討し実行する。

【使用ソフト、参考書籍】

- ・ファイルメーカー Pro (Ver5.0)
- ・診療放射線業務の医療安全テキスト 分光堂

【報告システムおよび改善策】

当院のインシデント報告システムを示す。(Fig.1) 電子カルテでの入力となっており行程が 1.事象レベルから 8.当事者勤務状況まで細かく必須の入力項目がありその入力は煩雑である。

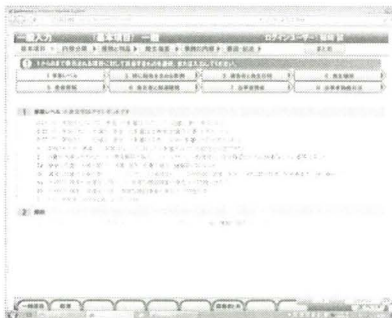


Fig.1 インシデント報告システム

次に部内のヒヤリハット報告システムを示す。(Fig.2) イン트라ネット上に作成しており、部内スタッフであれば誰でも登録、閲覧可能である。ポップアップリスト入力で簡便である。

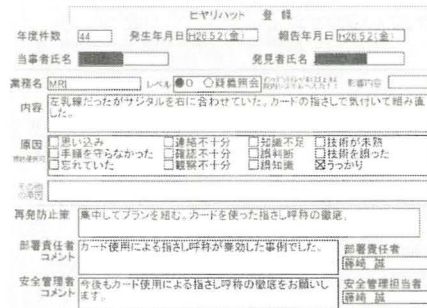


Fig.2 ヒヤリハット報告システム

次にヒヤリハット事例のメール画像を示す。(Fig.3) 毎週月曜日に報告されたヒヤリハットをメール配信し全員で事例を共有している。



Fig.3 ヒヤリハット事例のメール

次に検討した対策を示す。(Fig.4) 患者入室前には金属探知機で確認を行い、操作卓には事前チェックを行った問診票と左右の部位確認カードを掲示し検査を行う。

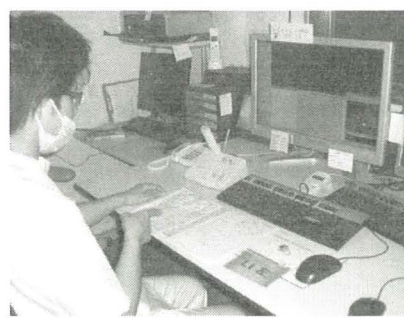


Fig.4 問診票と左右確認カードの指さし呼称

【結果】

報告件数の結果を示す。(Fig.5) インシデントの報告数はレベル2および3(患者に何かしらの影響があった事象)は低減できなかった。また、レベル1(患者への直接の影響がなかった事象)は増加した。レベル0(ヒヤリハット)は運用開始後年間50~100件程度の報告があった。

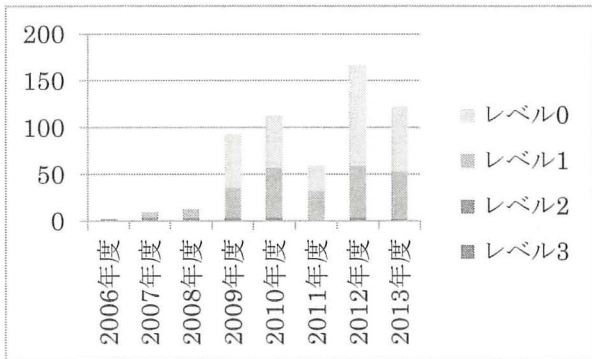


Fig.5 インシデント・ヒヤリハット報告数

磁性体の持ち込み等いわゆるヒューマンエラーによる重大なインシデント(患者への影響があった事象)報告の結果を示す。(Fig.6) 2008年度をピークに以降、減少傾向が見られる。2013年度は0件であった。

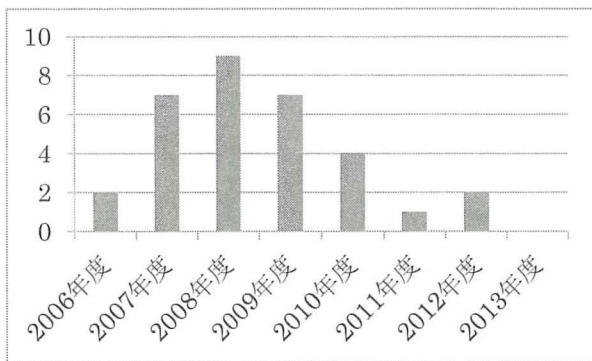


Fig.6 ヒューマンエラーによる重大なインシデントの報告数

【まとめ】

- ・インシデントの発生数を低減することはできなかった。
- ・レベル1(患者への直接の影響がなかった事象)の報告数が増加した。
- ・吸着事故や部位間違い等のヒューマンエラーによるインシデントを低減することができた。

【考察】

ヒヤリハット報告システムの導入により、細かなことでも報告するという気風が起こった。そこで患者への影響がなく、これまでは報告されていなかったようなインシデントの報告がなされるようになったと考えられる。

金属探知機の導入や安全確認の徹底、指さし呼称の徹底励行により安全意識、事故防止意識が高まりヒューマンエラーを低減することができたと考える。

【今後の課題】

レベル1(患者への直接の影響がなかった事象)の発生を低減するために、失敗モード影響分析法などを取り入れ、発生予防を目的に事前介入していく必要がある。

今回、MRI部門のみの報告であったが、ヒヤリハット報告システムは放射線技術科全部門で運用されており、未だ報告件数の少ない部門もある。全部門の報告意識を高めるための啓蒙活動を続けていく必要がある。

# 平成26年度 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 霧島・始良地域研修会終了報告

## 1. 日程

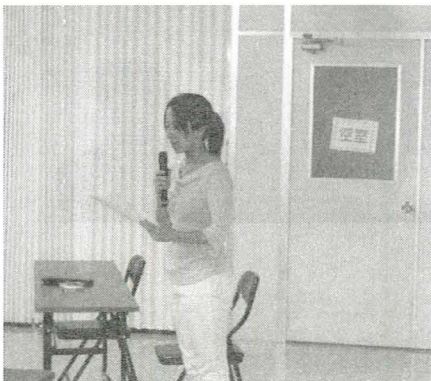
開催日：平成26年7月5日(土)

時間：15:30～17:45

会場：加治木温泉病院 講堂

## 2. 会内容

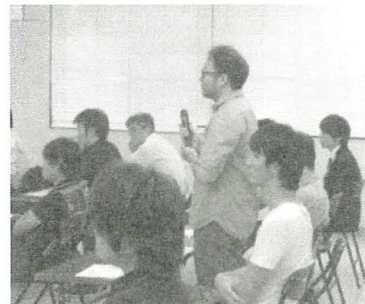
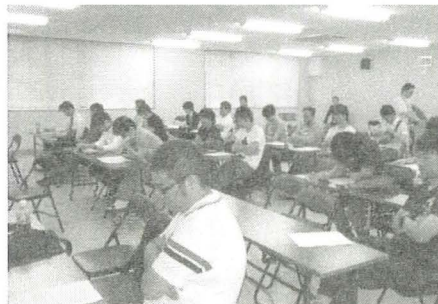
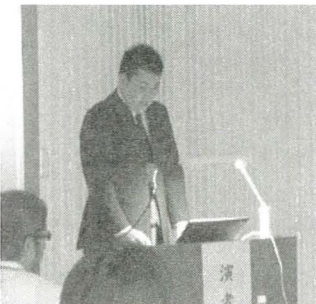
【I】開会挨拶 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦



【II】一般演題 座長 医療法人七徳会 大井病院 小浜 剛

1. 『MOSFET線量計の使用経験』 鹿児島大学医学部附属病院 市原 正道

2. 『股関節軸位撮影におけるポジショニングの検討』 霧島市立医師会医療センター 池田 隆太





### 【Ⅲ】施設紹介

1. 国分生協病院

鮫島 保人

2. 加治木温泉病院

川原 翔太



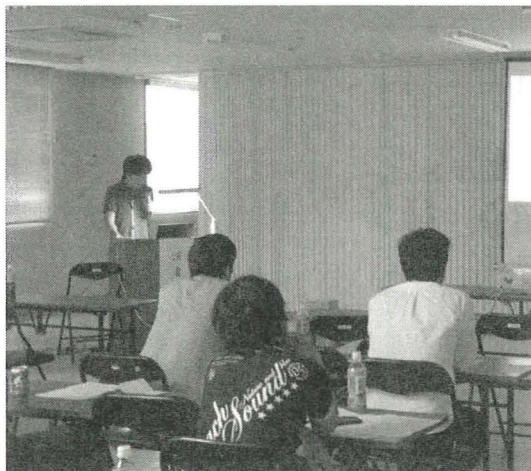
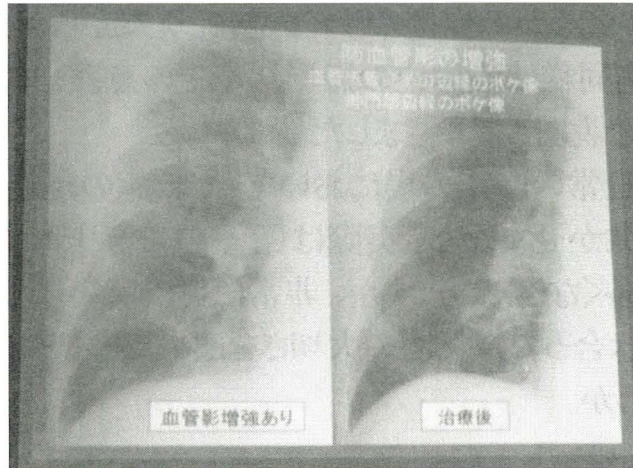
### IV. 技師レクチャー

『胸部X線写真について』

霧島市立医師会医療センター 佐々木 崇

『腹部X線写真について』

霧島市立医師会医療センター 坂口 右己



【VI】霧島始良地域理事挨拶 霧島市立医師会医療センター 平賀 真雄

### 3. 出席者 32名

《内訳》 JART 会員 26名 非会員 6名  
霧島・始良地域 23名 他地域 9名

### 4. 総評

一般演題2演題、施設紹介を2施設と、胸写、腹単の読み方を放射線技師よりまとめてレクチャーするといった内容で構成された勉強会となりました。冒頭では池田会長より医療・介護の一括法案が成立、公布され、放射線技師の業務範囲の拡大が一部認められるといった話をさせていただきました。技師のレクチャー講演としては基本に戻り、胸部レントゲンの撮影法と、読影は

いくつかの症例やサインをまじえながらポイントを説明して頂き、腹部レントゲンも同様に各体位の撮影法やその意義、また症例やサインをまじえてどう読むかを説明して頂きました。

日常の臨床の場においても、救急の現場にしても胸腹部レントゲンは今も昔も欠かせません。実際はCTや他モダリティによる診断が優先、先行されることが多くなっていますが、非常に奥の深い自分の撮ったレントゲンをもっと真剣に向き合っていくことの大切さを改めて感じるよいきっかけになったのではないのでしょうか。

### 今年度の開催(予定)

(冬季)平成27年1月31日(土)

- 一般演題 ○施設紹介
- 講師を招いた特別講演

## 第2回鹿児島X線撮影研究会活動報告

鹿児島X線撮影研究会代表世話人  
今村病院分院 画像診断部  
馬場隆行

第2回鹿児島X線撮影研究会を平成26年7月12日(土)15時00分から18時00分まで鹿児島医療技術専門学校にて開催しました。今回より生涯教育カウントが3C付与されました。

会の内容は、解剖学から始まり、基本的な撮影方法などの座学と、各施設の撮影方法の紹介を行い、興味深い発表となりました。後半はX線撮影室を用いたハンズオンで、スタッフモデルによる、ポジショニングや大転子の位置確認方法などを行い、次に無線FPDでファントムをX線撮影し、撮影法の違いによる画像の違いや、軸位撮影のコツや、ズレを修正する実技を行いました。要点は、それぞれの撮影法に利点と弱点あり、理解したうえで撮影に臨み、頸体角や前捻角の解剖をふまえたポジショニングの大切さを再確認しました。座学、ハンズオンともに、質疑応答も活発に行われ、日常の撮影に不安や疑問を抱えている様子が見えかけました。

参加人数は想定していたより多く74名と多数で、資料等が不足する事態が生じ、ご迷惑をおかけしましたが、後日、資料をウェブ上に公開し、ダウンロードしてもらうことで対応しました。技師会非会員の参加者も19名と多数でした。これを機会に技師会にも興味を持ってもらえるとうれしく思います。

同時にアンケートも実施し、貴重なデータを集めることもできました。

参加者の勤務する病院は整形、救急外来、外科等がある病院の方が多く、満足度に関しては、大変満足と満足で大半を占めていました。次回以降の会の内容の要望は胸部、四肢関節など多岐にわたり、会の継続と重要性を再認識しました。

今回は、終了後に情報交換会も企画しました。軽食を準備し、実際の撮影時の詳しい質問や、今回のテーマ以外も話題に上がりました。次回の腰椎についても聞き取りを行った結果、バリエーションが豊富なことに驚きました。第3回の研究会も有意義な会になることを確信しました。しかし、情報交換会の参加人数が想定より少なく、情報交換だけではなく、補助具作成実技などを取り入れ、充実させたいと思いました。

第1回の反響の声も聞かれ、実際に撮影法を再検討し、導入したとの意見もあり、うれしく思いました。

会の趣旨が「明日から使える技術、座学だけではなく、ハンズオンも取り入れ患者様に優しい対応、技術、ゴールドスタンダードの探求」となっており、今回も趣旨に沿った内容となったと思います。

固定概念にとらわれない柔軟な発想や、効果的な補助具の利用で、「撮れた、から撮った！」へ意識や技術の向上の為に、X線撮影に携わるすべての皆様とともに歩んでいくつもりです。次回も多くの方の参加をお待ちしています。

最後に、ご協力いただいた、メーカーおよびベンダーの皆様にお礼を申し上げます。

## 第2回鹿児島X線撮影研究会プログラム

開催日時：平成26年7月12日(土) 15:00~18:00 (受付開始14:30)

開催会場：鹿児島医療技術専門学校平川校 3号館3F大講義室  
鹿児島市平川町字宇都口5417-1 099-261-6161

主催：公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

参加費：技師会会員・学生：無料、非会員：500円  
※技師会会員：日本診療放射線技師会より、生涯教育カウント3.0C付与。

テーマ：「股関節撮影その1」

- 内容：1. 開会挨拶 (15:00) 今村病院分院 馬場 隆行
2. 教育講演 (15:05-15:35)
- 1. 股関節の解剖 清泉クリニック整形外科 渡邊 義治
  - 2. 股関節の基本撮影法 鹿児島医療技術専門学校 有菌 良一
3. 各施設の股関節基本撮影の紹介 (15:40-16:20)
- 座長1：米盛病院 伊藤 大助
  - 座長2：鹿児島大学病院 大園 健一
  - ・鹿児島大学病院 大園 健一
  - ・今給黎総合病院 丸尾美由紀
  - ・南風病院 柳川 絢海
  - ・米盛病院 屋部 太輔
4. 股関節撮影のコツ講座 (16:35-17:55)
- 股関節軸位撮影法について (スライド) 今村病院分院 馬場 隆行
  - ポジショニングの実際 (ハンズオン) 今村病院分院 岩下 昌平他
5. 閉会挨拶 (17:55-) 清泉クリニック整形外科 渡邊 義治

◇情報交換会◇ 会場：鹿児島医療技術専門学校平川校 2号館1階 ビュッフェ  
参加費：1,000円

### 【 駐車場について 】

正門入ってすぐの駐車場のほか、建物周辺の駐車スペースも、ご利用可能です

### 【 問い合わせ 】

馬場 隆行 今村病院分院 画像診断部 099-253-9930 (5272) ダイヤルイン  
有菌 良一 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科 099-261-616



座学風景



施設紹介



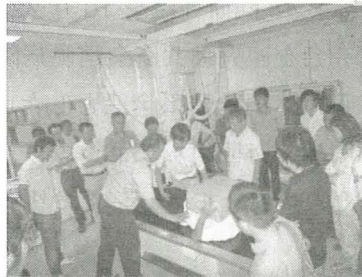
施設紹介



ハンズオン風景



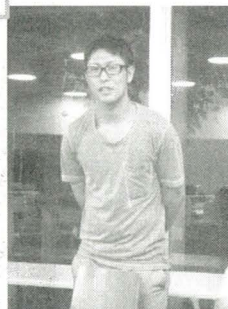
ハンズオン風景



情報交換会



情報交換会



世話人

## 平成 26 年度 鹿児島消化器画像研究会報告

鹿児島共済会南風病院

日高 稔

平成 26 年 4 月 16 日（水）に鹿児島厚生連病院にて第 46 回鹿児島消化器画像研究会、平成 26 年 7 月 26 日（土）に鹿児島共済会南風病院にて第 47 回鹿児島消化器画像研究会が開催されました。

4 月に行なわれた研究会では、49 名（JART 会員 33 名、非会員 15 名）の参加でした。消化管の基本的な解剖や撮影法、症例レクチャーを中心とした内容で行なわれ、これから消化器検査を始められる若い技師の方々にとっても、有意義な内容でした。

7 月に行なわれた研究会では、43 名（JART 会員 33 名、非会員 9 名）の参加でした。消化管検査において重要な外科的術式や検査薬剤の使用法の発表、超音波レクチャーでは超音波の基本的な事柄から病理との対比、一般発表では透視検査や超音波検査にて特徴的所見であった症例の報告があり、基礎から臨床まで幅広い内容でした。

症例報告では、胃 X 線検診にてチェックされ、精密胃 X 線検査が施行された症例の報告があり、検診業務に携わる技師および精検施設の技師も、術後対比・フィードバックすることで、注意すべき所見や透視観察の重要性を再認識できた機会となりました。

学術講演では鹿児島共済会南風病院の島岡俊治先生に「ESD 時代に求められる胃癌深達度診断」と題しご講演を頂き、ESD の普及に伴い術前検査における胃癌深達度診断の重要性や、内視鏡検査や X 線検査でのそれぞれの有用性についてお話していただき、非常に充実した学術講演でありました。

今後の本研究会の予定は、第 48 回研究会を 10 月 22 日（水）に鹿児島厚生連病院、翌年 2015 年 1 月には第 49 回研究会を鹿児島共済会南風病院で開催予定しております。

本研究会は透視検査に限らず、消化器系全般とした画像検査について、基礎的なことから臨床的なことまで幅広い内容で毎回行っております。会員・非会員また初心者の方からベテランの方まで問わず多くの参加をお待ちしております。



## 平成26年度 第11回フレッシューズセミナー（開催報告）

恒例により、平成26年度の第11回フレッシューズセミナーが下記の日程・内容にて開催されました。今回も、公益社団法人日本診療放射線技師会と公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会の共同開催という形をとり、プログラムは、エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支解剖講座、そして今年は、鹿児島X線撮影研究会にお願いしてX線撮影検査講座を加えて開催されました。参加人数は、非会員21名、会員13名、学生8名の計42名の参加数で、地域理事や各施設の技師長さんの協力もあり、例年より、新人の参加者が多く見られました。

又、今回より、セミナー終了後、軽食を準備して、時間が許す新人さんに残ってもらい簡単な自己紹介等、新人同士の情報交換の場を設けました。参加者は少ないでしたが、話が盛り上がり、仲良くなれたのではと思います。（下記に参加して下さった矢崎さんの感想を掲載しました。） 今後、同じ職業の診療放射線技師として、同期新人として、親交の発展に繋がたら幸いです。

来年度も開催予定ですので、諸先輩方の新人参加へのご配慮及び会員のみなさまの参加をよろしくお願い致します。

### 【日程及びプログラム】

日 時：平成26年6月29日（日） 9時～15時20分

場 所：鹿児島大学医学部臨床講義実習棟2F「第4講義室」

参加費：無料（非会員の方、学生さんも参加大歓迎です）

その他：駐車場は、当日、無料駐車券を配布します。

内容：

- ① 9時～9時30分 エチケット・マナー講座  
西郷 康正（鹿児島大学病院）
- ② 9時30分～10時20分 医療安全講座  
元 JART 医療安全対策委員会委員長 太田原 美郎（鹿児島市立病院）  
《 休 憩 》
- ③ 10時30分～11時20分 基礎講座「X線撮影」  
X線撮影研究会代表世話人 馬場 隆行（今村病院分院）
- ④ 11時20分～13時 気管支解剖講座  
学術担当理事 藤崎 拓郎（鹿児島大学病院）  
《 休 憩 》
- ⑤ 14時～14時50分 感染対策講座  
学術担当理事 石本 裕二（すこやか健康事業団 総合健診センター）
- ⑥ 14時50分～15時20分 診療放射線技師会活動等の紹介と入会案内  
総務理事 藤坂 智史（鹿児島大学病院）

### 【参加者感想】

フレッシューズセミナーに参加して

今村病院分院 画像診断部 矢崎 滉平

6月に開催されたフレッシューズセミナーに参加する前、私は日本診療放射線技師会への

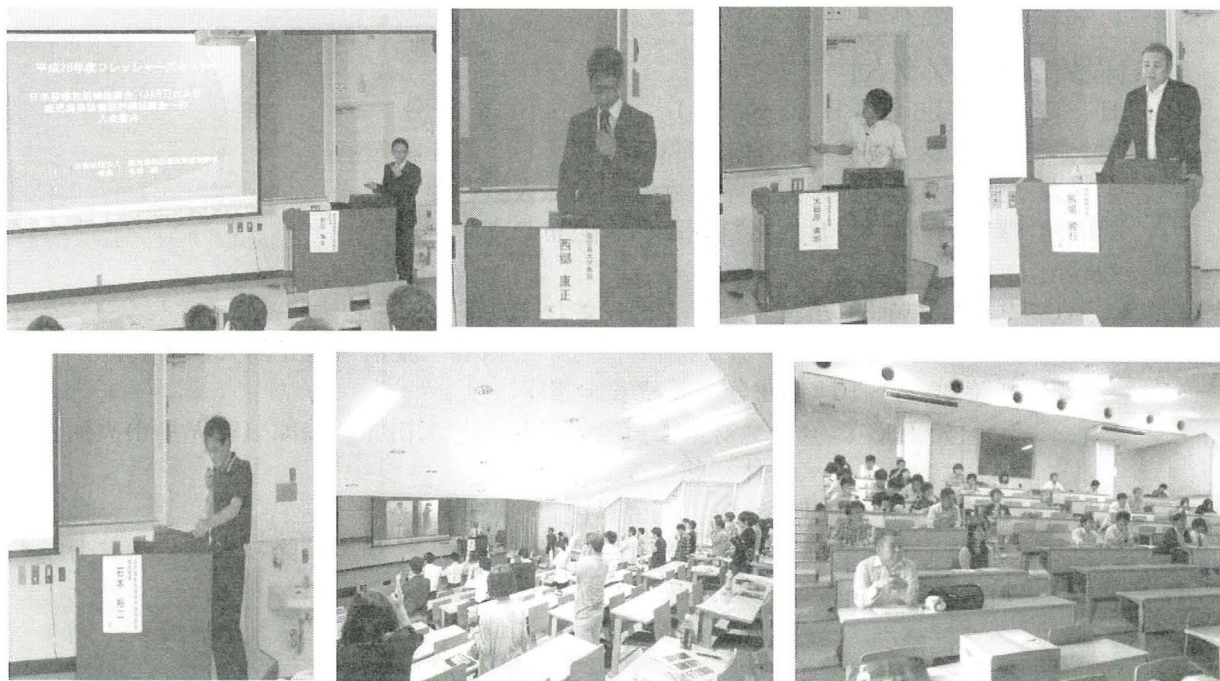
入会を迷っていましたが、それは、日本診療放射線技師会というと私には敷居が高いように感じていたからです。また、県外の大学出身の私にとって、鹿児島県に診療放射線技師の友人がほとんどおらず、参加する前は不安もありましたが、実際に参加してみると同年代の診療放射線技師の知り合いが増え、その方々と悩みや不安を共有することで、自分自身の悩みを解決することができました。

また、フレッシューズセミナーでは実際の臨床現場の現役で働いている先輩技師の方々の様々な講座を受け、患者様に対するエチケットや、実際の臨床現場で用いられる撮影方法、解剖など様々なことを学びました。

日本診療放射線技師会への入会を迷っていましたが、フレッシューズセミナーに参加することで入会を決意し、今では様々な勉強会に積極的に参加するようにしています。勉強会に参加することで自分の知らなかった知識を多く取り入れることができ、いろいろな病院の診療放射線技師の先輩や友人も増え、私は日本診療放射線技師会に入会して本当に良かったと感じています。

これからもいろいろな勉強会に積極的に参加し、知り合いの輪を広め、そこで得た知識や技術を実際の臨床の現場に生かしていきたいと思えます。

### 【会場風景】



### 【参加者氏名】

有菌 良一、石本 裕二、太田原 美郎、西郷 康正、坂下 周一郎、藤坂 智史、平川 遼  
 藤崎 拓郎、松野下 直美、馬場 隆行、菊池 春喜、渡邊 義治、川西 義浩、黒瀬 潤  
 田上 俊平、松永 隆志、高松 広太、築淵 優樹、井上 史央里、江口 佳奈、東 大将  
 山本 真照、牧元 魁星、瀬戸口 明子、小西 有貴、山下 大介、矢崎 滉平、中村 綾那  
 四反田 浩太郎、大坪 丈太郎、上舞 優介、徳永 美紅、今村 正吾、北ノ園 雄朔、  
 吉見 誠人、黒木 義隆、山口 稜介、湯田 紳次、山下 千秋、武田 耕汰、野口 洋一  
 (順不同、敬称略)

## 平成26年度リーダー及びリーダー育成研修会

平成26年度の研修会では、昨年度ご好評でした総合メディカルコンサルティング推進部コンサルティングマネージャー 小宮裕恵先生 へ引き続きご講演をお願いしました。

今回は、①人事管理とリーダーに求められる役割 ②スタッフの動機付け要因 ③上司・後輩との関わり方の検証 ④コーチングの概要・スキル ⑤コーチングの実践 の内容でご講演して頂きます。座学だけでなくグループに分かれて実践形式でご指導頂く予定で、大変有意義な研修会になると確信しております。是非、この機会をご利用して頂き、ご自身のスキルアップの一助になればと考えております。

業務多忙と存じますが、本研修会の主旨をご理解いただき、ご多数の皆さまにご参加いただきますようお願い申し上げます。

### 記

日 時：平成26年7月19日（土）15：00～17：00

場 所：鹿児島大学医学部附属病院 第2臨床実習室（3F）  
鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

参加費：会員：無料 非会員：500円 その他：駐車場は当日無料券を配布します。

プログラム：

#### 【教育講演】

「部下をやる気にさせる指導・育成」

～できる人から伸ばす人へ～

司会：鹿児島県診療放射線技師会 会長 池田 睦

講師：総合メディカルコンサルティング推進部

コンサルティングマネージャー 小宮 裕恵 先生

## 平成26年度リーダー研修会に参加して

鹿児島共済会南風病院 医療技術部放射線技術科 井ノ上祐二

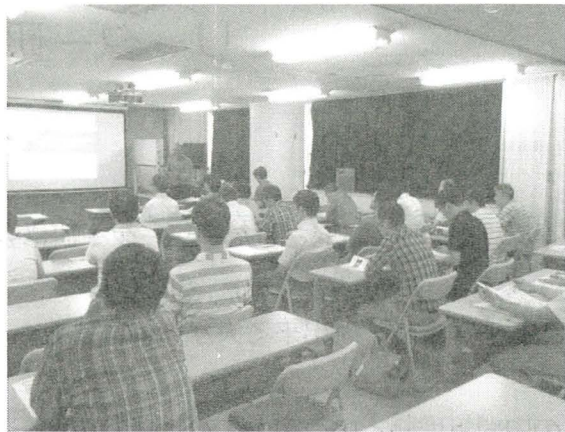
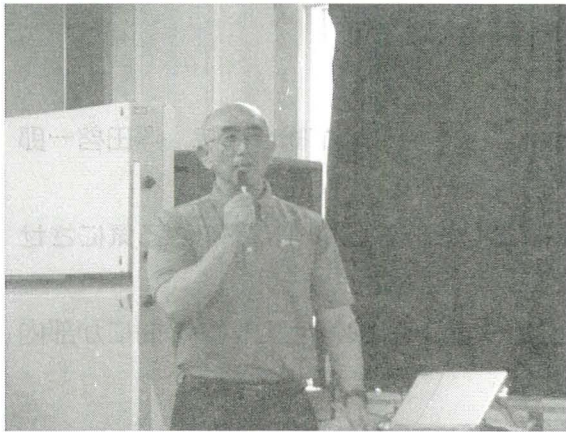
7月19日(土)に鹿児島大学第2臨床実習室に於いて、平成26年度リーダー研修会が行われたので参加しました。

講師の先生は昨年同様、総合メディカルの小宮先生でした。昨年も参加させていただき話を聞かせてもらいましたが、新鮮で非常に中身の濃い話だったというのを記憶しています。今回は実践的なものを行うというのを聞いていましたので、何をするのか多少不安な気持ちで参加しました。

今回の研修会のタイトルが「部下をやる気にさせる指導・育成」でした。まず前回リーダー会の復習も含めて今の時代の上司力、上司と部下の仕事の進め方、やる気に影響する言動、コーチングの概要ということで話が進められていきました。今の時代の上司力というところでは「部下を管理する」というところから「部下が育つ環境を創る」に変わってきており、部下自身にセルフマネジメントをさせる力をつけさせることが上司力だとおっしゃっていました。この他にも部下への接し方や叱り方など、とても興味深い話を聞くことができました。なかでも印象的だったのが、話の途中で変な形の『手押し車』の図形を出されて感想を5個以上書きなさいというものがありました。私は「バランスが悪い」「ハンドルが持ちにくい」「タイヤの位置が悪い」など否定的な意見などを並べていました。他の方の意見を聞いてみると「荷物がたくさん乗せれそう」「運びやすそう」「タイヤを前につければよいのでは」「かわいい」とか肯定的な意見も出てきて、ハッと思ったものでした。小宮先生の話では、部下の悪いところはすぐ目につくが見る角度を変えて接することも大事で、否定的な話ばかりではなく前向きな話、建設的な話を交えて部下とは接することを心がければ良い関係が築けるのではないかとおっしゃっており、なるほどと頷けるものでした。

最後にコーチングの実践ということで3人一組になり、上司、部下、オブザーバー役となり実際にコーチングを行ってみましょうというものでした。テーマが「あなたが改善しよう考えている課題は何ですか？」で、私のグループは、池田会長、清泉クリニックの渡邊さんという周りからは少し濃いメンバーと思われたかもしれません。3人がそれぞれの役割を交代しながら実践していき、私が池田会長をコーチングするというなんとも変な感じでしたが、それぞれの施設でいろいろな悩みがあるものだなと思いつつ、的確な意見ももらいながら以外とおもしろく、楽しく、それからやはり難しいなと感じました。

今回のリーダー研修会では、上司力とは、部下への接し方は、コーチングは、などいろいろ考えさせられましたが、本当に貴重な経験をさせてもらいました。



## リーダー研修会の感想

今給黎総合病院 浮田啓一郎

7月19日に開催された、リーダー研修会へ参加した。今回は「部下をやる気にさせる指導・育成 ～出来る人から伸ばす人へ～」という入職19年目でいつの間にか部内の中間管理職という自分にぴったりのテーマである。

講義では今の時代の上司力は部下を管理することではなく部下が育つ環境を創る力であり、自分と部下の仕事を正確に把握して公平に仕事を任せ、評価してあげることや部下にやる気を出させる言葉がけをしセルフエスティーム（自尊心）を高めてあげることが大切であると知り、自分はしっかりできていたのか大いに反省させられた。

またコーチングの概要やスキルを学び、グループ実習でコーチングの実践を学んだ。今までコーチングというのは相手に上手に教えることだと思っていたが、相手の話を聞き相手が答えを見つける為にサポートをするのがコーチングだと知り、自分のコーチングという言葉の認識の違いを直すことが出来た。

今回の研修会で学んだことを生かし、優秀な若い人たちをもり立てられるような上司像を目指したい。

# 第1回FRT九州研修会開催報告

九州地域女性診療放射線技師の会（FRT九州）

代表世話人 松野下 直美

平成26年7月26日（土）、熊本大学医学部附属病院（東病棟12階多目的ホール）にて開催しました「第1回FRT九州研修会」をご報告いたします。

「FRT九州」は、本年度、九州地域放射線技師会に所属する会として発足しました。JART事業のひとつ「診療放射線技師女性サミット」の活動形式が、全国の女性診療放射線技師を集めたサミットから、平成26年度からは各地域での活動に移行するという会告に合わせ、九州地域各県の女性技師各2名ずつが世話人となり活動を始めました。そして、その最初の大きな活動が、この研修会です。

参加者は、総数97名。内訳は、会員64名、非会員16名、学生8名、一般9名でした。研修に用いる材料等を急遽追加しなければならないほど、予想以上の参加を戴き、盛会に終えることができました。以下に研修内容項目を記します。

- |                |   |
|----------------|---|
| 1. FRT九州報告     | 「女性サミットの活動のこれまでとこれから」<br>徳和会 徳久整形外科 松野下 直美          |
| 2. 特別講演        | 「人工乳房のおはなしと人工ニップル製作体験」<br>株式会社 池山メディカルジャパン 池山 紀之 先生 |
| 3. ワークショップ     | 「コミュニケーション術」<br>日本赤十字社熊本健康管理センター 中島 佳子              |
| 4. リフレッシュタイム   | 「腰痛・肩こり体操」<br>日本赤十字社熊本健康管理センター運動指導士 紫藤 ゆかり 先生       |
| 5. スライド作成の基礎講座 | 「難しくしないプレゼンテーションの組み立て方」<br>雪の聖母会 聖マリア病院 井上 真由美 先生   |
|                | 「パワポマニアおだ」<br>鶴友会 鶴田病院 小田 誉之 先生                     |
|                | 「魅せるプレゼンテーションテクニック」<br>熊本大学医学部附属病院 池田 龍二 先生         |

今回、多くの方に参加いただけたのは、広報の努力のほか、プレゼンテーション・スライド作成術について熊本県はもとより他県まで広く知られている技師が、講師となっていたことも多分にあると感じました。

その「5. スライド作成の基礎講座」では、プレゼンテーションの構成について、分かりやすく印象に残るための色使い・フォント・グラフ・レイアウト等の考え方について、知っているようで知らなかったパワーポイントの技やデザインについて等、直ぐ実行したくなるような役立つアレコレが

詰まった内容でした。

「2. 特別講演 人工乳房のおはなしと人工ニップル製作体験」は、一昨年度の「鹿児島県診療放射線技師女性の集い研修会」でも行った講演です。大変有意義で好評であったこと、講演をお願いしたメーカーの支社が九州地域では熊本にあることなどから、今回またお願いをさせていただきました。医療施設のなかで医療人として患者の立場という乳房切除者を思うのとは異なり、日常を生きる乳房切除者の悩みや希望を知ることができたこと、その解決のひとつの人工乳房を理解できたこと、実際に製作体験ができたことなど、本当に良かったと思います。参加者からも、そのような感想を多く戴きました。

意外だったのが、「4. リフレッシュタイム 腰痛・肩こり体操」です。アンケート集計では、2番目に評価が高かった結果でした。会場全員で同じ動作をすることの一体感が、一層良い雰囲気会場をしてくれたように思います。以上のほかに世話人の松野下と中島技師から、報告・ワークショップも実施いたしました。

今回の研修会は、参加者も多く、内容も高評価を得ることができ、大成功と言えると思います。来年の次回は、鹿児島県で行います。次回も、有意義な研修会となるよう鹿児島県の皆さまの協力を得ながら企画し、開催したいと思います。どうぞ、ご協力・ご参加のほど、宜しく願い致します。



第1回FRT九州研修会の様子

梶 岩雄先生 叙勲祝賀会

～瑞宝双光章受賞～

日時：平成26年3月8日（土） 17：30～

会場： パレスイン鹿児島

- ① 開会の挨拶： 池田睦 会長
- ② 略歴紹介： 鹿児島大学病院 西郷康正氏
- ③ 祝辞： 鮫嶋宗俊氏
- ④ 花束贈呈： 藤坂理事、新村栄次 副会長
- ⑤ 絵画贈呈： 中村氏
- ⑥ 謝辞： 梶 岩雄先生
- ⑦ 乾杯の音頭： 冨吉氏
- ⑧ スピーチ： 米倉氏
- ⑨ 祝電披露： 司会 瀬戸理事
- ⑩ 万歳三唱： 小川氏

司会： 瀬戸理事



開会の挨拶 池田 睦 会長



略歴紹介 西郷康正氏



祝辞 鮫島宗俊氏



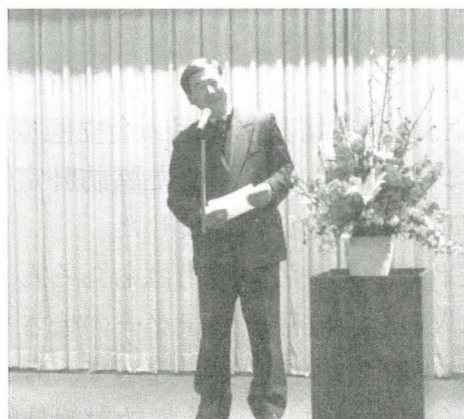
花束贈呈 藤坂理事、新村副会長



謝辞 梅 岩雄先生



絵画贈呈 中村氏



乾杯の音頭 富吉氏



スピーチ 米倉氏



万歳三唱 小川氏



会場



祝電披露 瀬戸理事

## ★★「学術奨励賞」おめでとうございます★★

平成25年11月23日24日に開催されました第8回九州放射線医療技術学術大会(佐賀)において、霧島隼人医師会立医療センターの平賀真雄さんが発表された演題名「肝脾コントラストを利用した脂肪肝定性評価法」が選考の結果、最優秀発表演題として学術奨励賞を受賞されました。

これは、発表者の努力はもちろん、所属施設の仲間の協力の賜物と思われます。霧島隼人医師会立医療センターの皆さま、優秀な演題のエントリー有難うございました。

この賞は、中澤会長の起案で、第8回九州放射線医療技術学術大会にエントリーされた全演題の内、日本診療放射線技師会所属会員の発表者の中から、各県より選考され推薦された演題を、当日、内容(独創性、発展性、貢献性等)の数項目の審査が、各県教育委員、座長らにより行われ、総得点の高い演題1題に与えられる賞です。

表彰は、全国診療放射線技師学術大会(今年は大分県)で全国の地域ごとに選ばれた優秀演題と一緒に九州地域で選出された学術奨励賞として表彰されます。

(歴代受賞者)

第5回九州放射線医療技術学術大会：元日田調(鹿児島大学病院) 鹿児島県

第6回九州放射線医療技術学術大会：辻 英雄(福岡整形外科病院) 福岡県

第7回九州放射線医療技術学術大会：瀬筒美紀(鹿児島医療センター) 鹿児島県

第8回九州放射線医療技術学術大会：平賀真雄(霧島隼人医師会立医療センター)  
鹿児島県

上記に示すように、過去、鹿児島県から多数の最優秀演題が選出されています、今回は、鹿児島県で誇れる技師の一人でもある平賀さんが受賞されましたが、平賀さんに負けないように是非、若手のみなさんの奮闘を期待しております。

まずは、各地域研修会、県学術大会で発表していただき、諸先輩技師からのアドバイスを貰い、さらに研究を進めて、九州地区の九州放射線医療技術学術大会や全国区の日本診療放射線技師学術大会での発表、そして論文化をお願いします。今後も皆さまからの多数の演題のエントリーをお願い致します。

## 平成25年度 第4回(公社)鹿児島県診療放射線技師会理事会 議事録(会報版)

期日：平成26年3月8日(土) 9時～11時30分

場所：ホテルパレスイン鹿児島 4階「白樺の間」

出席理事：池田睦 新村栄次 大久保光男 藤崎拓郎 石本裕二 原口誠 平田勝 佐藤洋一  
藤坂智史 瀬戸和人 齊藤二郎 藤崎誠 坂下周一郎 島児末治 野中康博 岡野三男  
平賀真雄

出席監事：鮫嶋宗俊

欠席理事：中島祐二 田畑一文

議事録署名人：池田 睦 鮫嶋 宗俊

開会：池田会長より理事の過半数以上が出席しており本日の理事会の成立が宣言された。

## 議題1. 第3回常務理事会(平成25年10月30日開催)決定事項報告について

池田会長より以下の報告がなされた。

- 各地域の研修会への理事の出席予定、すでに終了した研修会もあるので、事後承認となる。
- JART女性サミットへの鹿児島県からの推薦者について、今までは松野下さんが執行部の役員になられたので、代わりに今給黎病院の丸尾さんをJRATへ推薦している。
- 技師連盟の鹿児島県での入会者は8名
- 連絡網の進捗状況について、現在各種規定の編集を進めていますが、その中に鹿児島県放射線技師会の連絡網もある。
- 各種規定構成について、それぞれ分担を決めまして各種規定の構成を行っています。
- 永年勤続30年表彰推薦者について、鹿児島県放射線技師会の推薦者として7名の方を推薦する。
- 夜間急病センターの研修会が11月29日に開催された。
- 25年秋の叙勲について、榕さんの受賞が正式に決まった。
- その他として、議事録を作成するにあたり、音声入力ソフトの購入をした。

上記について理事全員賛同で承認された。

## 議題2. 第4回常務理事会(平成26年1月17日開催)決定事項報告について

池田会長より以下の報告がなされた。

- 2月、3月の地域研修会等への理事の出席予定
- 6月の総会の準備について6月21日にパレスインで開催、総会後に、公益法人1周年記念講演会・祝賀会も行う。
- 学術大会を5月31日に単独開催する。場所は鹿児島大学医学部インテリジェントホール。
- 技師会ホームページの現在の構成に追加して放射線検査についての解説を載せる予定
- 各種規定の構成については既に構成は済んでいますので、編集委員にまとめてもらっています。

○リレーフォーライフジャパンへの参加について骨密度の測定とブースを出してリレーにも参加する。

○鹿児島県診療放射線技師会のみ登録の会員がおられる。日本診療放射線技師会と鹿児島県診療放射線技師会は公益社団法人母体としては各々違う組織であるが、会員数が異なる事による会費請求の煩雑さの問題や我々診療放射線技師の待遇改善や業務拡大を省庁と交渉している日本診療放射線技師会という職能団体に入会しない会員が存在する事は診療放射線技師の組織率の低下にも繋がる。組織率の低下は公益社団法人組織の運営にも大きな影響を与えるため、鹿児島県のみ登録は原則として認めない方向で考える。現在、鹿児島県診療放射線技師会のみ登録の会員の方は日本診療放射線技師会への同時入会をお願いする方向でこれからも勧誘を行っていく。

○県技師会の中で、長年支部長をされた方の表彰を行いたいということを提案し了承を得た。

○各研究会の参加費の件につきまして、非会員に対しては一律 500 円徴収し、学生、メーカーからは徴収しない。また、研究会を行う施設の職員に関しては徴収しない。

上記について理事全員賛同で承認された。

### 議題3. 平成26年度春季学術大会 5月31日について

池田会長より平成26年度春季学術大会の予定として14時から鹿児島大学医学部のインテリジェンスホールで開催される。平成26年度の診療報酬改定、吉浦教授を検討する。講演が2題で演題発表が6題。もしくは講演1題で演題発表が10題くらいとする説明があった。

上記について理事全員賛同で承認された。

### 議題4. 平成25年度決算総会・平成26年度予算総会 \*平成26年度の予定について

池田会長より以下の説明がなされた。

○決算・予算は総会の前に理事会を開催するので、その時に話し合う。

○10月に市民健康祭りが鹿児島アリーナで開催される。パネル展示をして、骨密度測定をする。

上記について理事全員賛同で承認された。

### 議題5. 表彰委員会規程について

池田会長より以下の説明がなされた。

○平成25年度の表彰委員会を2月25日に開催した。出席者は5人。

平成26年秋の叙勲推薦者として西本孝市さんを推薦。平成27年春の叙勲表彰推薦者として福島昇さんを鹿児島大学より推薦予定。鹿児島県放射線技師会からの推薦は、平成27年秋以降になる。

○長年選挙管理委員をしていた瀬戸さんと大迫さんに感謝状を付与することについて了承を

得た。また旧支部長を長年させた方に感謝状を贈ることになった。

○叙勲について、橋口善治氏を平成27年秋の叙勲推薦者とする。

○表彰委員の追加について、村山氏を平成26年度以降の表彰委員に委嘱する。

○表彰規定について表彰基準の15年のところ、叙勲申請規定の第三条三項の地域長歴15年以上の項目も省き、感謝状の表彰基準としては10年以上役員として従事した者をおよび各地域の会務に10年以上従事した者とし、ただし10年は目安とする。

第三条の35年以上従事した者の年数は国の基準に合わせたいと思う。

上記について理事全員賛同で承認された。

## 議題6.その他

藤坂理事より新入会員の承認について平成25年度の入会者は13人、退会6人、再入会者1人、転入者は8人、転出者6人。3月1日現在の会員数は454人の報告があり理事全員賛同で承認された。

## ○報告事項

### 1. 表彰委員会報告について

議題5.で報告があったため省略。

### 2. 鹿児島県診療放射線技師会各種規程作成・編集委員会報告について

平田理事より各種規定の校正をまとめた。

文字の書体・大きさの統一をしている。JARTからの資料はPDFなのでそのまま掲載する形にする。

編集委員会を開催し変更等が出てくると思いますので、修正後規定集として出す。

### 3. 九州地域放射線技師会関係について

藤崎拓理事より以下の報告がなされた。

○第8回九州放射線医療技術学術大会参加人数は811人、演題数187題、41セッション。

収支差額も10万のプラス。学術奨励賞に鹿児島の平賀氏を選ばれた。

○平成26年度九州地域放射線技師会役員改選について、平成26年度より九州地域放射線技師会会長に佐賀県の廣木氏が務めることが承認された。

○学術大会の学生の参加について、抄録集を渡し1000円とする、また、情報交換会も会員と同額とする。

○第9回九州放射線医療技術学術大会を11月1日、2日に北九州で開催する。

○平成26年の九州地域放射線技師会研修会を9月6日に熊本で開催される。

○基礎講習の件ですが、鹿児島では8月に乳房撮影12月に一般撮影を行う。静脈注射を8月の予定。

○第9回九州放射線医療技術学術大会はポスターセッションと学生だけのセッションを設け

た。利益相反のスライドを必ず入れることが決まっている。患者の情報を使用する場合は必ず倫理委員会の了承を得ること。

#### 4. 地域研修会関係

池田会長より次に地域研修会関係について、地域理事は早めに予定を決めて連絡すること。

#### 5. 女性の会関係

池田会長より女性の会名称『FRT九州』ができた。代表が鹿児島の松野下氏に決まり、また、第1回のFRT九州の開催を7月に熊本で行うことになった。詳しい案内はHPにも掲載予定。

#### 6. その他

○5月初めにニュースを発行したい

○リレーフォーライフの参加についてウオークと骨密度測定も行うので人数が多く必要です。  
多数の参加を募集してください

開会：新村副会長より以上で全ての議事が終了し、理事会の閉会が宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会  
会長 池田



## 平成25年度 第5回公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会理事会 議事録(会報版)

期日：平成26年3月27日(土) 18時30分～19時30分

場所：鹿児島大学病院 3Fカンファレンス室

出席理事：池田睦 大久保光男 藤崎拓郎 石本裕二 中島祐二 原口誠 平田勝 藤坂智史  
齊藤二郎 藤崎誠 坂下周一郎

出席監事：鮫嶋宗俊

欠席理事：新村栄次 佐藤洋一 瀬戸和人 田畑一文 島児末治 野中康博 岡野三男  
平賀真雄

議事録署名人：池田 睦 鮫嶋 宗俊

開会：池田会長より理事の過半数以上が出席しており本日の理事会の成立が宣言された。

### 議題1. 平成26年度事業計画案について

池田会長より平成26年度事業計画案は25年度と骨子自体は変わっていない。変わっているのは各種イベント等への積極的参加・協力というところでリレーフォーライフ・ジャパンかごしまというのが入ってきている。

平成25年度の事業計画を踏襲しながら平成26年度も行っていくという説明があり、理事全員賛同で承認された。

### 議題2. 平成26年度収支予算案について

中島理事より以下の説明がなされた。

○一般正味財産増減の部で会費の合算請求が始まったので年度より回収率が上がった。広告収入は3社減って90,000円減らしてある。あとは例年並みで予算額の収入の合計が4,768,000円である。

○経常費用支出の部が今年の傾向を見ると研修会、研究会などが多く旅費交通費、謝金が多く発生して予算をオーバーしたので今後は増やして、減らすべきところは減らしてある。事業費の前年の420,000円の旅費交通費は450,000円に上げてある。会場などを借りる賃借料は50,000円上げてある。あと諸謝金が今年度は680,000円だったのを800,000円に上げてある。

○管理費、法人会計は会議費が各地域の連絡会議などが増えてきており、会議費が増えてきているので20,000円上げてある。また、それに伴う交通費を90,000円上げてある。これは今年の実績を見ると多くかかっているので多目に上げてある。

○諸謝金には公認会計士さんに支払う費用を含んである。

○総計上費用の総額は5,246,000円です。

○指定正味財産期末残高は 28,778,000 円。

○収益でいままで規定に沿って 70 歳以上で申請があれば会費は受け取らなかったが、今回からは 70 歳以上は請求をしていない。

○公益法人会計はプラス収益は原則許されません。収支が同額かマイナスにしないと収益が出たら問題になる。

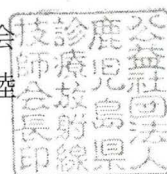
上記について理事全員賛同で承認された。

開会：池田会長より以上で全ての議事が終了し、理事会の閉会が宣言された。

議事録（原本）の内容と相違ありません。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

会長 池田 睦



## 平成26年度第1回(公社)鹿児島県診療放射線技師会 理事会 議事録(会報版)

期日：平成26年6月21日(火)12時00分～

場所：パレスイン鹿児島 4階 白樺の間

出席者理事：池田睦 大久保光男 藤崎拓郎 石本裕二 中島祐二 原口誠 平田勝 佐藤洋一  
藤坂智史 齊藤二郎 瀬戸和人 藤崎誠 坂下周一郎 岡野三男 平賀真雄  
島見末治 野中康博 里隆照(大島地域理事代理オブザーバー)

出席者監事：鮫嶋宗俊

欠席者：新村栄次 田畑一文

議事録署名人：池田 睦 鮫嶋宗俊

開会：池田会長より理事の過半数以上が出席しており本日の常務理事会の成立が宣言された。

### 議事内容

#### ○議題1. 93回総会における定款の改定について

池田会長より、今年度の総会では改定は行わない。理由として3分の2以上の出席が望めない、定款細則で運用ができるため、26年度末が役員改選の年度であるので27年度に定款改定を行うためその時にまとめて改定を行うためと説明があった。

(細則)

- ・第8条 常務理事、地域理事以外の理事は常務理事と同様に常務理事会に参加し、常務理事と同様な技師会業務を行う。
- ・第9条 地域理事は、会長の任命により、地域の責任者として組織図に基づき、各々の地域を統括する。
- ・第10条 監事は、会長の任命により、組織図に基づき、この法人の監査業務を行う。

次年度の事業計画及び収支予算に関しては、定款第44条第1項に記載するが、理事会の決議を経た後に総会では承認を得るものとする。

以上の説明があり、理事全員賛同で承認された。

#### ○議題2. 平成25年度事業報告、決算報告について

池田会長より総会資料の確認、中島理事より監査報告、決算報告について説明があり、理事全員賛同で承認された。

#### ○議題3. 記念講演会、祝賀会について

藤坂理事より6月21日、理事会後の総会、記念式典(講演)、祝賀会のタイムスケジュールの説明があり、理事全員賛同で承認された。

#### ○議題4. FRT九州の鹿児島県代表としての旅費の負担について

池田会長より女性の会(鹿児島)代表 松野下氏からの旅費の負担についての要望が説明された。財務的には問題ない、県技師会員へのフィードバックが必要などの意見があり、結果としてFRT

に参加する県代表者には旅費の負担を行うことについて、理事全員賛同で承認された。

○議題5. その他 新入会員の理事会承認

藤坂理事より今年度の新入会員2名、退会者1名、転入者1名、転出者3名の説明があり理事全員賛同で承認された。

転入の手続きをしていない人がいないように手続きの依頼をする。

手続きの方法を会報やニュースに載せて周知をするなどの意見があった。

また妊娠、出産などで休業される方、病気等で休業される方は免除規定もありますので、会員への周知をお願いします。

○報告事項

1. 第74回日本放射線技師会定時総会報告

・放射線技師の業務拡大が国会で審議中であること、JART 理事の改選が行われ、中澤会長は続行で役員の一部変更された。

2. 市民健康祭り実行委員会報告

・10月5日に鹿児島アリーナで開催され、ブースで、パネル展示・被ばく相談・骨密度測定(2台)を行う予定。

3. 会長、副会長及び常務理事の職務執行状況報告

・会長、常務理事の職務の執行状況について報告された。  
新村副会長は入院のため欠席

4. その他

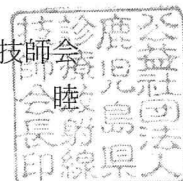
- ・診療放射線技師のことがわかる本が必要な施設は部数を藤崎理事まで連絡。
- ・7月19日リーダー研修会開催予定(別紙参照)参加予定者は藤崎理事まで連絡。
- ・6月29日 フレッシュアップセミナー開催 各施設への広報。
- ・財務より、研修会や研究会の会計報告は領収書を添付すること。

開会：池田会長より以上で全ての議事が終了し、常務理事会の閉会が宣言された。

議事録(原本)の内容と相違ありません。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

会長 池田



## 第93回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 定時総会議事録

・日時：平成26年6月21日（土）15:00～16:20

・会場：ホテルパレスイン鹿児島 白鷺の間

### 総会次第

- 1・開会の辞
- 2・会長挨拶
- 3・資格審査
- 4・議長団選出
- 5・議事録署名人選出
- 6・議事

#### 議案第1号

平成25年度事業報告に関する件

#### 議案第2号

平成25年度決算報告に関する件

#### 議案第3号

平成25年度監査報告に関する件

#### 議案第4号

平成26年度事業計画案に関する件

#### 議案第5号

平成26年度収支予算案に関する件

#### 議案第6号

その他

- 7・議長団解任
- 8・その他
- 9・閉会の辞

出席

理事 池田 睦 大久保 光男 藤崎 拓郎 石本 裕二 中島 祐二  
原口 誠 平田 勝 佐藤洋一 藤坂智史 瀬戸和人 齊藤二郎 藤崎 誠  
坂下周一郎 岡野三男 平賀真雄 島児末治 野中康博  
監事 西元広男 鮫嶋宗俊  
議長 梶 祐幸 児玉公輝

欠席

理事 新村栄次 田畑一文

- ・正会員数 453名（平成26年6月21日現在）
- ・出席会員数 61名 委任状数228名 合計289名

総会開始

1. 開会の辞

瀬戸和人理事による第93回定時総会開会の辞が行われた。

2. 会長挨拶

池田睦会長より挨拶、診療放射線技師の業務拡大（ネラトンチューブ挿入、抜針）などが国会で審議中であること、日本診療放射線技師会の役員改選があり中澤会長が継続すること、副会長が交代したこと、畦元省吾氏が理事に当選したことなどの報告が行われた。

4. 資格審査

藤坂智史総務理事より正会員数453名（平成26年6月21日現在）のうち289名（書面表決者228名を含む）が出席し総会が成立する旨の報告が行われた。

5. 議長団選出

会場からの立候補はなく、執行部より正議長に厚生連病院の梶祐幸氏、副議長に県立薩南病院の児玉公輝氏を推薦し、満場一致で選出された。

議長団登壇

6. 議事録署名人選出

藤坂智史総務理事より公益社団法人移行後の新定款の31条に沿って議長及び出席した理事をもって議事録署名人とする説明が行われた。

7. 議事

正議長：議長及び出席した理事をもって議事録署名人に選出して早速審議に入ります。

時間の関係上、議事議案第1号から議事議案第3号まで続けて説明を受けた後、質疑応答及び採決にはいたいと思います。

正議長：議事議案第1号から議事議案第3号まで執行部の説明をお願いします。

1) 議事議案第1号 平成25年度会務報告について

池田睦会長より別紙総会資料より平成25年度事業報告の総括が述べられた。

藤坂智史総務理事より別紙総会資料より事業報告の説明がなされた。

2) 議事議案第2号 平成25年度決算報告について

中島祐二財務理事より別紙総会資料より説明がなされた。

3) 議事議案第3号 監査報告について

鮫嶋宗俊監事、西本広男監事より監査結果について、会務執行は的確に行われている。

事業については順調に執行運営されている。会計処理は間違いなく処理されている。そ

の他特に指摘すべき事項は認められないとの報告があった。

議事議案第1号から議事議案第3号までの一括質疑応答に入った。

正議長：会場より質問はないですか？

正議長：ないようですので採決に入ります。

議案第1号平成25年度会務報告について異議のある方の挙手をお願いします。

挙手0名

保留の方の挙手をお願いします。

挙手0名

異議のない方の挙手をお願いします。

挙手61名

異議のない方の挙手多数により議案第1号 平成25年度事業報告は承認されました。

議案第2号平成25年度決算報告について異議のある方の挙手をお願いします。

挙手0名

保留の方の挙手をお願いします。

挙手0名

異議のない方の挙手をお願いします。

挙手61名

異議のない方の挙手多数により議案第2号平成25年度決算報告  
貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明  
細書、財産目録は承認されました。

続きまして、議案第3号監査報告について異議のある方の挙手をお願いします。

挙手0名

保留の方の挙手をお願いします。

挙手0名

異議のない方の挙手をお願いします。

挙手61名

異議のない方の挙手多数により議案第3号平成25年度監査報告は承認されま  
した。

#### 議長交代

副議長： つづきまして、議事議案第4号、議事議案第5号の審議に入ります。  
議事議案第4号、議事議案第5号の説明を受けた後、質疑応答及び採決にはいり  
たいと思います。

副議長： 議事議案第4号、議事議案第5号の説明を執行部お願いします。

- 1) 議事議案第4号平成26年度事業計画について  
池田睦会長より別紙総会資料より平成26年度事業計画の概要、藤坂智史総務理事より事  
業計画の説明がなされた。
- 2) 議案第5号平成26年度収支予算案について  
中島祐二財務理事より別紙総会資料より議案第5号平成26年度収支予算案の説明がなさ  
れた。

議事議案第4号、議事議案第5号の一括質疑応答に入った。

正議長：会場より質問はないですか？

正議長：ないようですので採決に入ります。

議案第4号平成26年度事業計画について異議のある方の挙手をお願いします。

挙手0名

保留の方の挙手をお願いします。

挙手 0名

異議のない方の挙手をお願いします。

挙手 61名

異議のない方の挙手多数により議案第4号 平成26年度事業計画案は承認されました。

続きまして、議案第5号平成26年度収支予算案について異議のある方の挙手をお願いします。

挙手 0名

保留の方の挙手をお願いします。

挙手 0名

異議のない方の挙手をお願いします。

挙手 61名

異議のない方の挙手多数により議案第5号 平成26年度収支予算案は承認されました。

副議長： 続いて議案第6号の その他 に入ります。  
執行部並びに会場からのご意見・提案はないでしょうか。

執行部： 会長よりその他（定款細則の改定）について  
池田睦会長より定款細則の改定についての説明がなされた。

池田睦会長：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会定款第44条の第1項の事業計画及び収支予算について、「この法人の事業計画、収支予算書及び資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類は毎年事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を経て総会の議決を得なければならない。」と記載されているが、総会の議決を得るには事業年度の開始前に総会を開催する必要がある。定時総会は年1回と定めているので実際とそぐわないため定款の改定が必要であるが、鹿児島県保健福祉部保健医療課と相談の結果、定款は改定せずに定款細則に新たに記載して、定時総会で社員（会員）の承認が得られれば問題ないとの事であった。また、第14条第2項の理事の数について、常務理事、地域理事以外の理事がいるが、常務理事と同様な技師会業務を行うため、この項も理事を常務理事として定款細則に記載して運用したい。そのため定款上の齟齬を定款細則で補い運用する事について、今定時総会で会員の承認を得たいと思ひ議題として提案しました。

定款第14条関係について、定款細則に第8条を追加する。

「第8条 常務理事、地域理事以外の理事は常務理事と同様に常務理事会に参加し、常務理事と同様な技師会業務を行う。」

また、定款44条関係は公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会定款第24条より定時総会は、毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催すると決められています。従い

まして、次年度の事業計画及び収支予算に関する定款細則第13条(総会に関する項)に2項を追加記載して以下の通り改定する。

「2 次年度の事業計画及び収支予算に関しては、定款第44条第1項に記載するが、理事会の決議を経た後に総会では承認を得るものとする。」

議事議案第6号の質疑応答に入った。

正議長：会場より質問はないですか？

正議長：ないようですので採決に入ります。

議案第6号その他(定款細則の改定)に対して異議のある方の挙手をお願いします。

挙手0名

保留の方の挙手をお願いします。

挙手0名

異議のない方の挙手をお願いします。

挙手61名

異議のない方の挙手多数により議案第6号その他(定款細則の改定)は承認されました。

副議長：他にないでしょうか？ないようですので、これで議案第6号を終了します。

#### 7・議長団解任

副議長：以上を持ちまして議案第1号から議事議案第6号までの審議を終わり、私たちの議長の責を退かせて戴きます。会場の皆様のご協力ありがとうございました。

#### 8. その他

池田会長より議事に協力していただいた会員へのお礼の言葉があった。

また、リーダー研修会の案内、基礎講習(乳房撮影)の案内、抜針講習会の案内が行われた。

#### 9. 閉会の辞

すべての審議を終え、本総会が終了し、瀬戸和人理事により閉会が宣言された。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第31条2項に沿って、議長及び出席した理事が記名押印する。

平成26年6月28日

正 義 長            梶 祐幸

副 議 長            児玉 公輝

理            事            池田 睦

大久保 光男            藤崎 拓郎            石本 裕二

中島 祐二            原口 誠            平田 勝

佐藤 洋一            藤坂 智史            瀬戸 和人

齊藤 二郎            藤崎 誠            坂下 周一郎

岡野 三男            平賀 真雄            島見 未治

野中 康博

議事録作成            藤坂 智史

この議事録は原本と相違ありません

平成26年6月28日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会 長            池 田 睦



## 第93回定時総会 出席者(順不同)

1	河野 正人	24	永山 照明	47	梶 祐幸
2	村山 光生	25	橋口 満	48	西 憲文
3	山口 信夫	26	岡野 三男	49	新留 寿
4	梶 岩雄	27	長野 勝悟	50	増井 飛沙人
5	大久保 光男	28	田口 利樹	51	岩永 崇
6	池田 睦	29	島兒 末治	52	木屋尾 祐太朗
7	穂満 信行	30	隈元 満広	53	木村 圭佑
8	室屋 純一	31	中島 祐二	54	岩元 亮太
9	橋口 善治	32	井ノ上 祐二	55	渡邊 義治
10	竹之内 学	33	大迫 良一	56	持留 浩輔
11	石山 重行	34	平田 勝	57	山下 友也
12	里 隆照	35	原口 誠	58	若松 重良
13	瀬戸 和人	36	石本 裕二	59	高田橋 司
14	平賀 真雄	37	松村 康博	60	田中 嵩人
15	出水田 尚文	38	宮園 輝美	61	萩原 純久
16	園田 実郎	39	藤坂 智史	62	野中 康弘
17	瀬戸口 勲	40	坂下 周一郎	63	鮫嶋 宗俊
18	斉藤 二郎	41	藤崎 誠	64	富吉 司
19	藤崎 拓郎	42	中島 さおり	65	東 幸浩
20	児玉 公輝	43	豊田 雅彦	66	田中 義明
21	中原隆重	44	下園 大介	67	穂山 和章
22	松野下 直美	45	小磯 美奈	68	丸尾 美由紀
23	西郷 康正	46	佐藤 洋一	69	石原 勝

第93回  
公益社団法人  
鹿児島県診療放射線技師会

定時総会資料

日時：平成26年6月21日（土）15:00～16:30

会場：ホテルパレスイン鹿児島 孔雀の間

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 平成25年度決算総会事業報告

### 総括

平成25年度も前年度と同様に本会の目的である会員の職業倫理を高揚する事業と共に、診療放射線の安全管理に関する知識の普及啓発並びに診療放射線技師の資質の向上を図り、地域医療の振興と県民の健康増進に寄与する事業を行った。

平成25年度は公益社団法人1年目に当たるため、前年度と比べて公益性の高い事業を行う事に留意した。まず、平成25年5月11日に開催されたリレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまのイベントに鹿児島県診療放射線技師会として始めてブースを設置して参加した。このイベントはがん患者さんやサポートする家族と共にがんに向かう勇気や生きる感動を分かち合うためのイベントで平成25年度で2回目の開催になる。鹿児島県診療放射線技師会は放射線検査や放射線被ばくに関するパネルの展示や超音波による骨密度の測定を行った。骨密度測定者は約80名を超え鹿児島県診療放射線技師会の啓発も行えた。2日間の延べ参加者数は約1,000人でありがん撲滅のイベントとして大きな成果を挙げた。

平成25年11月2日に市民健康祭りが開催された。前年度まではブースを設置して鹿児島県診療放射線技師会として啓発活動を行っていたが、今年度は記念大会であったため講演会のみを設定となり、実行委員として数名が参加した。次年度は通常通りのブースを設置しての大会の予定である。

平成26年3月8日にレントゲン週間市民公開講座を開催した。今回は「医療現場におけるコ・メディカルの役割」と題して、医療現場で働く理学療法士、臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師の4職種と診療放射線技師の養成機関よりそれぞれの代表者を招いての講演会を鹿児島県内の高校生及び家族を対象に行った。参加人員は約80名であった。講演会の質疑応答では将来の職業について活発な質問がありコ・メディカルへの関心の高さが伺えた。この講演会は次年度も行う予定とした。

平成25年6月22日の第92回総会時の特別講演は南海トラフの大地震が取り沙汰されている折、鹿児島県の地震・津波対策について鹿児島県危機管理局防災課の担当官を招いて南海トラフ大地震の影響について講演を行った。日本海側に面する地域にはそれほどの影響はないが太平洋側に面する大隅地域や種・屋久地域には繰り返し津波が押し寄せかなりの影響があることがシミュレーションより示唆され防災について供えが必要な事が理解できた。

その他、鹿児島県内における診療放射線技師の職業倫理の高揚や知識の向上に関する研修会、研究会を行った。フレッシューズセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会をそれぞれ1回ずつ開催した。地域研修会を6地域にてそれぞれ行ない、南薩地域、大隅地域、霧島・始良地域は年間2回開催した。また霧島・始良地域研修会の内1回は秋季学術大会を同時に開催し、大阪りんくう総合医療センターの坂下恵治先生を招いての診療放射線技師の読影の補助についてのシンポジウムを開催し好評だった。鹿児島消化器画像研究会を4回、鹿児島県放射線治療技術研究会を2回、鹿児島CT研究会を6回、鹿児島MRI研究会を2回開催した。また平成25年度より鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会を新たに立ち上げそれぞれ開催した。第2回鹿児島県診療放射線技師女性の集いを開催し、相良病院乳腺外科の馬場先生より遺伝性乳がんについての講演を行った。その他、地域保健協力事業は鹿児島市夜間急病センター担当者の研修を3回行った。平成25年度の鹿児島県原子力防災訓練は規模を縮小して開催されたため、鹿児島県診療放射線技師会の訓練への参加はなかったが訓練打ち合わせ会には数回の参加を行った。日本診療放射線技師会委託事業の講習会も開催した。

## 平成25年度事業報告

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下16の事業を行った。

### 1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

### 2. フレッシュアップセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

日時：平成25年6月2日（日）

会場：鹿児島大学医学部 第4講義室

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：エチケット・マナー講座

医療安全講座

感染対策講座

気管支解剖講座

入会案内

対象：会員および非会員

参加人数：37名

### 3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

日時：平成25年7月6日（土）

会場：ホテルパレスイン鹿児島

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「人事管理、人材教育、コーチングについて」

対象：会員

参加人数：40名

### 4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』『期待に応える専門職種として』のローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

日時：平成26年3月8日（土）

会場：ホテルパレスイン鹿児島

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「医療現場におけるコ・メディカルの役割」

対象：一般市民、会員、非会員

参加人数：78名

### 5. 特別企画の実施

第92回総会時に特別講演もしくはシンポジウムを開催し、技術の向上を図るとともに時代に即したテーマについての討論を行う。

日時：平成25年6月22日（土）

会場：鹿児島大学医学部保健学科 講義棟6F インテリジェント講義室

主催：鹿児島県診療放射線技師会

内容：「鹿児島県の地震・津波対策」

対象：会員および非会員

参加人数：72名

### 6. 地域研修会の実施

6地域（鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域）研修会を地域理事の企画において開催する。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行う。

#### 鹿児島地域

平成25年度 第12回鹿児島地域研修会

日時：平成26年2月22日（土）

会場：JA 厚生連健康管理センター研修室  
 対象：会員、非会員  
 参加人数：59名(会員47名、非会員4名、メーカー他8名)

平成25年10月26日の鹿児島地域研修会は。台風27号の接近のため中止

#### 南薩地域

第27回南薩地域研修会  
 日時：平成25年9月28日(土)  
 会場「：加世田病院 多目的ホール  
 対象：会員および非会員  
 参加：37名(うち非会員2名、メーカー7名)

第28回南薩地域研修会  
 日時：平成26年3月1日(土)15時～  
 会場「：県立薩南病院  
 対象：会員および非会員  
 参加：36名(会員24名、非会員12名)

#### 北薩地域

平成25年度第22回北薩地域研修会  
 日時：平成25年11月9日(土)  
 会場：済生会川内病院  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：52名(うち非会員4・メーカー他6名)

#### 霧島・始良地域

霧島・始良地域研修会  
 日時：平成26年3月22日(土)  
 会場：霧島市立医師会医療センター 大会議室  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：出席者31名

#### 大隅地域

第34回大隅地域研修会  
 日時：平成25年9月7日(土)

会場：鹿屋市中央公民館  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：27名 メーカー7名

#### 第35回大隅地域研修会

日時：平成26年3月29日(土)14時半～  
 会場：恒心会おぐら病院  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：46名(会員30名、非会員9名、メーカー7名)

#### 大島地域

平成25年度 大島地域研修会  
 日時：平成26年2月1日(土)14時半～  
 会場：県立大島病院2階講堂  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：22名

#### 7. 秋季学術大会の実施

平成25年度鹿児島県放射線技師会秋季学術大会  
 日時：平成25年11月16日(土)15時～  
 会場：霧島市医師会医療センター大会議室  
 対象：会員及び非会員  
 参加人数：67名(会員58名、非会員9名)

#### 8. 各研究会の実施

鹿児島消化器画像研究会、鹿児島放射線治療研究会、鹿児島CT研究会、MR研究会に本年度より鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線研究会を加えて鹿児島県診療放射線技師会の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行う。

#### 鹿児島消化器画像研究会

第42回鹿児島消化器画像研究会  
 日時：平成25年4月23日(火)19時～  
 会場：厚生連病院

対象：会員および非会員

参加人数：32名

第43回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成25年7月27日（土）15時～

会場：南風病院 ANNEX-I

対象：会員および非会員

参加人数：41名

第44回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成25年10月25日 19時～

場所会場：厚生連病院

対象：会員および非会員

参加人数：41名

第45回鹿児島消化器画像研究会

日時：平成26年1月25日（土）14時半～

会場：南風病院 ANNEX-I

対象：会員および非会員

参加人数：44名

鹿児島県放射線治療技術研究会

第10回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成25年7月6日（土）14：00～

会場：鹿児島大学病院 第4講義室

対象：会員および非会員

参加者：38名

第11回鹿児島県放射線治療技術研究会

日時：平成25年12月14日（土）14：00～

会場：鹿児島大学病院 第4講義室

対象：会員および非会員

参加者：38名

鹿児島CT研究会

第20回鹿児島CT研究会

日時：平成25年5月22日（水）19時～21時

会場：鹿児島医療センター2階大会議室

対象：会員および非会員

参加人数：109名

第21回鹿児島CT研究会

日時：平成25年6月15日（土）15時～18時

会場：鹿児島医療センター2階大会議室

対象：会員および非会員

参加人数：94名

第22回鹿児島CT研究会

日時：平成25年9月25日（水）19時～21時

会場：鹿児島医療センター2階大会議室

対象：会員および非会員

参加者114名

23回鹿児島CT研究会

日時：平成25年11月26日（水）

場所：鹿児島医療センター 2階 大会議室

対象：会員および非会員

参加者84名

24回鹿児島CT研究会

日時：平成26年1月29日（水）

場所：鹿児島医療センター 2階 大会議室

対象：会員および非会員

参加者93名

25回鹿児島CT研究会

日時：平成26年3月26日（水）

場所：鹿児島医療センター 2階 大会議室

対象：会員および非会員

参加者67名

MRI研究会

第15回鹿児島県MRI研究会

日時 H25年4月27日（土）

場所 鹿児島大学医学部第4講義室

参加者42名

第16回鹿児島県MRI研究会

日時 H26年5月17日(土)

場所 鹿児島大学医学部第4講義室

参加者 56名

鹿児島乳腺画像研究会

第1回鹿児島乳腺画像研究会

日時:平成25年1月17日(金)

会場:鹿児島市立病院

対象:会員および非会員

参加人数 36名

鹿児島超音波研究会

第1回鹿児島超音波研究会

日時:平成25年8月3日(土)

会場:さがらパース通りクリニック

対象:会員および非会員

参加人数 111名(うち非会員 50名)

第2回鹿児島超音波研究会

日時:平成26年1月17日(金)

会場:鹿児島厚生連病院

対象:会員および非会員

参加人数 75名(うち非会員 39名)

第1回少人数ハンズオンセミナー

2013/8/28~11/13 計10回

参加者 4名(非会員 4名)

開催場所 フサメ内科クリニック

第2回少人数ハンズオンセミナー

2013/12/4~2014/2/26 計10回

参加者 5名(非会員 1名)

開催場所 霧島市立医師会 医療センター

少人数ハンズオンセミナー(医師対象)

2014/3/15

参加者 12名(非会員 12名)

開催場所 鹿児島厚生連病院

鹿児島X線撮影研究会

第1回鹿児島X線撮影研究会

日時:平成26年1月18日(土)

会場:今村病院分院

対象:会員および非会員

参加人数 84名

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

放射線管理士部会

開催なし

放射線機器管理士部会

開催なし

鹿児島医療画像情報精度管理士部会

日時:平成25年7月20日(土)

場所:南風病院アネックスI

参加数:62名

10. 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

第2回鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

平成26年3月15日(土) 15時~18時

鹿児島医療センター

参加者:18名

11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。随時更新中

## 12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たす。

### 市民健康まつり

日時：平成25年11月2日（日）14時～  
場所：宝山ホール  
実行委員：1名 招待：1名  
入場者数：約1300名

## 13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

（原子力防災訓練）

平成25年度鹿児島県原子力防災訓練全体会議に出席した。原子力防災訓練は規模が縮小されたため技師会への参加要請は今回は無かった。

## 14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

派遣登録者数：19名

### 第1回夜間急病センター研修会

日時：平成25年7月6日（金）15時  
場所：ホテルパレスイン鹿児島  
対象：派遣登録者（会員）  
参加人数：16名

### 第2回夜間急病センター研修会

日時：平成25年11月29日（金）18時半～  
場所：鹿児島市夜間急病センター2階会議室  
対象：派遣登録者（会員）  
参加人数：15名

### 第3回夜間急病センター研修会

日時：平成26年3月28日（金）18時半～  
場所：鹿児島市夜間急病センター2階会議室  
対象：派遣登録者（会員）  
参加人数：22名

## 15. 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会規程集の発行

定款やその他規程をまとめた規程集を発行する。平成25年度はまだ作成中。

## 16. その他の事業

### 環境測定事業

いちき串木野市立脳神経外科センター  
実施日 H25年4月、10月  
測定者 大久保、小磯

博悠会温泉病院（大久保、小磯）

実施日 H25年4月、10月  
測定者 大久保、小磯

ふくいわ耳鼻咽喉科クリニック

実施日 H25年4月、10月  
測定者 西郷

田上クリニック

実施日 H25年7月、H26年1月  
測定者 隈、西元

守屋病院

実施日 H25年7月、H26年1月  
測定者 藤崎、岩元、里

### 出版事業

平成25年5月：ニュース58号発行  
平成25年9月：第118号会報発行  
平成26年2月：第119号会報発行

## 表彰事業

表彰委員会報告

日時：平成26年2月25日（火）

場所：鹿児島大学病院臨床技術部部長室

## 組織拡大事業

フレッシューズセミナー、各地域研修会、各研究会等にて会員勧誘を実施

## 関連団体との連携

以下、関連団体と連携し、学術大会等を開催した。

公益社団法人日本診療放射線技師会

### 日本診療放射線技師会主催講習会

静脈注射（針刺しは除く）講習会

日時：平成25年8月4日10時～

場所：鹿児島大学医学部

対象：会員および非会員

内容：DVDによる講義（視聴）及び実習

参加人数：30名

## 平成25年度理事会

第1回理事会：平成25年4月6日

臨時理事会：平成25年4月21日

第2回理事会：平成25年6月22日

第3回理事会：平成25年10月28日

第4回理事会：平成26年3月1日

第5回理事会：平成26年3月27日

## 平成25年度常務理事会

第1回常務理事会：平成25年6月5日

第2回常務理事会：平成25年8月5日

第3回常務理事会：平成25年10月30日

第4回常務理事会：平成26年1月17日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,373,695		
未収会費	210,000		
未収金負担金	15,000		
流動資産合計	3,598,695		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,900,000		
建物	11,330,000		
減価償却累計額	-4,894,560		
基本財産合計	14,335,440		
(2) 特定資産			
事務所建替資産	7,947,292		
特定資産合計	7,947,292		
(3) その他固定資産			
什器備品	3,362,480		
什器備品減価償却累計額	-1,654,338		
その他の固定資産合計	1,708,142		
固定資産合計	23,990,874		
資産合計	27,589,569		
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0		
2. 固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計	0		
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0		
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	-1,666,833		
一般正味財産	-1,666,833		
正味財産合計	27,589,569		
負債及び正味財産合計	27,589,569		

(注) 「公益法人会計基準の運用指針」(内閣府公益認定等委員会 平成20年4月11日、平成21年10月16日改正)により、前年度欄及び増減欄については記載していない。

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 正味財産増減計算書

平成 25 年 4 月 1 日 から 平成 26 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0		
特定資産運用益	0		
受取入金	0		
受取会費	2,876,000		
正会員会費	2,856,000		
準会員会費	20,000		
事業収益	672,000		
研修会会費	65,000		
広告	360,000		
環境測定事業	247,000		
業務委託費	67,400		
日本放射線技師会業務委託	67,400		
受取負担金	496,000		
受取負担金	496,000		
受取寄付金	0		
雑収益	343,887		
受取利息	2,476		
雑収益	341,411		
経常収益計	4,455,287		
(2) 経常費用			
事業費	3,937,389		
旅費交通費	529,520		
通信運搬費	168,870		
消耗品費	1,680		
印刷製本費	558,280		
光熱水料費	73,653		
賃借料	176,550		
保険料	43,528		
諸謝金	1,060,000		
租税公課	33,360		
会議費	53,000		
減価償却費	826,043		
雑費	412,905		
管理費	2,184,731		
会議費	88,803		
旅費交通費	283,280		
通信運搬費	133,103		
消耗什器備品費	200,813		
消耗品費	88,947		
印刷製本費	120,085		
光熱水料費	97,152		
賃借料	7,000		
保険料	29,018		
諸謝金	345,000		
租税公課	43,240		
支払負担金	236,000		
減価償却費	190,089		
雑費	322,201		
経常費用計	6,122,120		
評価損益調整前経常増減額	-1,666,833		
基本財産評価損益等	0		

## 3027 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

(単位：円)

科	目	当 年 度	前 年 度	増 減
	特定資産評価損益等	0		
	投資有価証券評価損益等	0		
	評価損益等計	0		
	当期経常増減額	-1,666,833		
2.	経常外増減の部			
(1)	経常外収益			
	固定資産売却益	0		
	固定資産受贈益	0		
	経常外収益計	0		
(2)	経常外費用			
	固定資産売却損	0		
	固定資産減損損失	0		
	災害損失	0		
	経常外費用計	0		
	当期経常外増減額	0		
	当期一般正味財産増減額	-1,666,833		
	一般正味財産増減額	-1,666,833		
	一般正味財産期首残高	0		
	一般正味財産期末残高	-1,666,833		
II	指定正味財産増減の部			
	受取補助金等	0		
	受取負担金	0		
	受取寄付金	0		
	固定資産受贈益	0		
	基本財産評価益	0		
	特定資産評価益	0		
	基本財産評価損	0		
	特定資産評価損	0		
	一般正味財産への振替額	0		
	当期指定正味財産増減額	0		
	指定正味財産期首残高	0		
	指定正味財産期末残高	0		
III	正味財産期末残高			
	正味財産期末残高	-1,666,833		

(注) 「公益法人会計基準の運用指針」(内閣府公益認定等委員会 平成20年4月11日、平成21年10月16日改正)により、前年度欄及び増減欄については記載していない。

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	共通	公益目的	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0
受取入会金	0	0	0	0
受取会費	0	1,725,600	1,150,400	2,876,000
正会員会費	0	1,713,600	1,142,400	2,856,000
準会員会費	0	12,000	8,000	20,000
事業収益	0	672,000	0	672,000
研修会会費	0	65,000	0	65,000
広告	0	360,000	0	360,000
環境測定事業	0	247,000	0	247,000
業務委託費	0	67,400	0	67,400
日本放射線技師会業務委託	0	67,400	0	67,400
受取負担金	0	496,000	0	496,000
受取負担金	0	496,000	0	496,000
受取寄付金	0	0	0	0
雑収益	0	343,887	0	343,887
受取利息	0	2,476	0	2,476
雑収益	0	341,411	0	341,411
経常収益計	0	3,304,887	1,150,400	4,455,287
(2) 経常費用				
事業費	0	3,937,389	0	3,937,389
旅費交通費	0	529,520	0	529,520
通信運搬費	0	168,870	0	168,870
消耗品費	0	1,680	0	1,680
印刷製本費	0	558,280	0	558,280
光熱水料費	0	73,653	0	73,653
賃借料	0	176,550	0	176,550
保険料	0	43,528	0	43,528
諸謝金	0	1,060,000	0	1,060,000
租税公課	0	33,360	0	33,360
会議費	0	53,000	0	53,000
減価償却費	0	826,043	0	826,043
雑費	0	412,905	0	412,905
管理費	0	0	2,184,731	2,184,731
会議費	0	0	88,803	88,803
旅費交通費	0	0	283,280	283,280
通信運搬費	0	0	133,103	133,103
消耗什器備品費	0	0	200,813	200,813
消耗品費	0	0	88,947	88,947
印刷製本費	0	0	120,085	120,085
光熱水料費	0	0	97,152	97,152
賃借料	0	0	7,000	7,000
保険料	0	0	29,018	29,018
諸謝金	0	0	345,000	345,000
租税公課	0	0	43,240	43,240
支払負担金	0	0	236,000	236,000
減価償却費	0	0	190,089	190,089
雑費	0	0	322,201	322,201
経常費用計	0	3,937,389	2,184,731	6,122,120
評価損益調整前経常増減額	0	-632,502	-1,034,331	-1,666,833
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	-632,502	-1,034,331	-1,666,833

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

(単位：円)

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	-632,502	-1,034,331	-1,666,833
一般正味財産増減額	0	-632,502	-1,034,331	-1,666,833
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	-632,502	-1,034,331	-1,666,833
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	0	-632,502	-1,034,331	-1,666,833

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	7,900,000			7,900,000
建物	6,843,320		407,880	6,435,440
小 計	14,743,320		407,880	14,335,440
特定資産				
事務所建替資産	7,444,946	502,346		7,947,292
小 計	7,444,946	502,346		7,947,292
合 計	22,188,266	502,346	407,880	22,282,732

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	7,900,000	( )	( 7,900,000)	( )
建物	6,435,440	( )	( 6,435,440)	( )
小 計	14,335,440	( )	( 14,335,440)	( )
特定資産				
事務所建替資産	7,947,292	( )	( 7,947,292)	( )
小 計	7,947,292	( )	( 7,947,292)	( )
合 計	22,282,732	( )	( 22,282,732)	( )

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

## 附属明細書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

## 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地（基本）	7,900,000			7,900,000
	建物（基本）	6,843,320		407,880	6,435,440
	基本財産計	14,743,320	0	407,880	14,335,440
特定資産	事務所建替資産	7,444,946	502,346		7,947,292
	特定資産計	7,444,946	502,346	0	7,947,292

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

財 産 目 録  
平成 26 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手許保管	運転資金	128,639
	預金	普通預金 鹿児島銀行	運転資金	1,011,071
		郵便振替口座		2,233,985
	未収会費			210,000
	未収負担金			15,000
流動資産合計				3,598,695
(固定資産)				
基本財産	土地	132.24㎡	60%は公益目的事業に使用	7,900,000
	建物	67.9㎡	40%は管理業務に使用	6,435,440
特定資産	事務所建替資産	定期郵便貯金	事務所建替の財源として	5,947,292
		郵便振替口座	積み立てている資産取得資金	2,000,000
その他固定資産	什器備品		公益事業及び管理業務に使用	1,708,142
固定資産合計				23,990,874
資産合計				27,589,569
(流動負債)				
流動負債合計				
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				
正味財産				27,589,569

# 平成25年度 監査報告書

平成26年6月8日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
会 長 池田 睦 殿

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会  
監 事 西元 広男  
監 事 鮫嶋 宗俊



監事両名は、平成25年度の技師会運営に関する監査を技師会事務所において実施し、協議の上、この監査報告書を作成したので、以下のとおり報告する。

## 記

### 1. 監査の概要

理事会に出席する他、会長及び担当理事から技師会運営に関する報告を受け、会務執行、事業計画及び会計処理について監査した。

### 2. 監査の結果

#### (1) 会務執行

会員の異動状況報告、各種の議事録、文章綴りを閲覧した結果、定款及び総会決議に違反する事実は認められず的確に処理されていることを認める。

#### (2) 事業について

事業計画に基づき順調に執行運営されていることを認める。

#### (3) 会計処理

収支状況について収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、不整の連は認められず、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく処理されていることを認める。

#### (4) その他

特に指摘すべき事項は認められない。

## 平成26年度事業計画（案）

平成26年度事業計画案の説明を行います。

平成26年度は日本診療放射線技師会が進める診療放射線技師法の1部改正並びに診療放射線技師の業務拡大の法案が国会で審議されると思われます。そのために地方においては前年と引き続き日本診療放射線技師会委託の各種の講習会が企画されております。静脈注射（針刺しは除く）講習会や診療放射線技師基礎講習の「乳房撮影」もその1部です。ぜひ引き続きたくさんの会員の参加をお願いいたします。

鹿児島県診療放射線技師会は平成26年度も公益社団法人2年目として、前年度と同じように公益社団法人にふさわしい事業を行います。

第3回リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまへ参加し、今回は1日目のブースの設置だけでなく24時間リレーウォークに参加し、がん患者さんへの理解とイベントのサポートを行います。同時に診療放射線並びに鹿児島県診療放射線技師会の啓発を行います。

市民健康祭りにおいてブースを設置し放射線被ばくの相談や診療放射線への理解並びに放射線検査の説明等をパネルで行います。また、超音波骨密度測定器により骨年齢の測定を行い県民の健康増進に寄与する事業を行います。

市民公開のレントゲン週間イベントを開催し、コ・メディカル職種の理解や発展に繋げる事業を行います。同時にパネル展示等を行い放射線検査の説明や放射線被ばく相談にあたります。

特別企画の実施として公益社団法人移行1周年を記念して、記念講演会・祝賀会を開催します。社団法人時に功績のあった方々の表彰を行う予定です。また公益社団法人移行につき各種規程の見直しを行い規程集を新たに発行予定です。平成26年度中に会員の下に届けます。

春季並びに秋季学術大会を春季は鹿児島市で秋季は大隅地域で開催予定です。さらに、フレッシュアップセミナー、リーダー及びリーダー育成研修会、危険予知トレーニング研修会を開催予定です。

また、各地域研修会並びに研究会、部会及び女性の集い等も昨年同様に開催いたします。

平成26年度の原子力防災訓練には鹿児島県診療放射線技師会も参加予定です。地域保健協力事業として引き続き鹿児島市夜間急病センター支援事業を行い、担当者による研修会も複数回開催予定です。

上記の通り、鹿児島県内の診療放射線技師の職業倫理の高揚と資質の向上並びに鹿児島県民の健康増進に寄与する事業を行います。平成26年度も鹿児島県診療放射線技師会活動にご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展ならびに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

### 1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

### 2. フレッシュヤーズセミナーの開催

社会人・医療人としての心構えや接遇についての教育を行うとともに、臨床現場ですぐに役に立つ一般撮影・CT・MRI等の研修を行う。

### 3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

### 4. レントゲン週間に放射線展ならびに市民公開講座の開催

日本診療放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』・『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

### 5. 特別企画の実施

公益法人設立記念式典・祝賀会の開催、危険予知トレーニング研修会の開催

### 6. 地域研修会の実施

6地域（鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域）研修会を理事会の企画において開催する。会員、非会員に限らず出席を可能とし、会員増加の促進を図る。

### 7. 学術大会の実施

学術大会は春季と秋季に開催している。春季は鹿児島市開催、秋季は各地域の持ち回りで企画・開催しているが、平成26年度は大隅地域で開催する。各地域の持ち回りで開催することにより、地域間の協力体制の強化を図る。

## 8. 各研究会の実施

消化管研究会、放射線治療研究会、CT研究会、MR研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行い、CT研究会、MRI研究会に関しては隔年毎に各支部の持ち回りで開催できるよう企画する。さらに新たな研究会の発足を計画する。

## 9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

## 10. 第3回女性診療放射線技師の集い

鹿児島県内の女性診療放射線技師が集い研修会を行う。今年度は3回目の開催予定である。

## 11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。また各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。また、メールアドレス、ファックス番号を公開し、公益社団法人として一般市民からの問い合わせに応じる体制作りを考える。

## 12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益社団法人としての社会的役割を果たす。

- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしまリレーウォークに参加。パネル展示、放射線相談、骨密度測定等で協力予定。
- ・第31回市民健康まつり

今年度は従来通りブースを設定して診療放射線技師会並びに診療放射線技師の啓発活動を行う。超音波による骨密度測定も予定する。

## 13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席する。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示していく。

**14. 地域保健協力事業**

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間救急センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

**15. 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会規程集の発行**

定款やその他規程をまとめた規程集を発行する。

**16. その他の事業**

環境測定事業	環境測定を放射線管理士部会の組織下に置き、事業の見直しを検討する。各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を2回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。編集委員を設置し内容の充実を図るとともに表紙デザインの変更を検討する。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。
関連団体との連携	公益社団法人日本診療放射線技師会や関連団体と協力し、歩調を合わせて進むことにより連携を強化していく。

**公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会**  
**平成26年度収支予算書(案)**

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

**I. 一般正味財産増減の部**

**1. 経常増減の部**

(単位:円)

経常収益	前年度予算額			予算額			増減	備考
	公益目的	法人会計	費用計	公益目的	法人会計	費用計		
受取会費	1,923,000	1,282,000	3,205,000	2,103,600	1,402,400	3,506,000	301,000	
正会員会費	1,911,000	1,274,000	3,185,000	2,091,600	1,394,400	3,486,000	301,000	70歳以上除外
準会員会費	12,000	8,000	20,000	12,000	8,000	20,000	0	1社
事業収益	840,000	0	840,000	770,000	0	750,000	△ 90,000	
研修会会費収入	30,000	0	30,000	50,000	0	30,000	0	研修会・研究会
広告収入	450,000	0	450,000	360,000	0	360,000	△ 90,000	12社×30000円
環境測定事業収入	360,000	0	360,000	360,000	0	360,000	0	
業務委託費	60,000	0	60,000	60,000	0	60,000	0	
日本放射線技師会業務委託費	60,000	0	60,000	60,000	0	60,000	0	
受取負担金	292,000	0	292,000	292,000	0	292,000	0	
市医師会負担金	292,000	0	292,000	292,000	0	292,000	0	
雑収益	160,000	0	160,000	160,000	0	160,000	0	
受取利息	10,000	0	10,000	10,000	0	10,000	0	
雑収益	150,000	0	150,000	150,000	0	150,000	0	
	3,275,000	1,282,000	4,557,000	3,385,600	1,402,400	4,768,000	211,000	

経常費用	公益目的	法人会計		公益目的	法人会計		増減	備考
事業費 会議費	0		0	0		0	0	
旅費交通費	420,000		420,000	450,000		450,000	30,000	
通信運搬費	275,000		275,000	250,000		250,000	△ 25,000	
消耗什器備品費	200,000		200,000	200,000		200,000	0	
消耗品費	135,000		135,000	120,000		120,000	△ 15,000	
修繕費	30,000		30,000	20,000		20,000	△ 10,000	
印刷製本費	620,000		620,000	600,000		600,000	△ 20,000	
燃料費	30,000		30,000	20,000		20,000	△ 10,000	
光熱水料費	95,000		95,000	42,000		42,000	△ 53,000	
賃借料	200,000		200,000	250,000		250,000	50,000	
保険料	10,000		10,000	10,000		10,000	0	
諸謝金	680,000		680,000	800,000		800,000	120,000	
租税公課	50,000		50,000	50,000		50,000	0	
雑費	180,000		180,000	150,000		150,000	△ 30,000	
減価償却費	360,000		360,000	830,000		830,000	470,000	
管理費 会議費		80,000	80,000		100,000	100,000	20,000	
旅費交通費		160,000	160,000		250,000	250,000	90,000	
通信運搬費		65,000	65,000		45,000	45,000	△ 20,000	
消耗什器備品費		100,000	100,000		80,000	80,000	△ 20,000	
消耗品費		42,000	42,000		40,000	40,000	△ 2,000	
修繕費		50,000	50,000		30,000	30,000	△ 20,000	
印刷製本費		120,000	120,000		100,000	100,000	△ 20,000	
燃料費		20,000	20,000		20,000	20,000	0	
光熱水料費		45,000	45,000		28,000	28,000	△ 17,000	
賃借料		18,000	18,000		15,000	15,000	△ 3,000	
保険料		73,000	73,000		73,000	73,000	0	
諸謝金		80,000	80,000		300,000	300,000	220,000	
租税公課		76,000	76,000		83,000	83,000	7,000	
雑費		160,000	160,000		100,000	100,000	△ 60,000	
減価償却費		660,000	660,000		190,000	190,000	△ 470,000	
	3,285,000	1,749,000	5,034,000	3,792,000	1,454,000	5,246,000	212,000	

## 2. 経常外増減の部

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 477,000		△ 478,000	△ 1,000
基本財産評価損益等				0
特定資産評価損益等				0
投資有価証券評価損益等				0
評価損益等計	0		0	0
当期経常増減額	△ 477,000		△ 478,000	△ 1,000
				0
(1) 経常外収益				0
中科目別記載				0
経常外収益計	0		0	0
(2) 経常外費用				0
中科目別記載				0
経常外費用計	0		0	0
当期経常外増減額	0		0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	△ 477,000		△ 478,000	△ 1,000
一般正味財産期首残高	29,650,000		29,256,000	△ 394,000
一般正味財産期末残高	29,173,000		28,778,000	△ 395,000
				0
受取補助金等				0
・ ・ ・ ・ ・				0
一般正味財産への振替額				0
当期指定正味財産増減額	0		0	0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高	0		0	0
	29,173,000		28,778,000	△ 395,000

# ☆会員からの投稿

## 愛車ポルシェ 1977年 911S

県立北薩病院

出水田 尚文

車好きな人は皆さんの中にも沢山おられることだと思います。

そこで、元来バイク好きの小生がそれほど車好きでも無いのに車道楽になりこの場をお借りして愛車ポルシェを紹介することに、少しの躊躇いを覚えながら投稿することになりました。そのことを承知していただいて、笑読して頂けたら幸いです。

(※ちなみに所有車は4台(ポルシェ 1977年 911S, 2006年レガシイ 2000GT スペック B, ヴァイオ R XR 5速マニュアル, H11年ムーブターボ(嫁) 全て古いですが・・・一流のエンジニア『小生の友人です』によりフルメンテナンスされていて全て良好な状態をキープしています。)

先ず、ポルシェの歴史について知識を記述します。

ポルシェ 911 シリーズは、356 から受け継がれた名称であり 911 シリーズには TYPE930, 964, 993, 996, 997, 現在 2012 年から 991 シリーズと変遷しています。

デビュー当時、901 と呼ばれていた同名称をプジョーが登録済みだったため、その後 911 に改称(1963年) RR レイアウトを 356 から受け継ぎ 2L フラット 6 エンジンを搭載した。1965 年本格的に販売スタートし総アルミクランクケース、ドライサンプなど、高度な技術を導入した。その時の性能は 1991cc・130PS・17.8kg・m。何? たったの 130PS と嘆かれる車好きの貴方! たぶん随分と間違った感性の持ち主かも知れません。

というのもカタログ等に記載されている性能曲線を理解してもらえる方は特に問題ないと思います。

小生の所有する 1977 年製の黄色 911S は 180PS です。車重は 1100Kg です。別に所有するレガシイ 2000GT スペック B は 260PS で車重 1500Kg, 単位車重当たりの値は両者さほど変わりませんが・・・・ポルシェは 4000 回転~5000 回転にかけての吹き上がり感は何とも形容できない G を感じる爽快感を覚えませぬ。休日に霧島ロードで乾いた音を鳴り響かせ至福の時間に浸りながら過ぎゆく時間を心行くまで満喫するのは実に最高です。6 気筒水平対向エンジンで空冷独特の金属音? 4000 回転~5000 回転にかけての吹き上がりは腹一杯最高です。逆に、不満とまでは言えませんが 2700cc のエンジンなのに 2 人しか乗れな

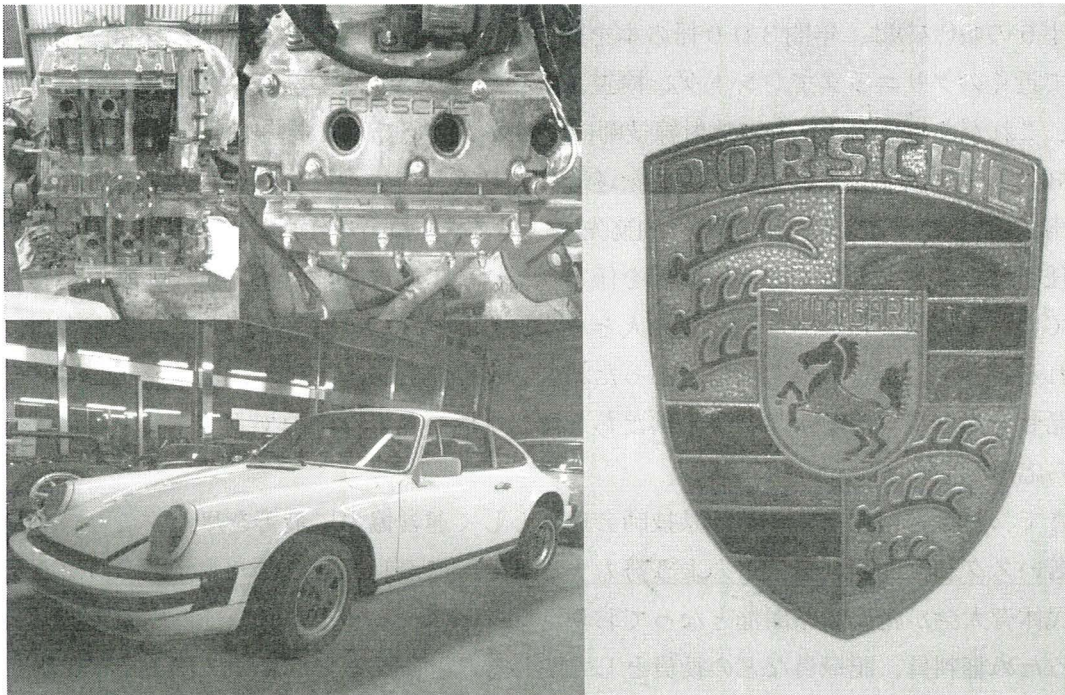
い室内空間には時に腹立ちます。乗り心地をうまく表現できないもどかしさはありますが！結構楽しいです？とでも表現しておきます。

月並みに誰もが興味津々なのは、燃費と予算だと思います。燃費の方は通常で6～8 km/L位ですかね（レストア後 2500km/5ヶ月走行）。予算の方は公開しかねますが・・・そんなに安くもないし高くもないし・・・これをポルシェ獲得予算と表示します。

ちなみに今回のポルシェ完成までエンジン購入からエンジン完全レストア、全面塗装、各部の部分レストアまで15ヶ月を要して現在に至っています。

出会いがあつてきっかけがあつてその気になって調子にのって少し高価なおもちゃを手にしたのです。心残りはあとひとつ！どうやって残金を払うか？逃げるか？不安も顔を覗かせる今日この頃です。

せめて、あと1年間は所有できればと・・・考えています



## 個人的な話題～9年目の続報～

【南薩地域】菊野病院 野中康博

平成17年9月の会報102号投稿「個人的な話題」から9年。投稿理由はさだかではありませんが、レントゲン博士によるX線発見100年目に授かった子供の命名、JART情報「Network Now」掲載のレントゲン週間マスコットの愛称が“れんと君”に決まったという記事に絡んだ投稿だった気がします。

9年前の投稿当時、小学3年生と1年生の長男と二男は共に高校生。3歳だった娘は小学6年生になりました。命名した「蓮人、巖、康美」は「レントゲン休み」として覚えられてしまう... というような内容でご記憶の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

平成26年度を迎え、高3の長男(レト)は、希望進路と自身の成績を比べながら、今さらながらではありますが勉強不足を実感、自ら招いた“狭き進路選択”と格闘中。資格を活かした職に就きたいと考えているようです。

高1の二男(ゲン)は、念願の高校球児と化し、部活中心の毎日。甲子園というテッペン目指し白球を追う日々... 将来は野球の指導者になりたいと夢を膨らませています。まずは授業前の朝補習、部活を理由に遅刻やサボりをせず、根性を見せてほしいと思います。

小6の娘(ヤス)は、年間300冊の本を読覇する超読書好きでおとなしい性格。先般、ケガで近くのクリニックでレントゲン検査、撮っていただいたのが女性技師だったことに感激、これがキッカケで密かに放射線技師になる夢を抱いています。

3人の子供たちはそれなりに成長を遂げているようです。その間、私かというと技師会で南薩地域(旧南薩支部)を任され、勤務先では部署や委員会を任され、学校ではPTA会長を任され、スポーツ少年団では監督を任され... 子供の成長と共に貴重な経験、勉強をさせていただきました。もうすぐ社会人となる長男もやがては家庭を持ち、仕事と育児に追われることでしょう。あんな頃があったね、こんな頃もあったね... と、懐かしく、楽しく話せることが理想です。普段子供たちとは話す機会が少ないのですが、父ちゃんは遠くから応援しています。

さて、私自身の今後ですが、県技師会理事として運営協力に最善を尽くすこと、勤務では若いスタッフに遅れをとらぬよう努力すること、ほか私的ではありますが2020年の国民体育大会が鹿児島県開催となっており、ソフトボール競技においては南薩地区で行われるため審判員、記録員などの役員として関わることになっています。国のイベントに関われるとは名誉なこと、今から準備・運営に忙しくなるのではと覚悟しています。

役務上、南薩地域の研修会案内や報告、地域情報・紹介などの投稿はありますが、別件での投稿は9年ぶり2回目ではないのでしょうか。今後各地域から会報誌上に様々なネタ(趣味、家庭の出来事、スポーツ、地域の行事、美味しいお店など)が掲載され、読者に親しまれる会報になればいいですね。今後の各地域会員投稿に期待します。

(平成26年8月某日記)

## ～ 個人的な話題 ～

JART情報「Network Now」No. 355号に掲載されていましたレントゲン週間マスコットの愛称が“れんと君”に決まったという記事が掲載されていました。

私、結婚して今年でちょうど10年を迎えますが、思いおこせばアッという間の10年でした。平成7年5月に結婚、時代はレントゲン博士によるX線発見100年記念の節目を迎えた年だった。これも何かの縁と思いつつ、家内は同年第一子をめでたく妊娠、翌年には長男が誕生しました。

X線発見100年目に結婚した記念(?)にと、「蓮人」と命名。“レント”と読むが、漢字は私の両親が考えたものである。2年後第二子・次男誕生、迷わず「厳」と命名。“ゲン”と読むが、これも漢字は両親が考えた。二人合わせてレント・ゲン。

その数年後、第三子・長女誕生。このあたりになると、さすがに周囲から次の名前は何だろう?.....と期待と注目をされながらも、慌てず「康美」と命名。“やすみ”と読むが、私の両親の名前「美輝」「康子」から一文字ずつ取って名付けたものだ。私の名前「康博」も母の名前から一文字とって付けられた。

しかし、世間はそう甘くなかった！ 3人の子供たちの名前をつなげると「蓮人・厳・康美..... レントゲン休み」になる。覚えやすいことも講じて、いい事も悪い事もすぐ名前を覚えられてしまいそうだが、今は何かと重宝されることが多い。子供たちはそんなことにまったく関係なく毎日元気で走り回っている。元気な子供たちを産んでくれた家内に感謝、漢字を考えてくれた両親に感謝、名付けを期待する周囲の皆様に感謝。

長男レントは小学3年生、次男ゲンは1年生、愛娘ヤスミは3歳だ。今回、JART情報「Network Now」の記事を見て、他人事とは思えず、非常に身近な話題と感じています。

「もし第一子、第二子が女の子だったら.....」

「もし放射線技師でなかったら.....」

「もしX線発見100年目の結婚ではなかったら.....」

と、ふと思うのでありますが、マスコット・れんと君には全国区で思いっきりがんばってほしいと思います。さらに弟が誕生するようなことがあれば、ぜひ御一報ください。

平成17年8月某日「個人的な話題」より..... おわり。

## 「 神話の里、霧島の神々について 」

大隅地域理事 島見 末治

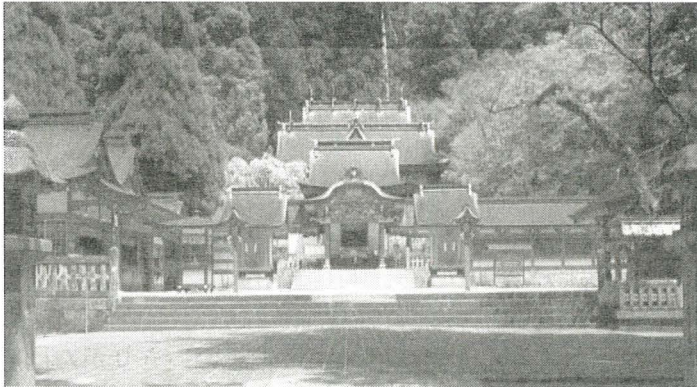
私の家内の実家は加治木町小山田にあり帰省時、作物の収穫の手伝いや川で魚釣り等、のんびり過ごすのが好きです。また、霧島神宮参拝や温泉巡りに行きますが、最近パワースポットを求め霧島神宮や山神社で参拝する回数が多くなっています。参拝する習慣は、老若男女を問わず年始参りや苦しい時の神頼みといった何かのイベントに対する願い事の対象として根付いています。

さて、その願い事を叶えてくれる神宮とはどのようなものかご存じでしょうか。神宮という名前の通り神様がおいでになる所ですが正しくは神様のみたま(魂)が祭られている所です。また、鹿兒島には三大山稜として川内の可愛山稜、溝辺の高屋山上稜、鹿屋の吾平山上稜があります。山稜は、神様の墓としてその身体が祭られ高い山に塚という形で存在します。可愛山稜は邇邇芸命(ニニギノミコト)の御陵でそのみたま(魂)は霧島神宮にあり、高屋山上稜は彦火火出見尊(ヒコホホデミノミコト)の御陵でみたま(魂)は鹿兒島神宮、吾平山上稜は鵜葺草葺不合命(ウガヤフキアエズノミコト)の御陵でみたま(魂)は鶴戸神宮にあります。つまり、神様は魂と御身体が別々に祭られているわけです。ちなみに終戦後から山稜は宮内庁、神社は神社本庁の管轄です。

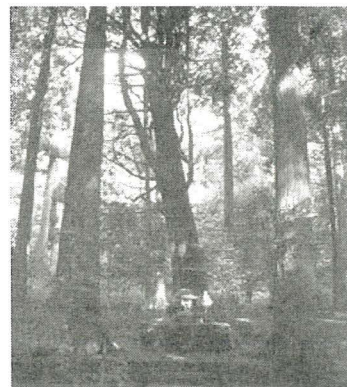
神の国の歴史を追ってみますと天照大神(アマテラスオオミカミ)が邇邇芸命(ニニギノミコト)に国を治めるようにと命じ高千穂の峰に降り立った事が始まりとされています。邇邇芸命(ニニギノミコト)の息子が彦火火出見尊(ヒコホホデミノミコト)、その息子が鵜葺草葺不合命(ウガヤフキアエズノミコト)でさらにその息子が初代天皇の神武天皇で、皇族の祖先が神様だという事になります。尚、高屋山上稜は溝辺に在りますが彦火火出見尊(ヒコホホデミノミコト)が豊玉姫(トヨタマヒメ)と見合をしてみそめられた事からみそめ、溝辺という地名になったという言い伝えもあります。

神様の存在に対する日本人の信心は独得のもので私達の心は深いところでは神仏に支えられているという人間の本能でしょうか。神宮での参拝時には、願いごとをする前に神様の名前を唱えるとご利益も強くなるかもしれませんので皆様も是非試してみてください。

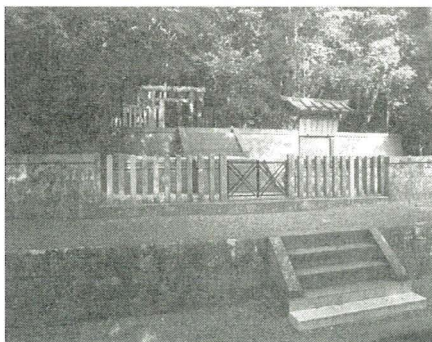
次回、機会あれば霧島温泉巡り放浪記を掲載したいと考えています。



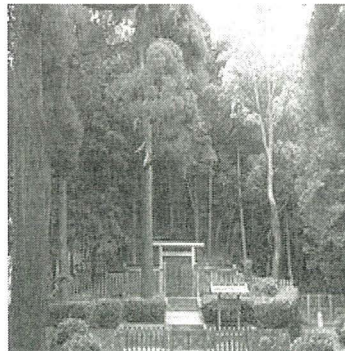
霧島神宮



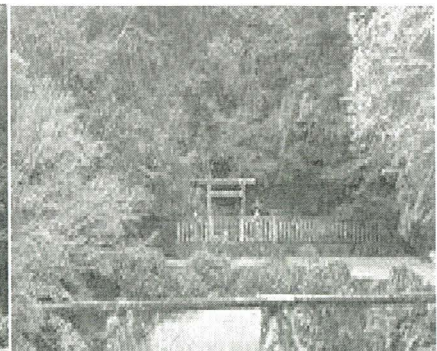
山神社



可愛山稜



高屋山上稜



吾平山上稜

## 「3人のそれぞれの戦い」

川内市医師会立市民病院 医療技術部放射線課 前田健一郎

7月ももうすぐ終わり。ただいま子供たちは、夏休み真っ只中。中学3年の長男は、先日部活動で最後の大会を終え、受験モードに突入。中学1年の長女は部活動に精を出し、毎日が熱中症との戦い。小学4年の次女もスポーツ少年団で汗を流している。こんな光景を見ると、30年程前自分もこんな感じだったのかと懐かしく思う。

もともと長男は、スポーツとは無縁の世界にいる小学生だったのだが、なぜか中学に入学すると部活動をやりたいと言ってきた。数ある部活動の中で彼が選択したのが柔道であった。体格は良い方だったので彼の選択は正しいと思った。入部して1カ月。早くも試合に出るチャンスをもたらした。対戦相手は、180cm、130kgの黒帯。結果は言うまでもなく、一瞬で終わった。それから2年。彼なりに努力を重ね、黒帯を着けるまでに成長した。決して上手いわけでも、強いわけでもない。でも私は彼を誉めてやりたいと思う。

中学1年の長女も兄同様、スポーツが得意な方ではないが、小学生の時に友達に誘われ、バスケットボールを始めた。小学生の時、試合に出てもなかなかゴールを決めることが出来ずにいたのだが、初めてゴールを決めた瞬間、とても感動したのを覚えている。中学1年生となって先輩、後輩という上下関係をひしひしと感じてきたのだろうが、3年生が卒部し、いよいよ彼女たちの本当の戦いが始まる。卒部する時にやりきったと思えるように、チームメイトと切磋琢磨して頑張ってもらいたい。

小学4年生の次女もバスケットボールクラブに入部しており、もともと長女よりも先に始めた。3人の中で最もスポーツに向いているのが彼女ではないかと思っている。しかし、末っ子ということが影響しているか定かではないが、気持ちに斑があり、一筋縄ではいかない。彼女をその気にさせるのも親の役目という感じである。来年からは、おそらくチームの中心選手としてやらなければいけない立場にある。それを感じ取っているのか、最近になりようやくやる気が出てきた感じである。この調子で頑張ってもらいたい。

子供たちがスポーツを始める前、試合や練習などで送迎したりするのが大変だよ、という話を聞いたことがあった。現在、週末になると、彼らの練習や合宿、試合の送迎や応援に追われる日々が続く。まさか自分がこんなことになるうとは夢にも思わなかった。しかし彼らの一生懸命な姿を見ていると、胸が熱くなり、涙がこぼれそうになる。親バカと言われても致し方ないと思うが、今後も彼らを見守りつつ、感動を味わっていきたいと思う。

## 『娘とのふれあい』

霧島市立医師会医療センター

佐々木 崇

最近、毎週休みの日に4歳になった長女と自転車の練習をする事が楽しみの一つです。最初のうちはペダルの漕ぎ方すら分からなかったのですが、最近では漕ぎながらカーブを曲がれるところまで出来るようになり成長している事を実感しています。

問題と言えばどんなに暑くても「練習するの」と言いつついつでも続けるため、先に私の体力が尽きる事でしょうか。

秋には幼稚園の運動会もあるので体力作りでもしようかなあと考えている今日この頃です。

## 女性技師として

奄美中央病院 放射線部

池野 綾香

私は新卒技師として奄美中央病院に入職し、2年目を迎えました。まだまだ未熟者の私は、周りの先輩技師や多職種のスタッフからアドバイスを受けて日々の業務に就いています。

所属する奄美医療生協では、初の女性技師入職ということもあり、入職当初は、女性技師という存在に期待と感謝の意を周囲から伝えられ、女性技師の存在、ましてや奄美大島という離島での認知度の低さを実感しました。

ある日、検査終了後の患者様からの言葉です。「検査を受けるのは不安だけど、女の先生だったから安心して検査を受けることができました。よかったです。」と言われた事が印象に残っています。被検者にとって慣れない環境のもと、少しでも検査に対する不安感が無くなる事、そういう意味では、女性技師の必要性、存在意義というのを肌で感じました。

今後の目標としては、検診マンモグラフィ撮影認定資格取得をはじめ、業務に関わる技術力や読影力といった質の向上、安心して検査を受けてもらえるような心配りが利用者への貢献へと繋がり、多職種連携によるチーム医療スタッフの一員として一層邁進していきます。そして、離島医療を支える技師として関わっていければと感じています。

## 県技師会にかかわり 10年目を迎えて

鹿児島大学医学部歯学部附属病院  
臨床技術部 放射線部門  
坂下 周一郎

まずは、この場を借りて会員の皆様にお礼申し上げたい。去る平成26年6月21日、鹿児島県診療放射線技師会公益社団法人移行1周年記念式典において、表彰を受けた事真に感謝申し上げます。ひとえに、県理事、鹿児島地域世話人並びに会員皆様のご協力あつてのことだと思っております。ありがとうございました。表彰の場で、ご挨拶できませんでしたのでこの場を借りて少しばかり、わたくしの人となりをお話させていただきます。

74年3月宮崎県小林市に生をうけ、小中高と地元で過ごし大学は鈴鹿医療科学技術大学 保健衛生学部診療放射線技術科学科（入学時はこんな長い名前でした。履歴書書くの大変でした）に進みました。なぜ鈴鹿かというと、父も放射線技師で、技師会で大学つくったぞ、これからは放射線技師も大学の時代だと熱く語っていました。当時、大学は藤田と鈴鹿の2校だけでした。また、バブル経済がはじけて、これからは資格の時代だと高校の進路指導の先生も言っていたような……。そんな環境、時代背景もあり、鈴鹿に進学しました。（でも今振り返ると動機は別にあつたような……。聞きたい方は懇親会でも）。さて、問題です。鈴鹿は何県？ 県の県庁所在地は？

学生時代は、九州というだけで、パスポートは？お酒強いんでしょ？と言われ、佐賀と宮崎どっちが上と、佐賀出身者に喧嘩売られ、1994年10月8日決戦で中日が巨人に敗れて、ドラキチへ変身（元々カープファン）。1995年1月17日、徹夜で放射線計測学のレポート作成中に、阪神淡路大震災体験。1995年3月20日友人を地元で迎えて春休み中に地下鉄サリン事件発生。遊びに行く場所場所で名古屋ナンバーだったので職質を受けてました。出席率（いろいろ裏工作やりました）はよかったが成績はいまいち。一年生で化学留年、国家試験の受験番号は、数名で離れ番号、いわゆる願書ぎりぎり組。就職は大人の事情で鹿児島へ、当時の理事長中村實氏は、講演のたびに、皆さんがあるのは日本放射線技師会会員様の多大なるご寄付のおかげです。皆さんは無事就職できた暁にはその御恩を少しでもお返しくださいと、聞かされてました。鹿児島にきて早20年、運命の人に出会い、一男一女に恵まれ、一応一国一城の主となり、その御恩に少しでも報えればと現在に至っています。また後輩たちもその精神を受け継ぎがんばっていることをとても誇りに思っています。

最後に、私はワンピースの世界観がとても好きだ。同じ理想を掲げた者同士が集まることではなく、意見、立場は違えど上下関係のないフラットな関係性である。職場組織では、上意下達のピラミッド型縦社会であり、何とも居心地の悪いものです。ぜひとも、鹿児島県技師会では、縦型の組織に若い世代求める横の関係を接続し調和させ、居心地のいい組織にしていきたい。

いま船長はルフィと言うより、白ひげ（見た目ですよ）タイプですが、会員皆さん、ひとつなぎの大秘宝（＝県技師会のさらなる発展）を目指して、今後とも技師会参加、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

『私の超音波との出会い』

社会医療法人 博愛会  
相良病院附属 ブレストセンター  
画像検査部  
原口織歌

技師になって三年目、私の技師としての意識を変える大きな出会いがあった。専門学校卒業後、消化器・循環器メインの病院に勤め、一般撮影・超音波を主に業務を行っていた。病院の流れとして超音波検査、精査としてCTやMRI検査へと進んでいくこともあり、当時の私の超音波検査はスクリーニングという考えが強かった。ある患者が胆嚢ポリープ疑いで超音波、MRCPを施行。MRI結果を聞きに読影した放射線科医を訪ねると、「胆嚢は超音波の方がよくわかるからあなたの所見を参考にしたよ」とおっしゃった。超音波を始めてまだ二年程で知識も経験も少なく、超音波検査への意識も低かった私の検査所見を信頼してくれたと思うと、嬉しさよりも“もっと一生懸命頑張らないと”という思いが強くなった。それまでのスクリーニング検査に対する浅慮を反省し、同時に精査として誰にでも信頼される検査ができるようになりたいと思った。それが超音波を“したい”と思ったきっかけだった。

しばらくして、少人数での超音波ハンズオンレクチャーに参加することになった。その時の指導者の放射線技師との出会いは私が思っていた超音波の限界を変えた。消化管はガスで見えない、膵尾部はほとんど描出できないと思っていた。そこではガスは動くものだから邪魔なものは動かせばいい、膵尾部はいろんな工夫をすれば描出できると。その時初めて超音波で膵臓の全貌をきれいに描出できるのを見て感動したのを今でも覚えている。それから超音波ではなんでも見えるかもしれないという姿勢で検査に挑んでいる。

それまで何気なく業務をこなしていただけの私を動かしてくれた出会いに感謝している。現在は、多様な画像検査の中で病理所見に一番近い情報が得られるのは超音波だと考え、より理解を深めるために、病理診断まで施設内で行っている病院で勤務している。超音波検査は撮像するだけでなく、技師が観察し判断する唯一の検査で、こんなにやりがいがあるものはない。やりがいと同時に責任も大きいことを感じながら、日々の検査や自己研鑽に励んでいる。

## 会計だより

### ・26年度会費納入に関するお願い

本年も鹿児島県診療放射線技師会においては、日本診療放射線技師会費との合算請求をすることになっております。

本年度の会費請求者リストはすでに昨年度末 JART 宛てに送付済みですが、年度末に会費を納入された方は行き違いで昨年度分会費が未納扱いになっている可能性がありますことをあらかじめご了承くださいますと共にご不明な点等がございましたらご連絡をお願いいたします。

つきましては会費納入は決められた期限内（平成26年9月29日）に納入していただきますようお願いいたします。

### ・会費免除に関する規定について

鹿児島県診療放射線技師会では公益法人移行を機に所管課の指導の下、諸規定の見直しを理事を中心として行ってまいりました。

とりわけ会費納入に関する規定の中の会費免除に関する規定においては平成17年5月に制定されております（社）鹿児島県放射線技師会の会費免除に関する規定のなかで

（終身会員資格取得者の免除）

第5条 35年以上本会会員であり、満70歳に達した者は、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費を終身にわたって免除されるものとする。

との条項があります。

本年度よりこの規定を見直し、本人よりの申請がなくても満70歳に達した会員の翌年度以降の会費を免除する旨の条項へと変更する方針となりました。

また事務的手続きを簡素化するためにも九州地域放射線技師会費についても同様の方針で対処させていただくこととなりましたのでご周知のほどよろしくお願いいたします。

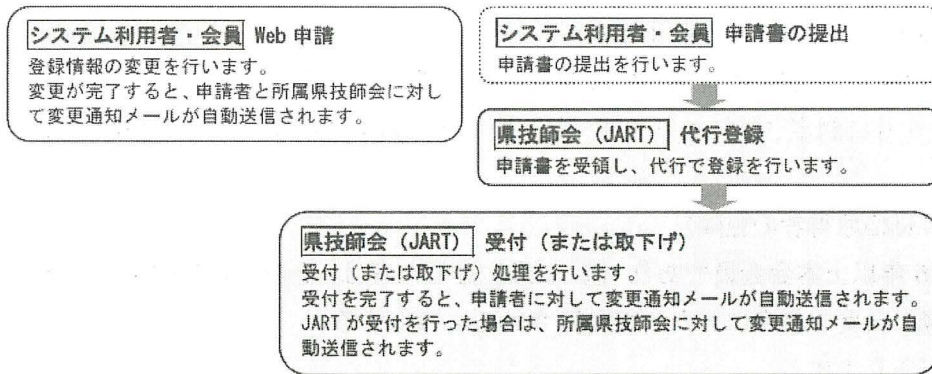
# 会員情報の変更、会費免除申請、転入・転出（所属技師会の変更）の方法

\*JART 会員情報システムを使用して Web で申請できるもののみ紹介しております  
 \*詳細につきましては JART にお問い合わせください

## I. 会員情報の変更（氏名、住所、勤務先など）

\*県技師会理事が代行する方法もありますが、できるだけご自分で登録変更されることをお勧めします。

システムを利用した業務の流れは、下記のとおりです。



①

会員向けシステムにログインし、マイページ画面を表示します。

① ユーザ情報の「ご登録情報を確認・変更する」メニューを選択する。

メニュー名	説明
① ユーザ情報のご登録情報	個人情報を確認・変更するためのメニューです。氏名・住所・勤務先・資格取得状況などの登録情報を確認・変更することができます。登録情報の変更は、JART 事務局に届いた後、自動的にシステム上で更新されます。
パスワードのご変更	パスワードを再入力して変更することができます。
受講要請・イベント登録のお申込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講要請：セミナー・研修会などの受講要請を行うことができます。</li> <li>イベント登録：セミナー・研修会などのイベントに参加するための登録を行うことができます。</li> </ul>
資格申請	資格取得状況を確認・更新するためのメニューです。資格取得状況を確認・更新することができます。
お問い合わせ	お問い合わせフォームからお問い合わせを行うことができます。

②

「登録情報の確認・変更メニュー」画面が表示されます。

① 利用者情報の「変更」をクリックする。

※ここでは、利用者情報の変更を例に挙げます。

③

「登録情報変更」画面が表示されます。

① 登録情報を変更する。

② 変更が終わったら、「次へ進む」をクリックする。

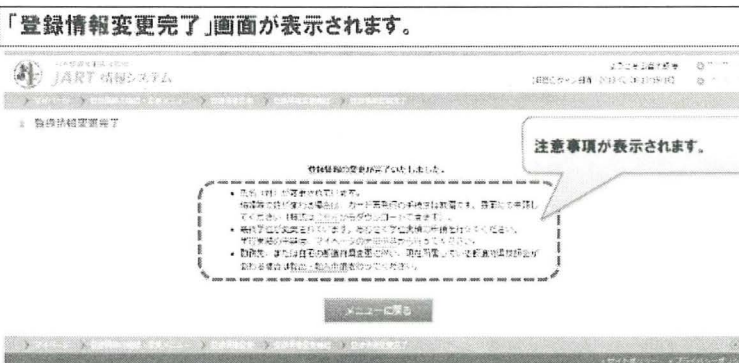
\*記入漏れがある場合は次に進みません。

④

「登録情報変更確認」画面が表示されます。

① 変更内容を確認し、②「変更する」をクリックする。

⑤



## II. 会費免除申請

(長期療養、出産育児、介護、海外勤務、永年勤続表彰(30年)受賞による会費  
終身免除申請、会費一部免除申請)

会員によるWeb申請が可能な申請は、下記のとおりです。

Web申請メニュー	会費等納入規定	対象者	年会費	免除期間	確証
休職のための 会費免除申請	第6条 長期療養者 等の免除	・長期療養により、1年以上の職場休職を余儀なくされた場合 ・療養のため1年以上離職した者	全額免除	1~2年	休職証明 (紙)
	第11条 その他の免除	出産・育児・介護・海外勤務による場合	全額免除	1年	休職証明 (紙)
永年勤続表彰 (30年)受賞による 会費終身 免除申請	第8条 会費の終身 免除	25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であった者で55歳以上の会員(申請時に、本会に100,000円を納付する)	全額免除	終身	不要
会費一部免除 申請	第11条 その他の免除	住所を一にする親族に、本会が発行する刊行物を購読する会員がいる場合(刊行物の送付停止)	一部免除	1年	不要

①

**会員向けシステムにログインし、マイページ画面を表示します。**  
**① 各種申請の「会費の免除を申請する」メニューを選択する。**

The screenshot shows the JART member portal. Under the '各種申請' (Various Applications) section, the option '会費の免除を申請する' (Apply for fee exemption) is highlighted with a red box and a circled '1'.

②

**会費免除申請メニューが表示されます。**  
**① 「休職のための会費免除申請」メニューを選択する。**  
**※ここでは、「休職のための会費免除申請」の場合を例に挙げます。**

The screenshot shows the '会費免除申請メニュー' (Fee Exemption Application Menu) page. The option '休職のための会費免除申請' (Apply for fee exemption due to leave) is highlighted with a red box and a circled '1'.

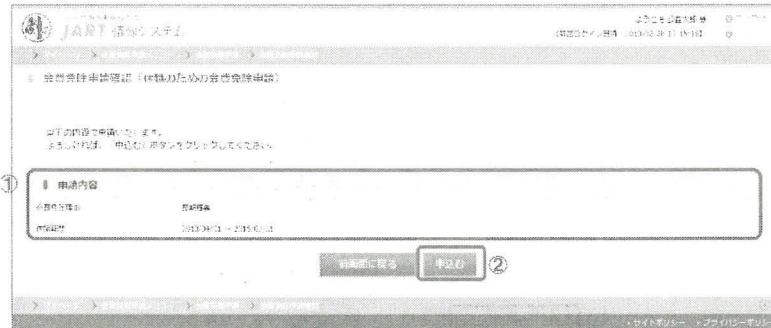
③

**「会費免除申請(休職のための会費免除申請)」画面が表示されます。**  
**① 必要事項を入力する。**  
**② 入力が終わったら、「次へ進む」をクリックする。**

The screenshot shows the '会費免除申請(休職のための会費免除申請)' form. The '申請内容' (Application Content) section is highlighted with a red box and a circled '1'. The '次へ進む' (Next) button is highlighted with a red box and a circled '2'.

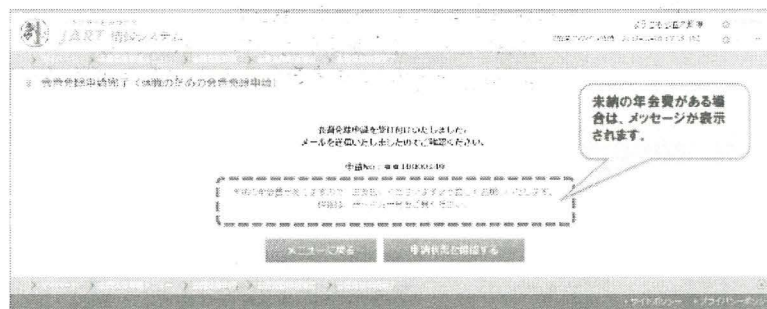
④

「会費免除申請確認(退職のための会費免除申請)」画面が表示されます。  
 ① 申請内容を確認し、②「申込む」をクリックする。



⑤

「会費免除申請完了(退職のための会費免除申請)」画面が表示されます。



※申請者に対して、受付通知メールが送信されます。

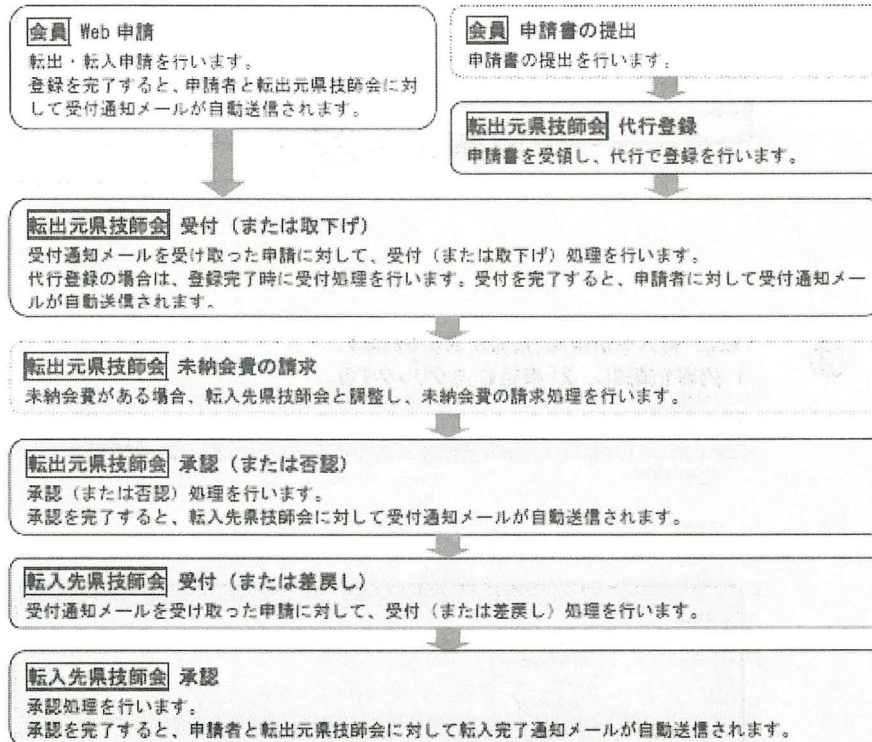
以上で、会員によるWeb申請の登録は完了です。

### Ⅲ. 転入・転出 (所属県技師会の変更)

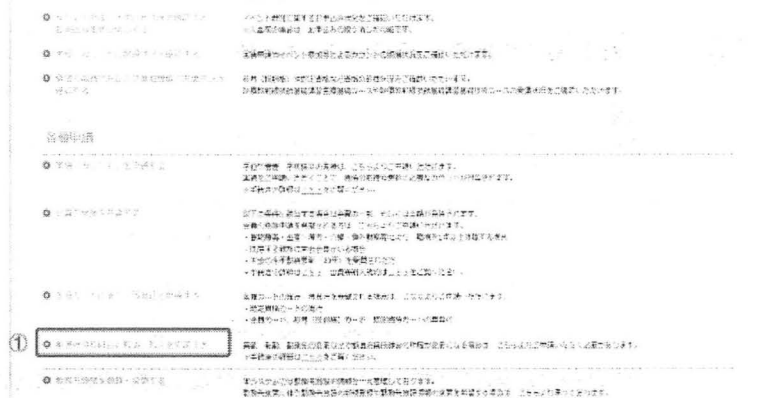
都道府県技師会の転出・転入申請を行います。

転入先の都道府県技師会の承認が完了するまでは転出元の所属となります。

システムを利用した業務の流れは、下記のとおりです。



① 会員向けシステムにログインし、マイページ画面を表示します。  
① 各種申請の「都道府県技師会の転出・転入を申請する」メニューを選択する。



②

「転出・転入申請」画面が表示されます。

① 必要事項を入力する。  
② 入力が終わったら、「次へ進む」をクリックする。

勤務先、自宅の登録内容が変更されると、受付時に会員情報に反映されます。

③

「転出・転入申請確認」画面が表示されます。

① 内容を確認し、②「申込む」をクリックする。

④

「転出・転入申請完了」画面が表示されます。

転出・転入申請を受け付けました。  
鹿児島県放射線技師会について転出元・転入先の確認を経て登録が完了となります。  
申請No: TS10000149  
完了までしばらくお待たせのお願いがあります。しばらくお待ちください。

※申請者と転出元県技師会に対して、受付通知メールが送信されます。

以上で、会員によるWeb申請の登録は完了です。

## 理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	池田 睦	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長	新村 栄次	今給黎総合病院	099-226-2211
監事	西元 広男		
監事	鮫嶋 宗俊		
表彰理事	大久保 光男	川内市医師会立市民病院	0996-22-1111
学術理事	藤崎 拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
学術理事	石本 裕二	公益財団法人福岡県すこやか健康事業団総合健診センター	0942-35-8195
学術理事	藤崎 誠	鹿児島共済会南風病院	099-226-9111
財務理事	中島 祐二	鹿児島大学病院	099-275-5664
福利厚生理事	原口 誠	JA厚生連健康管理センター	099-256-1133
編集・広報理事	平田 勝	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
編集・広報理事	齊藤 二郎	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	佐藤 洋一	鹿児島市立病院	099-224-2101
総務理事	瀬戸 和人	鹿児島市立病院	099-224-2101
総務理事	藤坂 智史	鹿児島大学病院	099-275-5664
鹿児島地域理事	坂下 周一郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
北薩地域理事	岡野 三男	丸田病院	0996-32-2263
霧島・始良地域理事	平賀 真雄	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島児 末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	田畑 一文	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
南薩地域理事	野中 康博	医療法人 菊野会 菊野病院	0993-56-1135

## 編集後記

楽しみにしていたサッカーワールドカップもあっという間に終わってしまいました。本来の力や形を出せないまま日本チームは1勝もできず、1次リーグ敗退となりました。これが本来の実力なのかもしれません、毎回上位で勝ち残っていたドイツの優勝、これが実力通りと言うものでしょうか。組織だった良いチームプレイを今回は数多く見せてくれたように思います。また、会員のみなさまのご協力により、公益法人化一周年記念事業も無事終わることができ、会報への寄稿文を募集したところ、8件もの投稿がありました。とても充実した内容となりました。編集委員として《感謝》の一言です。今後ともご協力、よろしくお願い申し上げます。

## 広告掲載一覧(順不同)

会社名	郵便番号	住所
株式会社 AZE	100-0005	東京都千代田区丸の内1丁目8番1号丸の内 トラストタワーN館13F
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル2F
富士フイルムRIファーマ株式会社 福岡支店	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル
株式会社メディソンアコマ西日本販売	812-0065	福岡市東区二又瀬新町13番17号
GEヘルスケアジャパン株式会社 鹿児島営業所	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4-35 KSC鴨池ビル3F
株式会社 八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5
南九州電子サービス株式会社 鹿児島営業所	890-0063	鹿児島市鴨池2丁目15-2
シーメンス・ジャパン 南九州 営業所/サービスオフィス	892-0823	鹿児島市住吉町12-11 鹿児島共同倉庫本社ビル1F
日本メジフィジックス株式会社 鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 (芙蓉ビル3F)
第一三共株式会社 鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル3F
株式会社ドクターネット	105-0012	東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル12階



smart Network Console  
ネットワーク型 読影診断コンソール

AZE Phoenix

# Lexus network

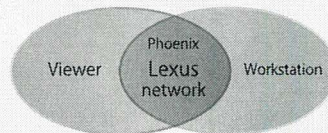
—— 次に来るもの ——

単なるビューワでもなくワークステーションでもない、斬新なコンセプトから生まれた

ネットワーク型 読影診断コンソール AZE Phoenix Lexus network

快適な読影とスピーディーな解析処理を融合させて

次なるステージを、この手に



株式会社 AZE 本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-1 丸の内トラストタワー N 館 13F TEL：03-3212-7721 FAX：03-3212-7722 URL：http://www.aze.co.jp/

lopamiron®  
lopamidol

非イオン性尿路・血管造影剤〈イオパミドール注射液〉

## イオパミロン®注

150 300 370 300シリンジ 370シリンジ

処方せん医薬品（注意—医師等の処方せんにより使用すること）

薬価基準収載

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む  
使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

本剤の商標は  イタリアの許諾に基づく



資料請求先  
バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
http://www.bayer.co.jp/byl

(2011年11月作成)

IOP-11-4012

# FUJIFILM

放射性医薬品/  
心交感神経診断薬・神経芽腫診断薬・褐色細胞腫診断薬  
処方せん医薬品<sup>(注)</sup>

## ミオ<sup>®</sup>MIBG-I123注射液

放薬基：3-ヨードベンジルグアニジン(<sup>123</sup>I)注射液 [薬価基準収載]

放射性医薬品/  
心臓疾患診断薬・心機能診断薬・副甲状腺疾患診断薬

毒薬<sup>(注)</sup>・処方せん医薬品<sup>(注)</sup> (※:「カーディオライト<sup>®</sup>第一」のみ)

## カーディオライト<sup>®</sup> 第一/注射液 第一

放薬基：ヘキサキス(2-メトキシイソブチルイソニトリル)テクネチウム(<sup>99m</sup>Tc)

注射液 調製用/注射液 [薬価基準収載]

放射性医薬品/  
心臓疾患診断薬・腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔)  
診断薬・副甲状腺疾患診断薬

処方せん医薬品<sup>(注)</sup>

## 塩化タリウム-Tl201注射液

日局：塩化タリウム(<sup>201</sup>Tl)注射液 [薬価基準収載]

(注)注意-医師等の処方せんにより使用すること

★「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等  
については添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム RIファーマ株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル  
ホームページ：<http://ri.fujifilm.co.jp>

TEL 03(5250)2620

バッテリー搭載式ポータブルX線装置

# PX-20BT

# Kenko

低床ベッド対応の回診用支持器

## PS-B10

回診用X線撮影装置 各社FPDシステム対応

## adore MX-1100H



画像診断機器・販売サービス 株式会社ケンコー・トキナー メディカルイメージング部製品販売店

株式会社 **メディソンアコマ** 西日本販売

〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町13番17号 TEL(092)621-0221 FAX(092)621-0225

<http://www.md-acoma.com> メール [info@md-acoma.com](mailto:info@md-acoma.com)

GE Healthcare

## 世界で最も、 高齢者の笑顔が 輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、  
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、いま求められています。  
例えば、自宅と医療が密接につながった安心できる仕組みを。  
年齢を重ねることによるリスクを、可能な限り低減できるテクノロジーを。  
高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、  
やさしい医療環境をサポートするために、  
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつづけます。

## Silver to Gold.

GEヘルスケア・ジャパン  
カスタマー・コールセンター 0120-202-021 [www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp)

healthymagination



GE imagination at work



HACHIGOU  
MEDICAL  
INSTRUMENT

おもいやりをたしかに

# 株式会社 八郷医療器

鹿児島市 小松原 一丁目 29-5

電話 : 099-268-0010

FAX : 099-267-7790

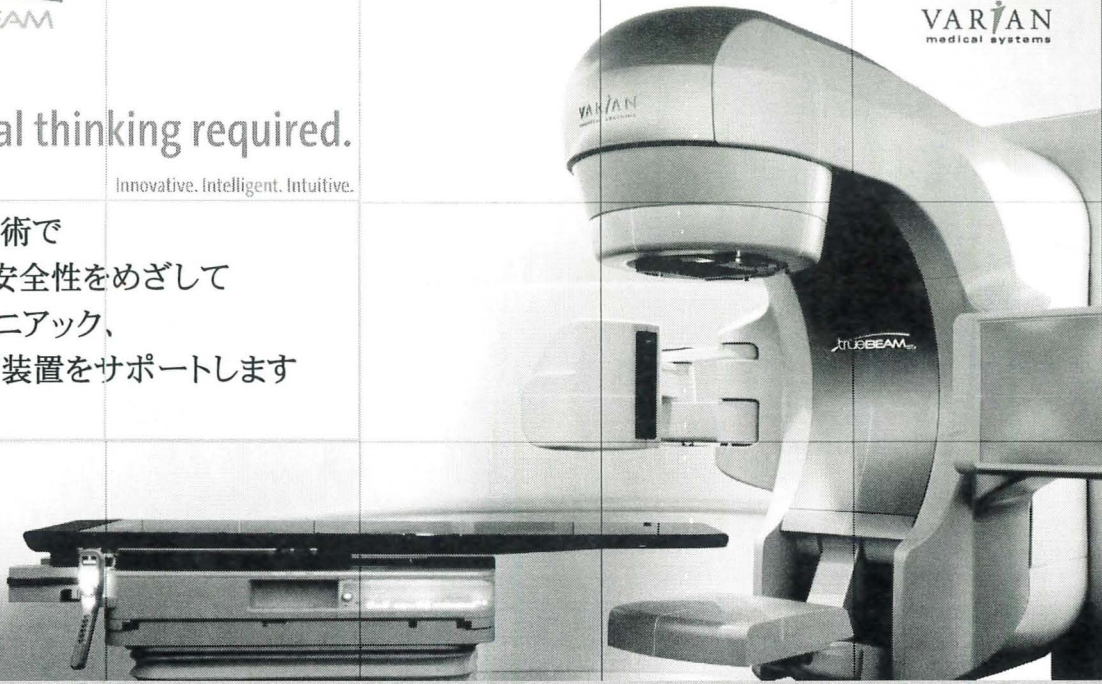
truoBEAM

VARIAN  
medical systems

Radical thinking required.

Innovative. Intelligent. Intuitive.

確かな技術で  
より高い安全性をめざして  
医療用リニアック、  
治療計画装置をサポートします



南九州電子サービス株式会社  
<http://www.mkds.co.jp>

宮崎本社 宮崎市広島1丁目1-10

TEL 0985-29-8371

鹿児島(営) 鹿児島市鴨池2丁目15-2

TEL 099-253-7397

SIEMENS

SIEMENS

SOMATOM  
Perspective

SOMATOM Perspective

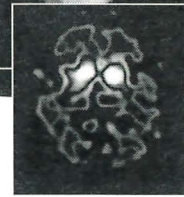
Answers for life.

## “時代が求めた新概念” 64スライスCT

シーメンスでは、常に必要な改良・開発を繰り返し、“最良な臨床結果”を得るためのソリューションを追求しています。昨今の多様化する医療環境に最適化することは重要であると考えており、数値スペックだけにとらわれず、適合性や優しさにもフォーカスしています。高性能なスキャンスペックを維持したまま、設置性や快適性・容易さを高め、さらに経済性も考慮した設計で、守備範囲を拡大したCTスキャナが登場しました。

[www.siemens.co.jp/healthcare/](http://www.siemens.co.jp/healthcare/)

# Are they the same?



処方せん医薬品<sup>※</sup>

放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

## ダットスキャン<sup>®</sup> 静注

放射性医薬品基準イオフルパン(<sup>123</sup>I)注射液

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

®: 登録商標

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

※写真はイメージであり、  
症例との関係はありません。

資料請求先



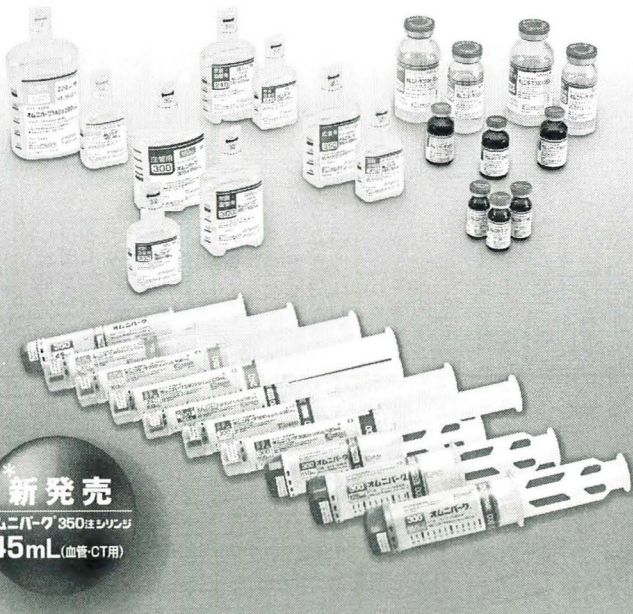
日本メジフィジクス株式会社

製品に関するお問い合わせ先

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 <http://www.nmp.co.jp/>

☎0120-07-6941

2013年12月作成



新発売

オムニパーク 350注シリンジ  
45mL (血管-CT用)

### 日本薬局方イオヘキソール注射液(バイアル製剤)

オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注100mL(血管用)

### イオヘキソール注(バイアル製剤)

オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク180注10mL(脳槽・脊髄用)  
オムニパーク240注10mL(脳槽・脊髄用)  
オムニパーク300注10mL(脊髄用)

### イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)

オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)  
オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注150mL(血管用)  
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注100mL(血管用)

### イオヘキソール注

オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管-CT用)  
オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路-CT用)  
オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管-CT用)  
オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)  
オムニパーク350注シリンジ45mL\*・70mL・100mL(血管-CT用)

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の  
詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

### 非イオン性造影剤

処方せん医薬品<sup>※</sup>

薬価基準収載



# オムニパーク<sup>®</sup>

OMNIPAQUE<sup>®</sup>

※注意—医師等の処方せんにより使用すること



Daiichi-Sankyo

製造販売元(資料請求先)

## 第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1



クラウド型遠隔読影ASPサービス  
 **Virtual-RAD**



遠隔画像診断支援サービス  
 **Tele-RAD**

## ドクターネットの遠隔画像診断

遠隔画像診断を一貫したワークフローで考えるドクターネットなら、場面にあわせて選べます。

**株式会社ドクターネット**

医療と人と社会を技術でつなぐ遠隔画像診断のリーディングカンパニー

東京本社 105-0012東京都港区芝大門2丁目5-5 12階 TEL: 03-3459-5665

宇都宮本社 028-657-8200 / 大阪事業所 06-4862-5018 / 福岡事業所 092-409-2760

[www.doctor-net.co.jp](http://www.doctor-net.co.jp)



